

岡本達明資料

資料群ID:MD02 中分類:D フラットファイル・書類・小冊子・雑誌・機関紙・図面 等 (チッソ工場関係) (393 点)

目録番号:MD02-D-01001～MD02-D-13010

元所蔵者：岡本 達明

寄贈受入日:2017年7月14日

保管場所:熊本大学文書館書庫(黒髪北E2) 2018年度～担当:香室・中山

資料概要: (D-01) 日本窒素肥料株式会社旧工場資料、朝鮮窒素肥料株式会社興南工場資料。(D-02) 戦後アセトアルデヒド工場に関する資料: 酢酸課日誌、アセトアルデヒド研究資料、各種操作法、水俣工場文芸誌 等。(D-03) 酢酸課製造日報、アセトアルデヒド製造日報、水俣工場図面、排水関係資料、会社パンフレット 等。(D-04) 橋本彦七 (元チッソ工場長、初代水俣市長) 日記帳・工場関係ノートのコピー、錯酸課長 中村清 作成資料。(D-05) 戦後の水俣工場資料: 職員名簿、水俣工場新聞、有価証券報告書、化学技術関係論文、企業研究関係論文 等。(D-06) 第一組合闘争関係資料: 新聞記事、ビラ、機関紙、団体交渉関係資料、組合規約集、工場就業規則 等。(D-07) 第一組合闘争関係資料: ビラ合戦資料、闘争日誌、闘争総括資料、五井工場関係資料、守山工場関係資料、塩ビ病資料、有価証券報告書、機関紙 等。(D-08) 第一組合労働関係資料: 裁判関係資料、細川一証言、実質闘争関係資料、組合闘争記事 等。(D-09) 第一組合闘争関係資料: 元職員の日記帳・ノート、チッソ史、松本勉 編著『水銀』、特指法関係資料、チッソ発行物、自主講座資料 等。(D-10) 福岡営業所労働組合関係資料、守山工場労働組合資料。(D-11) 水俣病研究論文、チッソ実験報告、廃水処理関係資料 等。(D-12) 新日本窒素労働組合機関誌『さいれん』(1959～2003)。(D-13) アセトアルデヒド工場図面。

※資料ID例: D-01 / 001 (旧工場) 自傳拔萃 附 爐邊談話 = MD02-D-01001

※「公開可否」(利用可能な範囲)については、いずれの資料も利用申請を受付けたのちに再確認します

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-01「旧工場・興南・日本窒素資料」																
D-01	001	-	(旧工場) 自傳拔萃 附 爐邊談話	岩崎勇	1942	1	5	小冊子	A5／34P	原本	1		TO03	1	1	可
D-01	002	-	(旧工場) (別冊) 自傳拔萃 附 爐邊談話	岩崎勇	1942	1	5	小冊子	A5／9P	原本	1		TO03	1	2	可
D-01	003	-	(旧工場) 自傳拔萃追補	〔岩崎勇〕	〔1942〕	〔1〕	〔5〕	小冊子	A5／4P	原本	1	pp3-6 抜け.	TO03	1	3	可
D-01	004	-	(旧工場) (雇用契約関係)	●●	〔1913〕	-	-	封筒, 名刺	長計4号封筒, 名刺	原本	1	内容: 日本窒素肥料株式会社社員の名入り封筒, 名刺.	TO03	1	4-8	要審査
D-01	005	-	(旧工場) 契約書	日本窒素肥料株式会社, 有限責任購買利用組合水光社, 日窒硫黄鑛業株式会社	1913～1947	-	-	書類	A4, A5	原本	1	内容: 1913.2.1 日本窒素肥料株式会社 雇用契約書, 1947.6.1 有限責任購買利用組合水光社 作成「出資證券」, 1943.5.1 日窒硫黄鑛業株式会社 取締役社長 岩切重雄 交付「辞令」.〔当時の雇用契約書は本資料の他に残っていない可能性が高い.〕	TO03	1	5	要審査
D-01	006	-	(旧工場) 旧工事費 水俣工場 (旧工場建設)	日本窒素肥料株式会社 水俣工場	〔1937, 1939〕	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1		TO03	1	6	要審査
D-01	007	-	(旧工場) (聞書水俣民衆史 第二巻 村の職工日記)	●●	1915～1964	-	-	手帳, ノート	8cm × 14cm, A5	原本	1	1915 (大正4) ～1964 (昭和39) の日本窒素肥料株式会社, 新日本窒素肥料株式会社社員 日記帳 43点.『聞書水俣民衆史 第2巻』pp122-132「第2章 工場の日々 村の職工日記 (大正三年)」に一部掲載.	TO03	1	7	要審査
D-01	008	-	(旧工場) 給料袋	新日本窒素株式会社	1960～1977	-	-	封筒, 明細書	封筒	原本	1	内容: 1960.6～1965.6 新日本窒素肥料株式会社, チッソ株式会社 水俣工場 給料袋 25枚 (給与支払明細書・領収証 新聞代・テレビ受信料・電気代の領収証等もあり), 日本窒素肥料株式会社 給料袋 1枚, 1965.4・5 共済会水俣支部給付金袋 2枚, 1965.4・5 チッソ水俣健康保険組合勘定給付金袋 2枚, 1960下期・1965上期 賞与袋 2枚, 1964年度 水光社借入金利息袋 1枚, 1961年度水光社上半期特別分配金袋 1枚, その他賞与袋等 3枚, 1977.7 集英社 発行『月報《17》集英社版 世界の文学 10』.	TO03	1	8	要審査
D-01	009	-	(旧工場) 明治工業史 鉦業編	社団法人日本工学会, 財団法人啓明会	1930	8	5	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1		TO03	1	9	可
D-01	010	-	(旧工場) 旧工場同好会資料 明43?～44.5	日本窒素肥料株式会社 水俣工場同好会	〔1910～1991〕	-	-	書類	B4	コピー	1	「第三回決算報告書 日本窒素肥料株式会社 水俣工場 同好会 原本及び複写」と記された封筒あり. 内容:「日本窒素肥料株式会社水俣工場同好会 第3回決算報告書 (1910.12.1～1991.5.31)」(用紙の異なるコピーが2部).	TO03	1	10	要審査
D-01	011	-	(興南) 南船北馬五十年 九州電気新聞 森田一雄 (日本で残存する唯一)	森田一雄, 九州電気協会	1959～1960	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	S34.1～S35 電気新聞連載	TO03	1	11	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-01	012	-	(興南) 日英水力による大井川野水力発電 開発計画と北米西部開拓―森田一雄『南船 北馬五十年』技術思想史―;『土木史研究 講演集 Vol.40.2020』pp109-122	谷川竜一 著, 土木史研 究委員会 発行	2020	6	-	書類	A4	コピー	1	(手紙) 2020.7.7 谷川竜一 → 岡本達明 5枚 同封.	TO03	1	12	要審査
D-01	013	-	(興南) 佐藤時彦 土木人生五十年	佐藤時彦	1969	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4	コピー	1	1969 佐藤時彦 著, 中央公論事業出版 発行『土木人生五十年』pp70-183 のコピー.	TO03	1	13	可
D-01	014	-	(興南) 朝鮮窒素論文 チツソを告発する 緑 遥かに 1970.11.28	緑遥かに ほか	[1970 ~ 1976]	-	-	フラットファイ ル, 書類, 小冊 子	B4, A4	原本・コ ピー	1	内容: 1970.11.28 同人 緑遥かに 著「チツソを告発する 朝鮮占領時代におけるチツソの漁 民抑圧と殺戮」, 藤島宇内 著「特集『平和』その破壊と創造・その4 朝鮮における企業犯 罪」; 1972.8.18 朝日新聞社 発行『朝日ジャーナル』pp17-22, (小冊子) 1975.11 脇村義太 郎 著「電気化学工業の先駆者・野口遵」, (抜刷) 日本工営会長 久保田 豊 著「開拓者精 神を受け継いで 野口さんと私」; [発行年・掲載元不明] pp161-180, 田中重好 著「朝鮮 窒素での勤務体験を聞く」; 1973.2.10「自主講座」編集室 発行『自主講座 第23号』 pp17-21, 李国淳 著 横浜市大朝鮮窒素研究会 訳「朝鮮窒素肥料興南工場」; 1973.10 『自主講座』pp29-37, 松岡信夫 著「〈ノート〉「水俣病」前史 朝鮮窒素肥料株式会社の 体質と行動(一)」; [発行年不明]『自主講座』pp14-24, 「朝鮮窒素肥料株式会社の体質 と行動(二)」; [発行年不明]『自主講座』pp29-35, 「朝鮮窒素肥料株式会社の体質と行 動(三)」; 1973.2『自主講座』pp22-25, 「朝鮮窒素肥料株式会社の体質と行動(四)」; 1973.4『自主講座』pp9-13, (抜刷) 下谷政弘 著「日本窒素肥料(株)と多角化の展開 ― わが国化学工業における独占形成史(3)―」; 1976.7 大阪経大会 発行『大阪経大論集 第112号』pp94-124, 「第3論文 1930年代日本窒素肥料株式会社の朝鮮への進出につい て」; 1973.3.31 山田秀雄 編 アジア経済研究所 発行『植民地経済史の諸問題』pp139- 189, 著者不明「第一節 日窒・新日窒・チツソと水俣・延岡・鏡工場の歴史」; 掲載元不明 pp1-16, 「第三節 電源開発と球磨川組合開発」; 掲載元不明 pp1-9 等.	TO03	1	14	可
D-01	015	-	(興南) 朝水会名簿 燃料会名簿	朝水会, 燃料会	1974, 1979	-	-	フラットファイ ル, 書類	A4, B4	コピー	1	内容: 1979.12.15 燃料会会員名簿, 1974.5 朝水会々員名簿.	TO03	1	15	要審査
D-01	016	-	(興南) 興南小学校同窓会誌	近藤緑郎 編集	1978	10	1	フラットファイ ル, 書類	B4/78P	コピー	1	『昭和2年10月26日創立 興南小学校同窓会誌』のコピー.	TO03	1	16	要審査
D-01	017	-	(興南) 昭和六年 咸鏡南道勢一班	咸鏡南道	1932	11	20	書類	9 × 15cm	コピー	1		TO03	1	17	可
D-01	018	-	(興南) 朝鮮窒素肥料株式会社甲南工場全 景及び製練所	ウエキ写真館	1935	5	20	書類	82.5 × 25.5cm	コピー	1		TO03	1	18	可
D-01	019	-	(日本窒素肥料株式会社) 日本窒素肥料株 主総会三十年々表	日本窒素肥料株式会社	[1908 ~ 1935]	-	-	株券, 小冊子	B5	原本	1	内容: 1908.3.15 曾木電気株式会社新株券, 日本窒素肥料株式会社文書課 作成「日本 窒素30年年表原稿 明治39年創立時ヨリ昭和10年7月現在迄」等.	TO03	1	19	可
D-01	020	-	(日本窒素肥料株式会社) 日本窒素肥料有 価証券報告書 大正~昭和	日本窒素肥料株式会 社, 朝鮮窒素肥料株式 会社	1910~ 1941	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4	コピー	1	内容: 1941.5.1~1941.10.31 朝鮮窒素肥料株式会社営業報告書, 1910.1~1931.5.31 日本 窒素肥料株式会社営業報告書.	TO03	1	20	可
D-01	021	-	(日本窒素肥料株式会社) ●●宛 川村和男 戦前稟議書・重要文書 抄録 大3~昭20	川村和男 → 鎌田正二	[1980 ~ 1991]	-	-	書類	B5	コピー	1	内容: 1989.6 ●●〔チツソ元社員〕作成「はしがき」1枚, (送り状) 川村和男 → ●● 10通 (1983.6.7 2枚, 1983.8.10 2枚, 1983.9.6 1枚, 1983.11.11 2枚, 1984.11.6 2枚, 1986.2.3 2枚, 1986.2.28 2枚, 1986.9.8 2枚, 1989.4.1 5枚, 1991.4.10 2枚), 川村和男 作成「抄録目録」 15P, 川村和男 作成「抄録」3396P. 川村和男は『日本窒素の重要書類抄録』[1989- 1991]著者, 1980年3月から東大阪のセンコーの倉庫にて戦前の日本窒素の書類の整理 を始め, 同年10月よりその書類の抄録の作成を始めた(「はしがき」より). 岡本達明による 「重要 要分析 聞書水俣民衆史, 水俣病の民衆史 未使用 惜しい 漁業補償についても川 村の記述あり」とのメモあり.	TO03	1	21	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-01	022	-	(日本窒素肥料株式会社) 日本窒素肥料 朝鮮窒素肥料 事業概要 S5	長津江水電株式会社, 日本窒素肥料株式会社, 朝鮮窒素肥料株式会社	[1930 ~ 1936]	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	書籍のコピー. 内容: 1936.4.30 長津江水電株式会社 発行『長津江の大水力発電工事概要 (昭和11年2月作成)』, 1930.5 日本窒素肥料株式会社 朝鮮窒素肥料株式会社 発行『事業概要』等.	TO03	1	22	可
D-01	023	-	(日本窒素肥料株式会社) 行幸記念	日本窒素肥料株式会社 水俣工場	1931	11	16	書籍	B5	原本	1	写真集.	TO03	1	23	可
D-01	024	-	(日本窒素肥料株式会社) 行幸記念 S6.11.16	日本窒素肥料株式会社	[1931 ~ 1932]	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	B5, B4	原本・コピー	1	写真集のコピー, 会社要覧 等. 内容: 1932.2.10 日本窒素肥料株式会社水俣工場 発行『昭和6年11月16日 行幸記念』, 1931.11『日本窒素肥料株式会社要覧』, 1931.11『日本窒素資料株式会社 水俣工場製品製造工程説明書』.	TO03	1	24	可
D-01	025	-	(日本窒素肥料株式会社) 秩父宮同妃両殿下 御台臨記念	旭ベンベルグ絹絲株式会社延岡工場	1934	10	8	書籍	B5	原本	1	写真集.	TO03	1	25	可
D-01	026	-	(日本窒素肥料株式会社) 工場手帳 大13	日本窒素肥料株式会社, 水光社	1924~ 1944	-	-	フラットファイル, 書類	B5, B4	コピー	1	工場手帳, 證券 等のコピー. 内容: 1939.12.18 水光社 発行「出資證券」, 1944「水俣工場事務課倉庫係上行員 日給支給証」, 1924.12.15「日本窒素肥料水俣工場手帳」等.	TO03	1	26	要審査
D-01	027	-	(日本窒素肥料株式会社) 日本窒素肥料社報 及 職員名簿 1 S11~14	日本窒素肥料株式会社	1936~ 1939	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: 1936.2.1~1939.11.1「日本窒素肥料株式会社 社報」(第25号~第41号).	TO03	1	27	可
D-01	028	-	(日本窒素肥料株式会社) 日本窒素肥料社報 2 S15~S17	日本窒素肥料株式会社	1940~ 1942	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: 1940.3.1~1942.2.1「日本窒素肥料株式会社 社報」(第42号~第49号).	TO03	1	28	可
D-01	029	-	(日本窒素肥料株式会社) 日本窒素肥料社報 3 S17~S19	日本窒素肥料株式会社	1942~ 1944	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: 1942.8.1~1944.7.1「日本窒素肥料株式会社 社報」(第51号~第57号), 1942.1.20 職員名簿, 1944.1.1 朝鮮電業株式会社事業所一覧表 等.	TO03	1	29	要審査
D-01	030	-	(日本窒素肥料株式会社) 興南関係資料 (化学工業興南工場他)	南次郎伝記刊行会, 化学工業社	[1951 ~ 1982]	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B5, B4	原本・コピー	1	書籍のコピー, 手紙, メモ 等. 内容: 1957.12.5 南次郎伝記刊行会 発行〔『南次郎伝記』pp448-578, (手紙) 1982.1.11 矢作正 →〔宛先不明〕, 1951.1 化学工業社 発行『化学工業 1951年1月号』pp21-101, 矢作正メモ, 李国淳 著 横浜市大朝鮮窒素研究会 訳「朝鮮窒素肥料興南工場」; 1973.10『自主講座』pp29-37, 松岡信夫 著「〈ノート〉「水俣病」前史 朝鮮窒素肥料株式会社の体質と行動 (三)」; 1973.2『自主講座』pp22-25, 「〈ノート〉「水俣病」前史 朝鮮窒素肥料株式会社の体質と行動 (四)」; 1973.4『自主講座』pp9-13 等.	TO03	1	30	要審査
D-01	031	-	(日本窒素肥料株式会社) 日窒写真帳 大7~8 社員名簿 他	日本窒素肥料株式会社, 野口研究所	[1987]	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	コピー	1	内容:〔作成年不明〕社員名簿, 日本窒素肥料株式会社 事業梗概, 1987.6.12 野口研究所 作成「野口記念史料室 資料分類目録」.	TO03	1	31	要審査
D-02「戦後アセトアルデヒド工場資料」																

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-02	001	-	錯酸課長 中村清 ファイル	中村清	1924～ 1950	-	-	フラットファイ ル, 小冊子, 書 類	A4	原本	1	内容: 1939.3.31 商工省大阪工業試験所 作成「大阪工業試験所報告 第19回 第11号 アセチレンを原料とする有機薬品合成に関する研究 (第9報)」, 1947.5.10 四宮重夫 編「『アセトアルデヒド』製造編」, 「エンタルピー」気液濃度図表に依る二成文系の精溜計算」, 鉄興社酒田大浜工場「錯酸工場原単位」, 1950.10.10「アセチレン瓦斯清浄法に関する打合せ事項の件」日本窒素肥料株式会社水俣工場 → 日本化成工業株式会社黒崎工場, 1937.9.3 新日本窒素株式会社水俣工場 中村清 作成「次亜塩素酸ソーダ溶液に依る粗アセチレン瓦斯清浄実験」, C.H.S Tupholme 著「Sampling Gases at a Constant Rate」; 1938 American Chemical Society 発行『INDUSTRIAL AND ENGINEERING CHEMISTRY (New ED.) Vol.16 No.7』p196, 1940.6.5 特許第136732号「『アセチーレン』ヨリ『アセトアルデヒード』ヲ製造スル方法」, (メモ, 作成者不明)「米国に於ける『アセトアルデヒド』の状況 chem.week 誌 Oct.9.1954 p93」, 「バルブ開度と蒸気流量の関係」, 1939.4 日窒水俣工場分析係 作成「『アルデヒド』母液分析法」, [作成年, 作成者不明]「アセトアルデヒド分析法」, 1927.4.13 特許第71634号「『アセトアルデヒド』ヲ採集スル方法」, 1926.10.29 特許第69968号「『アセチレン』ヨリ『アセトアルデヒド』ノ製造ニ用フル活性ヲ失ヒタル接触剤ヲ回復利用スル方法」, 1927.5.19 特許第71965号「『アセトアルデハイド』ヲ其ノ溶液ヨリ分離スル方法」, 特許第71966号「『アセチレン』ヨリ『アセトアルデハイド』ヲ製造スル際ニ於ケル水化用硫酸溶液ノ復活方法」, 1924 American Chemical Society 発行『Chemical abstracts Vol.18』p58, 693, 1672, 2716 等.	TO03	2	1	要審査
D-02	002	-	錯酸課	中村清	1949～ 1951	-	-	バインダー, 書 類	B5	原本	1	内容: 1951.3.31 錯酸係 作成「カーバイトよりアルデヒドまでのアセチレンガスの損失について」, 1951.1.17「無水錯酸製造装置分留塔能力に就いて」, 1951.3.17 酢酸課 中村清 作成「アルデヒド生成器設計資料」, 1951.3.10 製造部錯酸課技術部錯酸実験室 中村清 作成「アルデヒド母液硝酸酸化現場試験に就て考察」, 1951.2.16 酢酸課 作成「アルデヒド母液組成と脱硝試験」, 1950.9.24「マウ#18 ターボバキュームポンプに[関]する件」資材課金物係 → 酢酸課長, 1950.9 中日本重工業株式会社神戸造船所 作成「新日本窒素株式会社御引合 ターボ排送機仕様書」, 1950.11.6「350 ^{HP} ターボバキュームポンプ要電動機の件」資材課金物係 → 電設課長, 「無水錯酸の清掃能力及製造原価に就て」錯酸課錯酸係 → 製造部長, 1950.2.15「昭和24年(1月～12月)度実績原価単位表」錯酸課 → 酢酸係, アセトン係, 「昭和24年度第三・四半期 高分子系誘導製品生産実績表」通商化学局有機課 → 錯酸課長, 1951.1.1 管理課 作成「無機関係主要設備能力表」, 1950.5.10 水俣工場製造部錯酸課 作成「アルデヒド五期分溜装置改造計画」, 水俣工場「ターボバキュームポンプ仕様書」, 1950.5.12「20TS/M アルデハイド装置 (5期) 真空分溜フローシート」, 1949.12.20「無機・有機別人員構成」管理課 → 錯酸課長, 1951.2.6 水俣工場 作成「錯酸係工員配置表」, 「修理整備金額 (錯酸課関係)」, 1950「錯酸係工数仕訳表」, 1950.2.15 管理課 作成「昭和24年1月～12月実績原単位表」, 1950.10.2 水俣工場 作成「薬局法と規格案との比較」, 1951.2.1 製造部錯酸課 作成「アセトン標準原価計算書」, 1951.2.2「アセトドラム缶詰費用概算」製造部錯酸課 → 製造部長ほか, 1950.12.20「工業用錯酸修理整備金額」, 1950.9.18「各社錯酸品質分析試験結果」, 技術部酸化試験室 作成「錯酸中の不純物の酸化反応に及ぼす影響」, 1951.3.17 錯酸課 中村清 作成「アルデヒド生成器設計資料」, 1951.1.16「研究題目及経費」製造部錯酸課 → 技術部長, 1951.2.19「昭和25年夏季 用水収支表」昭和26年夏季 用水豫想収支表」, 1950.4.14 アセトン係 作成「錯酸エチル標準製造原価」, 1951.2 水俣工場 作成「アセチレンガス原価計算書」, 1950.10～11月「工業用錯酸原価計算書」, 1950.5.18 製造部錯酸課 作成「無水錯酸製造原価比較」, 1951.2.1 水俣工場営業課 作成「33% 稀錯酸 アセトン 製造コスト比較表」等.	TO03	2	2	要審査
D-02	003	-	錯酸課重要日誌 S25.8.12～26.2.27	錯酸課	1950～ 1951	-	-	書類	A5	原本	1		TO03	2	3	要審査
D-02	004	-	酢酸課重要日誌 S25.8.12～26.2.27	錯酸課	1950～ 1951	-	-	フラットファイ ル, 書類	B5	コピー	1	件名「酢酸課」はママ.	TO03	2	4	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-02	005	-	錯酸課 資料 S25～26	〔水俣工場錯酸課〕	1950～ 1951	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4	コピー	1	内容: 錯酸課 作成 有機製品の米國市價, 1951.1.17 無水錯酸製造装置分流法に就いて, 1950.9.24 「マウ#18 ターボバキュームポンプに〔関〕する件」資料課金物係 → 酢酸課長, 1950.9 中日本重工業株式会社神戸造船所 作成 「新日本窒素肥料株式会社御引合 ターボ排送機仕様書」, ターボバキュームポンプ仕様書, 昭和24年度第3・四半期アセチレン系誘導製品生産□□表, 錯酸課錯酸係 作成 「無水錯酸の製造能力及製造原價に就て」, 各社製造装置一覧表, 1951.2.1 アセトン係工員工長配置表, 1951.3.17 「アルデヒド生成器設計資料」, 原價計算書, 1951.2.1 水俣工場営業課 作成 「アセトン製造コスト比較表」等. MD02-D-02002に一部原本あり.	TO03	2	5	要審査
D-02	006	-	「アセトアルデヒド」製造編, アセチレンを原料とする有機薬品合成に関する研究 (第9報)	四宮重夫, 角谷清明	〔1939 ～ 1947〕	-	-	書類	A4, B4	コピー	1	内容: 1947.5.10 四宮重夫 著 『「アセトアルデヒド」製造編」, 〔1939〕工業試験所技師 角谷清明 著 「大阪工業試験所報告 第19回第11号 アセチレンを原料とする有機薬品合成に関する研究 (第9報) アセチレンよりアセトアルデヒドの合成に関する研究」.	TO03	2	6	可
D-02	007	-	アルデヒド五期分溜装置改造計画, アルデヒド関係検討会 研究結果総合抄録	水俣工場製造部錯酸課, 技術部錯酸実験室 塩出忠次	1950	-	-	書類	A3, B4	コピー	1	内容: 1950.5.10 水俣工場製造部錯酸課 作成 「アルデヒド五期分溜装置改造計画」 (同じものが2点), 1950.10 技術部錯酸実験室 塩出忠次 作成 「アルデヒド関係検討会 研究結果総合抄録」1点.	TO03	2	7	要審査
D-02	008	-	(「アルデヒド母液硝酸酸化現場試験に就て考察」ほか)	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	1951～ 1953	-	-	書類	B4, B5	コピー	1	内容: 1951.3.10 「アルデヒド母液硝酸酸化現場試験に就て考察」製造部錯酸課技術部錯酸実験室 中村清 → 工場長, 製造部長, 技術部長, 錯酸課長, 1951.3.17 錯酸課 中村清 作成 「アルデヒド生成器設計資料」, 1952.2.12 管理課 作成 「有機関係実生産高並に使用内訳統計表」, 1951.3.15 技術部錯酸実験室 塩出忠次, 田上秋雄 作成 「アセトアルデハイドの酸化窒素による変性について」, 1953.3 水俣工場製造部 「アルデヒド製造設備の現状と生産確保対策」.	TO03	2	8	要審査
D-02	009	-	(「アセトアルデヒド合成に鉄系助触媒を使用することに関する研究 (第一報)」ほか)	技術部錯酸実験室 塩出忠次, 宮下郁磨, 斉藤菊太郎, 田上秋雄, 額川巖, 錯酸課 中村清	1950～ 1951	-	-	書類	A3, A4	コピー	1	内容: 1950.5～11 技術部錯酸実験室 塩出忠次, 宮下郁磨, 斉藤菊太郎 作成 「アセトアルデヒド合成に鉄系助触媒を使用することに関する研究 (第一報)」, 1950.12～1951.3 「アセトアルデハイド合成に鉄系助触媒を使用する 〕に関する研究 (第二報)」, 1951.3.15 技術部錯酸実験室 塩出忠次, 田上秋雄 作成 「アセトアルデハイドの酸化窒素による変性について」, 1951.4.20 技術部 額川巖, 塩出忠次 作成 「鉄系助触媒によるアルデヒド製造試験報告 第一報」, 1951.3.17 錯酸課 中村清 作成 「アルデヒド生成器 設計資料」.	TO03	2	9	要審査
D-02	010	-	(「錯酸エチル」ほか)	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	〔1941 ～ 1958〕	-	-	書類	A4, B4	コピー	1	内容: 〔作成年不明〕錯酸課主任 山本泰三 作成 「錯酸エチル」「アセトアルデヒド」「無水錯酸」「錯酸」, 平井兵馬 著 「ニボリットの歩んだ道 九年間に四百五十倍」; 1958.2.1 『芦火 第10号』pp24-31, 〔発行年不明〕「水俣工場新聞 No.35」p5, 〔1945.12.1〕「軍需工場民需転換許可申請書」, 1945.11.21 「装置明細の件」アク係 → 佐々井課長, 1941.1.6 「錯酸繊維素ステーブルファイバーミナレーヌに就て」, 日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成 「ミナリット説明書」, 1946.2.13 日本窒素肥料水俣工場製造人造材料 「ニボリット (塩化ヴィニル系重合物)」, 「エチル繊維素説明書」, 「ミナロイドコンパウンドニツイテ」.	TO03	2	10	要審査
D-02	011	-	(「錯酸課排水中のHg濃度に就いて」ほか)	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	〔1946 ～ 1960〕	-	-	書類	B4, B5	コピー	1	内容: 1959.11.9 「錯酸課排水中のHg濃度に就いて」酢酸課 → 工場室, 〔1950〕新日本窒素総合製造工程図, 1960.2 熊本県 作成 「サイクレーター水質分析表」, 1960.7.29 廃水管理委員会 作成 「各種水質基準例及水俣工場の廃水の水質並にその基準案」, 1960.7.26 廃水管理委員会 作成 「水俣工場の廃水の水質」, 1959.11.19 「工場排水処理基本方針」工場長 → 松岡主任, 1960.5.16 「逆送水処理試験結果」廃水管理委員長 → 技術部室長, 1960.10.1 新日本窒素株式会社水俣工場錯酸課 「廃液プール内部改造計画」, 1959.11.25 新日本窒素株式会社水俣工場 「排水処理設備フローシート, アセチレンクラブ編 「アセトアルデヒドに関する資料」, 1959.7.10 「錯酸課廃水経路」, 1946.10.7 「錯酸工場安全教育要綱」等.	TO03	2	11	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-02	012	-	(「工場能力査定要領」ほか)	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	1947	-	-	書類	B4	コピー	1	「戦後水俣工場に関する資料」というタイトルで束ねられていた。内容:1947.5.27 水俣工場工務部 作成「工場能力査定要領」「原単位計算要領」, 1947.8.23 錯酸係 作成「総合工場原単位表」等.	TO03	2	12	要審査
D-02	013	-	(「Formula of application for permission of conversion to the essencial consumers commodities」ほか)	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	〔1939 ～ 1945〕	-	-	書類	B4	コピー	1	「戦後水俣工場に関する資料」というタイトルで束ねられていた。内容:1945.12.1「Formula of application for permission of conversion to the essencial consumers commodities」, 1939「Uses and Applications of Chemicals and Related Materials」等.	TO03	2	13	可
D-02	014	-	(「文化活動の概要」ほか)	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	1946～ 1948	-	-	書類	B4, B5	コピー	1	「戦後水俣工場に関する資料」というタイトルで束ねられていた。内容:1948.3 日本窒素肥料株式会社水俣工場 古川健一郎 一口久雄 編「文化活動の概要」(サイズ違いが2部), [1946.2.2]「水俣工場平面図」.	TO03	2	14	可
D-02	015	-	FLOW SHEET OF AMMONIUM SULPHATE AND NITRIC ACID IN MINAMATA WORKS	〔日本窒素肥料株式会社水俣工場〕	〔不明〕	-	-	書類	B4	コピー	1	内容:〔作成年不明〕硫酸アンモニウムと硝酸のフローシート 9枚, 1947.6.30 技術部 作成「技術部差当り実施事項及分担者」1枚.	TO03	2	15	要審査
D-02	016	-	(「HNO3によるFe ^Ⅱ →Fe ^Ⅲ 反応熱の計算」ほか)	技術部錯酸実験室 潁川巖, 製造部錯酸課 中村清, 技術部錯酸実験室 塩出忠次	1950	-	-	書類	A4	コピー	1	内容:1950.1.25 技術部錯酸実験室 潁川巖 作成「HNO ₃ によるFe ^Ⅱ →Fe ^Ⅲ 反応熱の計算」, 1951.1.25「H ₂ SO ₄ -FeSO ₄ -H ₂ O系の比重測定について」, 1950.5.15 製造部錯酸課 中村清 作成「アルデハイド母液の硝酸による酸化方法について」, 1950.7.7 技術部錯酸実験室 塩出忠次 → 技術部長, 錯酸課長, 錯酸係長「硫酸第一鐵の過酸化水素水による酸化反応について」.	TO03	2	16	要審査
D-02	017	-	酢酸工業界資料	〔大日本セルロイド新井工場, 錯友会, 岡田時夫, 足立英夫, 日比芳治郎, 日本合成化学工業株式会社大垣工場〕	〔1953 ～ 1960〕	-	-	書類	A4, B4	コピー	1	内容:〔1957〕有機部門製造工程図, 〔作成年不明〕各社製造装置一覧表, 各社アルデヒド原価計算書, 各社錯酸原価計算書, 大日本セルロイド新井工場 作成「アセトアルデハイドの製造に就て」, 1953.6 錯友会 発行『錯友会会報 No.15』, 岡田時夫 著「論説 有機合成化学工業の発達の様相について」;〔掲載元不明〕pp1-19, 1960.2.1 錯友会事務局 作成『錯酸需要部門別調査表 昭和23年度』, 通産省調査統計局化学統計課長 足立英夫 著「本邦有機合成工業発展の過程(第1回～第3回)」;〔掲載元不明〕pp1-40, 通商産業技官 日比芳治郎 著「我が国のアセチレン化学工業に関する諸考察」;〔掲載元不明〕pp36-49, 日本合成化学工業株式会社大垣工場 作成「錯酸製造工程図」, 1954.7『錯友会会報 No.18』pp42-47, 1955.9『錯友会会報 No.21』pp42-47, 1957.6『錯友会会報 No.25』pp8-13, 〔作成年不明〕アセチレンクラブ 編「アセトアルデヒドに関する資料」等.	TO03	2	17	要審査
D-02	018	-	五十嵐赳夫 S36 水銀触媒によるアセトアルデハイド合成反応速度の解析 水銀触媒によるアセトアルデハイド合成反応の工業物理学的研究	五十嵐赳夫 (新日本窒素肥料中央研究所)	1961～ 1962	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	五十嵐赳夫による論文のコピー。内容:1962.7.10 五十嵐赳夫 著「水銀触媒によるアセトアルデハイド合成反応速度の解析」;1962.10 触媒学会 発行『触媒 = Catalysts & catalysis 4巻3号』pp234-247, 1961.2.18 五十嵐赳夫 著「水銀触媒によるアセトアルデハイド合成反応の工業物理化学的研究」;1962.3.27 東京大学 博士論文 191P.	TO03	2	18	可
D-02	019-024	-	(製造系統図, 製造装置一覧表, 標準操作法)	日本窒素肥料株式会社ほか	〔不明〕	-	-	-	-	原本・コピー	1	内容:水俣工場製造系統図 4枚, 水俣工場製造装置一覧表 9枚, 〔フローシート案〕2枚. ほか	TO03	2	19-24	要審査
D-02	025	-	葦火	新日本窒素株式会社水俣工場尚和会	1942, 1958	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	A4, A5	原本・コピー	1	内容:1942.12.30『工場雑誌 芦火 第6集』, 1958.2.1『芦火 第10集』. 2点.	TO03	2	25	可
D-02	026	-	葦火 1, 4, 5	新日本窒素株式会社水俣工場尚和会	1946～ 1952	-	-	書類	A4	コピー	1	内容:1946.5.20『あし火 第1号』, 1951.3.10『工場雑誌 葦火 第4集』, 1952.3.22『工場雑誌 葦火 第5集』. 3点.	TO03	2	26	可
D-02	027	-	芦火	新日本窒素株式会社水俣工場尚和会	1953～ 1958	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B5	原本・コピー	1	内容:1953.12.25『工場雑誌 芦火 第7集』, 1956.3.31『芦火 第9集』, 1958.2.1『芦火 第10集』,『芦火』表紙.	TO03	2	27	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-02	028	-	葦火 第4号～第11号, No.2～No.62	新日本窒素株式会社水俣工場尚和会	1947～1955	-	-	書類	B4	コピー	1	第4号～第11号:9点 (第11号は2点あり). No.2～No.62:32点 (No.6, 11, 12, 16～19, 21～32, 34, 35, 37, 46, 48, 52, 57, 58, 60, 61 抜け).	TO03	2	28	可
D-02	029	-	葦火 第101号～第146号	新日本窒素株式会社水俣工場尚和会	1958～1962	-	-	書類	B5	原本	1	35点 (特集号 1点あり. 第103～108, 110, 111, 125, 138, 139号 抜け).	TO03	2	29	可
D-02	030	-	水俣工場災害統計表 S25～35	[不明]	[1950～1960]	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1		TO03	2	30	可
D-03「アセトアルデヒド製造日報」																
D-03	001	-	錯酸製造日報	錯酸課錯酸係	1953	1～12	-	書類	B4	コピー	1	1953.1.16～1953.12.3 の製造日報.	TO03	3	1	要審査
D-03	002	-	錯酸製造日報	錯酸課錯酸係	1954	1～12	-	書類	B4	コピー	1	1954.1.1～1954.12.31 の製造日報.	TO03	3	2	要審査
D-03	003	-	錯酸製造日報	錯酸課錯酸係	1955	1～12	-	書類	B4	コピー	1	1955.1.1～1955.12.31 の製造日報.	TO03	3	3	要審査
D-03	004	-	アルデヒド製造日報	錯酸課	1959	1～12	-	書類	B4	コピー	1	1959.1.1～1959.12.30 の製造日報.	TO03	3	4	要審査
D-03	005	-	工業用錯酸 純良錯酸 製造日報	有機第一部錯酸課	1962	1～7	-	書類	B4	コピー	1	1962.1.1～1962.7.9 の製造日報.	TO03	3	5	要審査
D-03	006	-	製造日報まとめ 岡本作成	岡本達明	[1953～1963]	-	-	書類	B4	原本	1		TO03	3	6	要審査
D-03	007	-	各期稼働状況・製造規模等のまとめ	岡本達明	-	-	-	集計用紙	B4	原本	1	内容:各期別製品販売高 (1950～1961), 各期稼働図, 主要機器各期別寸法能力比較表, 表15 主要装置の変遷, 表17 常圧蒸発方式と真空蒸発・真空蒸留方式の原単位 (1953.1～1955.12), 表27 循環母液量と酸化母液量の変化 (1951.8～1959.11), 表26 水銀回収明細 (1959年), 表31 アセトアルデヒド関連主要技術者リスト, 表19 通年原単位 (1938～1966), 図11 アセトアルデヒド生産量並びに各期別製法別稼働状況 (1932～1968) 等.	TO03	3	7	要審査
D-03	008	-	生産高・人員 資料	岡本達明	1943～1984	-	-	書類	B4	コピー	1	内容:1948.12.10「生産高の推移 (1908～1948)」, 1959.4.7 調査部 作成「新日本窒素 水俣工場 生産の推移 (1926～1959)」,「アルデヒド・錯酸他生産実績 (1939～1945)」, 1943「上期生産状況調査」, 1966.2.10「カーバイド工業会 錯酸工業会資料 チッソ水俣工場に於けるアセトアルデヒド・錯酸 (1929～1950)」, 1949.4.25 水俣工場製造部カーバイド課 作成「カーバイド錯酸総合成績 (1946上半期～1948下半期)」, 製造部 作成「1947年度製造実績統計表」, 1951.1.26 管理課 作成「アルデヒド・錯酸製造高並1屯当り通算電力統計表 (1950年度, 1951年度)」, 管理課 作成「1951年度 有機関係実生産高並に使用内訳統計表」, 1984.11.8「錯酸課 人員構成」, 1949.12.20 管理課 作成「無機有機別人員構成」, 1950 水俣工場 作成「錯酸係工数仕訳表」, 1951.2.8「錯酸係工員配置表内訳」, 1951.2.6 水俣工場 作成「錯酸係工員配置表」等.	TO03	3	8	要審査
D-03	009	-	(原単位・原価 資料)	岡本達明, 日本窒素肥料株式会社水俣工場	[1938～1950]	-	-	書類	A4, B4	原本・コピー	1	内容:[作成年不明] 岡本達明 作成「原単位・原価」「水銀 原単位推移」,[作成年, 作成者不明]「1期試験 昭和14年1月2日～2月8日」,「2期アルデハイド製造実験」,「第四期ニ就テ」, 1938.12.27「アルデハイド製造装置 (5期) 蒸気使用料測定」,「1期第5回test」,「二酸化マンガソ製造関係統計」, 1947.9.3「日本窒素肥料株式会社水俣工場 水俣工場アセトアルデハイド製造工場 工場能力査定表」「錯酸工場能力査定表」, 1947.9.10「アセトアルデハイド製造工場 原単位表」, 1947.9.20「錯酸工場原単位計算書」, 1946.9.12 錯酸係作成「屯当り標準原料所要量」, 1947.11.12 錯酸係 作成「水銀のアルデヒド頓当実績表」, 1950.2.15 錯酸課 作成「昭和24年 (1月～12月) 度実績原単位表」等. 13点.	TO03	3	9	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-03	010	-	水俣工場 連続母液酸化装置図集 他 各種図面	日本窒素肥料株式会社 水俣工場	1935～ 1963	-	-	書類	A3, A4, 110 × 76cm	コピー	1	内容: 1937.5.28〔作成年不明〕「爆発現場略図」, 「錯酸工場 (第五期) アルデハイド精溜器」, 「分析係 ニポリット 機械配置図」, 「七期アルデヒド製造装置」, 「錯酸製造工程図 電気化学工業株式会社清海工場」, 1937.3.7 日本窒素肥料株式会社水俣工場工作係 作成「酢酸工場 (第五期) 機械配置図」, 1936.10.22「錯酸工場アルデハイド分溜器」, 1948.3.23 錯酸係 作成「錯酸製造工程図」, 1949.9.1 錯酸係 作成「錯酸製造工程図 大垣工場 日本合成化学工業株式会社」, 1936.10.19 水俣工場工作係 作成「錯酸工場アルデハイド生成器」, 1935.10.15「不銹鋼製清溜器」, 1936.9.18「錯酸工場 (第五期) アルデハイド精溜器」, 1937.5.7「無水錯酸工場機械配置図」, 1936.7「第三・四号発生器」, 1941.12.13 朝鮮窒素肥料株式会社カーバイト工場「電気炉室側面図」, 1956.12.3 錯酸係 作成「アルデハイド製造装置 6期配管系統図」, 〔作成年不明〕「合成工場合成塔上部組立之図」, 「合成工場 合成塔下部組立之図」, 1963.3.25「六期アルデヒド装置フローシート」, 〔作成年不明〕「合成工場合成器熱交換器之図」等. 38点.	TO03	3	10	要審査
D-03	011	-	水俣工場平面図	水俣工場 庶務係, 旋盤課, 土建課, 山中保険事務所	1946～ 1959	-	-	図面	106 × 74cm, 76 × 54cm	原本・コピー	1	内容: 1946.2.2 庶務係 作成「水俣工場平面図」, 1946.2.7 庶務係 作成「水俣工場平面図 其の一」, 1946.4.27 旋盤課 作成「旋盤工場工作機械配置」, 1952.10.1 庶務係 作成「水俣工場 (梅戸地区平面図)」, 1955.3.25「水俣工場平面図 其の一」, 1956.5.19「水俣工場平面図 其の一」, 1956.5.22「水俣工場平面図 其の二」, 1956.5.19「水俣工場平面図 其の三」, 1957.5.1「水俣工場平面図 其の一」, 1957.6.1「水俣工場平面図 其の二」(2部あり), 〔作成日不明〕「水俣工場平面図 其の三」, 1957.6.1「水俣工場 (梅戸地区平面図)」, 1959.3.7 土建課 作成「水俣工場平面図」, 〔作成日, 作成者不明〕「工場図面」, 〔作成日不明〕山中保険事務所 作成「水俣工場 A, B, C地区 火災保険要図」「水俣工場 D-1, D-2地区 H地区北部 火災保険要図」「水俣工場 E, H地区南部 火災保険要図」「水俣工場 F, G地区 火災保険要図」. 19点.	TO03	3	11	要審査
D-03	012	-	(見積書, 図面)	水俣工場 硫酸係, 変流係, 合成係, ニポリット工場, 朝鮮窒素肥料株式会社	1936～ 1959	-	-	書類, 図面	B5, 106 × 74cm	原本・コピー	1	内容:(見積) 1946.7.22〔作成者不明〕「塔式硫酸工場硫酸塔デッキ材料見積」, (図面) 〔作成年, 作成者不明〕「#700 塩酸回収 (A) 図7-7」「#700 HCl 回収 (B) 図7-8」, 1936.2.2 朝鮮窒素肥料株式会社 作成「カーバイト工場 導板平面図」, 1946.7.27 硫酸係 作成「塔式硫酸工場設計図 其の一 建物配置図 付近見取図」, 1946.7.30「硫酸塔デッキ設計図 其の一 平面 立面」, 1946.7.31「焙焼炉基礎」, 1946.8.11「機械配置図 改正」, 1946.8.13「六米九段型焙焼爐基礎図」, 1946.8.14「六米九段型焙焼炉 組立断面図」, 1946.10.1 変流係 作成「水銀整流所設計図 其の一 付近見取図 建物配置図」, 1947.7.10 合成係 作成「触媒試験合成器組立」, 1947.12.5「高棟アンモニアクーラー配置」, 1948.6.11「8吨液安タンク 支持脚改造」, 1948.10.26「瓦斯循環唧筒 基礎面」, 1959.2.26 ニポリット工場 作成「14号重合器組立図」等. 17点.	TO03	3	12	要審査
D-03	013	-	アルデヒド製造工場附属設備 連続母液酸化装置 図集	新日本窒素肥料株式会社 水俣工場設計課	1958	5	28	書類	A4	コピー	1	No.13 と同じ内容. 1953.12.4 錯酸課錯酸係 作成「錯酸製造日報」1枚あり.	TO03	3	13	要審査
D-03	014	-	アルデヒド製造工場附属設備 連続母液酸化装置 図集	新日本窒素肥料株式会社 水俣工場設計課	1958	5	28	書類	A4	コピー	1	No.12 と同じ内容. メモ1枚あり.	TO03	3	14	要審査
D-03	015	-	六期アルデヒドフローシート	新日本窒素肥料株式会社 水俣工場	1963	3	25	書類	39.5 × 55cm	コピー	1	封筒には「3 排水」とある.	TO03	3	15	要審査
D-03	016	-	基礎資料 合成工場標準作業書	岡本達明	〔不明〕	-	-	書類	A4／1枚	コピー	1		TO03	3	16	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-03	017	-	女性のための入社案内	チッソ株式会社	[1950]	-	-	パンフレット	B5	原本	1		TO03	3	17	可
D-03	018	-	会社案内	チッソ株式会社	[1953]	-	-	パンフレット	A4	原本	1		TO03	3	18	可
D-03	019	-	工場案内	チッソ株式会社水俣本部	[1953]	[10]	-	パンフレット	A4／10P	原本	1		TO03	3	19	可
D-03	020	-	新日本窒素肥料株式会社	新日本窒素肥料株式会社	1956	12	1	パンフレット	B5	原本	1		TO03	3	20	可
D-03	021	-	入社案内	チッソ株式会社	[1975]	-	-	パンフレット	B5	原本	1		TO03	3	21	可
D-03	022	-	CHISSO	チッソ株式会社	[1986]	-	-	パンフレット	A4	原本	1		TO03	3	22	可
D-03	023	-	GOI PLANT	チッソ石油化学株式会社	[不明]	-	-	パンフレット	A4	原本	1		TO03	3	23	可
D-03	024	-	CHISSO 五井工場・技術研究所	チッソ石油化学株式会社	[不明]	-	-	パンフレット	A4	原本	1		TO03	3	24	可
D-03	025	-	防災指針	日本化学会防災化学委員会 編, [丸善 発行]	[1962 ～ 1968]	-	-	フラットファイル, 書類	A4	コピー	1	内容:「I-8 ベンゼン, II-1 アクリロニトリル, II-3 トルエン, II-4 シアン化水素, II 5 トリクロルエチレン, II-6 キシレン, II-10 タンク内作業, III-1 アニリン, III-2 液体アンモニア, III-3 液体カセイソーダ, III-9 テトラクロルエチレン, III-10 ニトロベンゼン, IV-3 塩酸, IV-4 カセイカリ, IV-8 フッ化水素酸, IV-9 ホルマリン, IV-10 危険薬品の防災ラベル, V-1 アセトアルデヒド, V-3 塩化ビニル, VI-4 錯酸, VI-5 水素, VI-7 フッ化水素, VI-8 メチルアミン類, VI-10 硫酸」; [1962～1968] 日本化学会 編『防災指針 I ～VI 』, 「防災指針 No.73 タンク内作業 (改訂版)」; 1974.7 日本化学会 発行『化学と工業 27(7)』pp547-559, 「リュウサン」; [掲載元不明] pp730-733.	TO03	3	25	可
D-03	026	-	関東遵風会会員名簿	関東遵風会	1980	6	-	小冊子	A5／96P	原本	1		TO03	3	26	要審査
D-03	027	-	関東遵風会会員名簿	関東遵風会	1985	6	1	小冊子	A5／99P	原本	1	氏名不詳の人物写真1枚あり.	TO03	3	27	要審査
D-03	028	-	関東遵風会会員名簿	関東遵風会	1989	1	10	小冊子	A5／93P	原本	1		TO03	3	28	要審査
D-03	029	-	会社排水関係原資料	新日本窒素肥料株式会社水俣工場	1959～ 1968	-	-	フラットファイル, 書類, 図面	A4, B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1959.11.10「工場排水の水質調査報告依頼について」通商産業省工業局長 → 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 吉岡喜一, 1959.11「排水調査日程並に調査員」, 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成「塩化ビニール樹脂製造用水銀使用状況報告書」, 「アセトアルデヒド製造用水銀使用報告書」, 1959.11.15「水俣工場に於ける排水処理施設の説明」, 鈴木貴右 著「化学装置と硬鉛—アセトアルデヒドの工業化と清水末治郎」; 1968.7 日刊工業新聞社 発行『化学工場 第12巻第7号』pp98-99, 「化学装置と硬鉛—アセトアルデヒドの工業化と清水末治郎 (2)」; 1968.8『化学工場 第12巻第8号』pp45-48, 1959.10.24 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成「A 昭和34年9月現在の排水処理系統」「B 昭和34年10月から昭和35年3月までの排水処理系統」「C 昭和35年3月以後の排水処理系統」「D 新日窒水俣工場並その周辺の排水溝並排水処理施設総合計画概要図 昭和34年10月 (点線11月) から昭和35年3月まで」「E 新日窒水俣工場並その周辺の排水溝並排水処理施設総合計画概要図 昭和35年3月以後」, 1959.11 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成「水俣工場の排水について (その歴史と処理及び管理)」, 1960.4.26 水俣工場廃水管理委員長 作成「八幡プールの逆送水をサイクレーターで処理する試験」, 1959.11.19「工場排水処理基本方針」工場長 → 松岡主任,	TO03	3	29	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
												1960.5.1 廃水管理委員会 作成「4月分排水管理月報」, 1960.5.16「逆送水処理試験結果」廃水管理委員長 → 技術部室長, 1960.8.1「7月分排水管理月報」, 1960.11.1「10月分排水管理月報」, 1960.11.1 廃水管理委員会 作成「水俣工場廃水処理系統図」,〔作成年不明〕「サイクレータの機構及機能」, 1959.11.25「排水処理設備フローシート」, 1960.10.1 錯酸課 作成「廃液プール内部改造計画」, 1959.10.24 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成「A 昭和34年9月現在の排水処理系統」「B 昭和34年10月から昭和34年12月までの排水処理系統」「C 昭和34年1月以後の排水処理系統」(それぞれ2部ずつあり),〔作成年不明〕「D 新日窒水俣工場並その周辺の排水溝並排水処理施設総合計画概要図(昭34年10月(点線11月) から昭和34年12月まで)」(2部あり)「E 新日窒水俣工場並其の周辺の排水溝並排水処理施設総合計画概要図 昭和35年1月以後」「E 新日窒水俣工場並その周辺の排水溝並排水処理施設総合計画概要図 昭和35年3月以後」, 1960.1.28「C 昭和35年1月以後の廃水処理系統」等. 15点.				要審査
D-03	030	-	定時株主総会招集ご通知	チッソ株式会社	1974	5	13	書類	B6	原本	1		TO03	3	30	可
D-04「橋本彦七・中村清資料」																
D-04	001	-	橋本彦七 資料 1927 日記帳	橋本彦七	1927	-	-	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1		TO03	4	1	要審査
D-04	002	-	橋本彦七 資料 履歴書 他 人事関係	橋本彦七	1926～1947	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4, B5	コピー	1	内容: 1944.8.23 橋本彦七 履歴書, 1926.10.18「化学主任者免状」熊本県 → 橋本彦七, (辞令) 1926～1947 野口遵 → 橋本彦七, (手紙)〔年不明〕●● ⇄ 橋本彦七, 1939.11.18「基本給二関スル内規報告書」「賃金規準二関スル内規報告書」日本窒素肥料株式会社水俣工場工場管理人 橋本彦七 → 熊本県知事 近藤駿介, 1945.3.31「社長訓示」, (手紙) 1945.9.25 □□支社 → 榎並社長・白石専務, 19459.3 水俣工場「従業員在籍者調」,〔年不明〕「従業員整理方針其他」, 1946.5.11「引継書」(引継者: 橋本, 被引継者: 大島) 等.	TO03	4	2	要審査
D-04	003	-	橋本彦七 第2期 3.5TS/D 見積書 他	〔橋本彦七〕	〔1939〕	-	-	フラットファイル, 書類	A4	コピー	1	内容:〔1939.9.7〕「第二期 3.5TS/day PLAN 見積書」,〔作成年不明〕「Calculations」等.	TO03	4	3	要審査
D-04	004	-	橋本彦七 Calculations and Designs of 3.5TS/D Acetic Acid Plan (abstracts) NO1	橋本彦七	〔不明〕	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1		TO03	4	4	要審査
D-04	005	-	橋本彦七 有機合成関係資料	合資会社北村商店 ほか	〔1936～1941〕	-	-	フラットファイル, 書類	A4	コピー	1	内容:〔作成年不明〕合資会社北村商店 作成「日室製 アクリル樹脂二就イテ」,〔作成年, 作成者不明〕「チッソラック説明書」, 1941.11.1「工場建設予算見積書」「工場建設主要資材表」「ビニレック工場建設予算見積」,〔作成年, 作成者不明〕「エチル繊維素説明書」, 1936 商標登録証 等.	TO03	4	5	要審査
D-04	006	-	橋本彦七 アセトアルデヒド設計書	橋本彦七	〔不明〕	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	コピー	1	旧番号TO03-004-015, 019～021 は紐で束ねられていた. 橋本彦七 作成ノートのコピー.	TO03	4	6	要審査
D-04	007	-	橋本彦七 新設錯酸工場 注文関係	橋本彦七	〔1932〕	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	旧番号TO03-004-015, 019～021 は紐で束ねられていた. 内容:〔作成年不明〕橋本彦七 作成ノート「新設錯酸工場注文関係」, 1932.5.20「錯酸工場〔注文〕工事費」.	TO03	4	7	要審査
D-04	008	-	橋本彦七 アセトン関係 計算設計	橋本彦七	〔不明〕	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	旧番号TO03-004-015, 019～021 は紐で束ねられていた. 橋本彦七 作成ノート「アセトン関係 計算設計」のコピー.	TO03	4	8	要審査
D-04	009	-	橋本彦七 新設無水錯酸工場 考察, 計算, 設計 記録	橋本彦七	〔不明〕	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	旧番号TO03-004-015, 019～021 は紐で束ねられていた. 橋本彦七 作成ノート「新設無水錯酸工場 考察, 計算, 設計 記録」「無水錯酸」のコピー.	TO03	4	9	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-04	010	-	橋本彦七 資料 空襲被害状況報告書 米国戦略爆撃調査提出書類	日本窒素肥料株式会社水俣工場	1945	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	コピー	1	内容:1945.9 水俣工場 作成「空襲被害状況報告書」, 日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成「硫安製造関係工場建物戦災調書」「硫安製造関係工場設備戦災調書」, 1945.12.4 「US戦略爆撃調査団調査要領」等.	TO03	4	10	要審査
D-04	011	-	橋本彦七 二酸化マンガン	橋本彦七	[不明]	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	橋本彦七 作成ノート「二酸化満俺」のコピー.	TO03	4	11	要審査
D-04	012	-	二酸化マンガン (2)	橋本彦七	[不明]	-	-	書類	B4	コピー	1	橋本彦七 作成ノート「二酸化満俺」のコピー.	TO03	4	12	要審査
D-04	013	-	橋本彦七 原稿	橋本彦七	[1952]	[9]	[10]	書類	A4	コピー	1	内容:橋本彦七 著「野口さんの想ひで」(「昭和27年9月10日発行 野口遵翁追口録に載せる予定の原稿」とある。)等.	TO03	4	13	要審査
D-04	014	-	(塩化ビニル産業20年(上), 野口遵 三井・三菱と戦った「事業の鬼」)	ポリマー工業研究所, 田原総一郎, プレジデント社	1973, 1983	-	-	書類	B4	コピー	1	内容:編集部 著「塩化ビニル産業20年(上)」;〔1973〕ポリマー工業研究所 発行『塩ビとポリマー Vol.13, NO.12』pp6-29, 田原総一郎 著「野口遵 三井・三菱と戦った『事業の鬼』」;1983.6 プレジデント社 発行『プレジデント 1983・6』pp162-170.	TO03	4	14	可
D-04	015	-	中村清 戦前 アセトアルデヒド関係研究資料 含 朝鮮 ND工場用 一部ダブリあり	中村清, 五十嵐赳夫 ほか	1937～1944	-	-	書類	A4, B4	コピー	1	内容:1939.4 日窒水俣工場分析係 作成「『アルデヒド』母液分析法」, 1937.9.3 中村清 作成「次亜塩素酸ソーダ溶液ニ依ルアセチレン瓦斯清浄実験」, 1941.10.18 朝鮮窒素肥料株式会社 作成「第三期増設カーバイト工場配置図」, 1939.9.23 日本窒素肥料株式会社 作成「母液排出量ト水銀回収効率トノ関係」, 1938.8 K.Miyamoto 作成「錯酸鉄代用アセチレン清浄剤実験」, 1938.2 「回収満俺使用 測定セル事項」, 1938.3.23 中村清 作成「アセトアルデハイド生成に及ぼすアンモニアの影響」, 1938.12.27 [中村清 作成]「アルデハイド製造 使用蒸気量測定 (第五期)」, [作成年, 作成者不明]「硫酸満俺回収関係統計」, 1938.11.26 「アルデハイド分溜後母液真空蒸発ニ依ル過マンガン酸カリ消費量物ノ溜出率測定」, 1938.11.30 「第2期アルデハイド工場無酸化試験」, 1938.11.26 中村清 作成「カロー酸溶液に依る酸化」, 1938.12.25 「アルデハイド出来高と母液比重の関係」, 1939.3.29 [中村清 → 朝窒興南工場]「ND工場マンガン回収之件」, [作成年不明]「錯酸工場粉碎機組立図」, 1938.11 「140TS アセトアルデハイド製造装置ニ関口田代氏宛報告セル事項」, 1939.3.27 「ND (朝鮮) マンガン工場配置図」, 「ヨウ第1号 (昭和14年4月27日) 柳川市ヨリ, 〇〇ニ対スル回答 ND工場満俺回収製造設備予算」, [作成年, 作成者不明]「NDマンガン工場配置図説明」, 1939.4.11 中村清 作成「ND工場関係事項記録」,	TO03	4	15	要審査
												1939.7.15 中村清 作成「アルデハイド生成母液ヨリ空気ニ依ルアルデハイドノ分離ニ関スル実験」, [作成年, 作成者不明]「母液酸化ニMno2ノ代用トシテH2O2ヲ用キトスルトキノH2O2ノ使用量及ビCoat」, 19397.2 「アセトアルデハイド製造試験 (第一期)」, 1939.8.31 日本窒素肥料株式会社 作成「電解還元ニヨルアルデハイド母液ヨリノ水銀除去」, 1939.4.14 五十嵐赳夫 作成「アルデハイド母液酸化ニ関スル試験」, [作成年, 作成者不明]「過酸化水素ニ依ル母液酸化ニ関スルニミノ試験」, 1939.6.14 五十嵐赳夫 作成「アセトアルデハイド製造ニ於ケル酸化剤トシテ過酸化水素ヲ使用セル実験報告」, 1939.9.8 Bando, Miyamoto 作成「硫酸満俺口度ノアセチレン吸収ニ及ボス影響」, 1939.9.20 日本窒素肥料株式会社 作成「硫化水素ニヨルアルデハイド母液ヨリノ水銀除去」, 1940.4.10 「過酸化水素ニ依ルアルデハイド生成母液第一鉄イオン酸化試験」, [1937]4.6 [作成者不明]「H2O2ニ係ル母液酸化試験 (第一期アルデハイド母液)」, 1940.3.26 [作成者不明]「母液ヲH2O2ニテ酸化スル場合 colloidal Hgニヨリ分解サレザルヤ」, 1942.8.5 [作成者不明]「アセチレン清浄試験」, 1940.5.7 [作成者不明]「水銀泥ニヨル母液組成液中ノ第二水銀ノ還元」, 1940.11.20 中村清 作成「アルデハイド母液比熱測定」, 1944.1.13 調査係 → ニポリット係「有機合成装置ニ於ケル不銹鋼対策案ノ件」等.				要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-04	016	-	中村清 ニポリット工場資料	中村清 ほか	1937～ 1979	-	-	書類	A3, A4, B5	原本・コ ピー	1	内容:中村清 塩ビ資料(1937.11.3 中村清 作成「興南工場並ニ永安工場ニ於ケル研究 関係事項」, 1956.11.12 新日本窒素肥料株式会社 作成「新日本窒素肥料株式会社水俣 工場に於ける塩化ビニル繊維製造の経過」,〔作成年不明〕日本窒素肥料株式会社「ニ ポリット説明書」「水俣工場新製品説明書」, 分析係 作成「ニポリット 機械配置図」, 日本 化学装置株式会社「螺旋熱交換器」, 1978.9.10〔作成者不明〕「ニポリット係名簿(昭和 16-20)」,〔作成年, 作成者不明〕「技術部事務分担表」, 中村清経歴書,「座談会 塩化ビ ニールの思いでを語る」;1961.6 ポリマー工業研究所 発行『塩化ビニール 1(1)』pp42- 63, 中村清 著「座談会別項 塩化ビニルの思いで」;『塩化ビニール 1(1)』pp64-67,「女子 社員の現場ルポ 第6回 ニポリット係」;1976.10『チッソみなまた No.244』pp8-9, 岡田時夫 著 ダイヤモンド社 発行『プラスチック』pp276-279,「前史」;〔掲載誌不明〕pp11-150, 「道を開いた人びと 発明発見ものがたり38 ビニール 合成化学工業のはしり」;1961.5.28 朝日新聞, 中村基与士(中村清雅号) 著「技術輸出と朝鮮民主主義人民共和国 日朝貿 易をみなおせ」;1971.12 九州工業大学明専会 発行『明専会報』〔項数不明〕, 羽間乙彦 著「企業の森(506)」;1964.11.21 毎日新聞,「企業の森(507)」;1964.11 朝日新聞, 1952 有機合成化学協会 発行『有機合成化学協会誌 10(10)』pp53-54,「日窒コンツェルンを 擔ふ人物」;1938.4 中外産業調査会 編『化学工業財閥の新研究』pp138-143, 152-160, 1945.11.21〔作成者不明〕「Polyvinyl chloride Plant (Nipolit)」,〔1989.5.6 中村清 作成〕 「ニポリット製造行程図」,〔作成年, 作成者不明〕「塩化ヴィニルに合成」, ニポリット係 作 成「空襲下緊急対策『硫酸・硝酸及塩酸の関係』」, 1979.5.31「延岡 小沢尊徳様原稿コ ピー」,	TO03	4	16	要審査
												1964.4.16, 17 積水化学工業株式会社 主催「積水化学創立17周年記念 プラスチック講演 会」, 九州積水工業代表取締役 仲森清 作成「プラスチックと共に歩んだ30年」,「日本の 技術をいかして ビニル 昭和16年, 水俣で製造」;1962.11.25 道家達将, 大沼正則, 板倉聖 宣 著 筑摩書房 出版『道を開いた人びと 世界発明発見ものがたり』pp261-164,「特別よ みもの ビニールの話」;1965.1.20 大沼正則 著 国土社 発行『発明発見物語全集8 物質 鉄からプラスチックまで』pp196-198,「第1章 わが国塩化ビニル工業の誕生」;〔掲載元不 明〕pp13-45, 科学技術史研究会 著「現代日本の科学技術 その発生と展開 塩化ビニル 樹脂」;1965 化学経済研究所 発行『化学経済 12(1)』pp100-115, 神谷卓郎 著「水俣の アセチレンとアセテート」;1956.3.31『葦火 第9集』pp7-13, 中村基与士 著「ポリプロピレ ン」;1961.9 日刊工業新聞社 発行『工業材料 9(9)』pp7-10, 中村純也 著「自給自足体 制に入った北鮮の工業」;1964.3 実業之日本社 発行『実業之日本 67(6)』pp94-96, 笹岡 作五郎 著「プロジェクト・エコノミクスとレスタ・スター 研究開発評価の一方法」;1979.6 化 学工業日報社 発行『化学経済 26(6)』pp2-10, 近藤完一 著「残された時」;〔発行年不 明〕東洋経済新報社 発行『週刊 東洋経済 新年特大号』p54,〔作成年, 作成者不明〕 「合成錯酸製造工程図」), 1939.12.8「ニポリット製造設備」, 1943.9.17「ニポリットM 原価計 算書」, 平木道夫 著「塩化ビニル樹脂工業」;1965.1 朝日新聞社 発行『科学朝日』 pp155-160, 平井兵馬 著「ニポリットの歩んだ道 9年間に450倍」;1958.2.1『葦火 第10集』 pp24-31, 1963.11.28 中村清 著「振り返れば10年」;『塩化ビニール10年史」, 中村基与士 著「有機合成における精留操作」;1961.3 日刊工業新聞社 発行『化学工場 5(3) 別刷』, 1978.11.24「桜美林大学産業研究所設立趣意書・規定」等.				要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-04	017	-	中村清 塩ビ資料	分析係, 水俣工場設計課, ニポリット係, 中村清 (中村清志) ほか	1940～1989	-	-	書類	A3, A4, B4	原本・コピー	1	内容:[作成年不明] 分析係 作成「ニポリット 機械配置図」, 1952.3.13 新日本窒素肥料株式会社水俣工場設計課 作成「水俣工場塩化ヴィニール溶液重合装置見積書」, [作成年不明]「アルコール式低温冷凍機械装置図」, 1944.2.14 ニポリット係 作成「ニポリット工場 重合装置重合器」, 1945.3.6 中村清 作成「重合装置重合器 組立図」, 1940.1.5 分析係 作成「ニポリット重合 オートクレーブ」, (新聞記事)「水俣病と同じ症状詳しくドイツ文献所蔵 厚生省, 昭和13年から」; 1989.9.3 日本経済新聞, (イラスト) 1989.9.4「塩ビ重合器」中村清 → 岡本達明, [作成年, 作成者不明]「ニポリット製造行程図」, 三井三池製作所 作成「三井容積型ブロウ」, 日本化学装置 作成「螺旋熱交換器」, [作成年不明]「新日本窒素総合製造工程図」, 1989.4.28 中村清志 (ママ) 作成「塩化ビニール重合器の概要図」, (パンフレット) 流体工業株式会社 作成「無機ガラスターバ管浮遊式流量計 GTFシリーズ」, 1946.2.13「日本窒素肥料水俣工場製造人造材料 ニポリット (塩化ヴィニル系重合物)」, 中村清 著「随想 塩化ビニルの想い出」; 1953.4 日本工業出版 発行『プラスチックス 第4巻第4号』pp17-20, 1978.10.2「塩化ビニール関連記事」中村清志 → 岡本達明 (平木道夫 著「農業技術20年の歩み③ 塩化ビニル樹脂工業」; 1965.1 朝日新聞社 発行『科学朝日 25(1)(284)』pp155-160, 化学技術史研究会 著「現代日本の化学技術 その発生と展開 塩化ビニル樹脂」; 1965.1 化学工業日報社 発行『化学経済 12(1)』pp100-115, 中村清 著「座談会 別項 塩化ビニルの思いで」; 1961.1 ポリマー工業研究所 発行『塩化ビニール』pp64-67, 「道を開いた人びと 発明発見ものがたり 合成化学工業のはしり 日本独自の技術生かして 手こずった塩化ビニールガラス」; 1961.5.28 朝日新聞, 日本窒素肥料株式会社「ニポリット説明書」) 等.	TO03	4	17	要審査
D-04	018	-	中村清 諸資料	中村清 ほか	1940～1989	-	-	書類	A4, B4, B5, 81×77cm	原本・コピー	1	内容: 1977.9.17 [中村清 作成]「於東大経済士学会 脇村義太郎」, 1940.12.2「中村清氏論」(「白坂午三郎君原稿」とある), 1989.1.27 日本工業倶楽部 作成「関東遵風会・新春講演会出席名簿」「新春講演会ご案内」, [作成年不明]「錯酸工場 (第五期) 機械配置図」, [工場内写真], 1954.3 日本新興溶剤史編纂委員会 編 醋友会 発行『日本新興溶剤史』pp88-89, 松井元太郎 著「工場内測定と作業の自動化」; 1933 新光社 発行『最新化学工業大系』pp198-199, 1959.4.7 調査部 作成「新日本窒素水俣工場 生産の推移」「新日本窒素肥料水俣工場 製造工程図」, [作成年不明]「日本窒素 事業概要」, 中村清 辞令, 1982.9.15「遵風会だより 第6号」, 1989.9.1「遵風会だより 第16号」, [作成年不明] 京都大学 下谷政弘 作成「日窒史と新興コンツェルン研究」, 1972.9.16 水俣市 作成「水俣名誉市民 勲五等 故 橋本彦七儀市葬式次第」, 1972.10.1 水俣市役所 発行「市報みなまた 第352号」, 1958「水俣工場新聞 No.35 (5)」, [作成年不明] 錯酸係 作成「機械配置図」, 1945.11.21 [作成者不明]「Polyvinyl chloride Plant (Nipolit)」, 1946.2.15 日本窒素肥料水俣工場製造人造材料「ニポリット (塩化ヴィニル系重合物)」, 「昭和の工業史」: 1989.1.12「化学新聞 (2)」, 「化学工場ご巡幸にしのぶ天皇」; 1956.2.6「石油化学新聞」, 1989.1.12 石油化学新聞社 発行「石油化学新聞 第3201号」, 1979 ユージン・メーヤー 著 海文堂 出版『危険物の化学』pp160-161, 188-189, 232-235, 「『SOD』と『活性酸素』」; [発行年不明, ダイヤ高齢社会研究財団 発行]「ダイヤニュース [号数不明]」pp7-11, 「除草剤/パラコート中毒 酵素治療が有効」; 1989.8.14 日本経済新聞, 1951.11.25「調査部資料目録」新日本窒素調査部 中村清 → 研究開発本部長, [作成年不明] 中村基与士 (中村清の雅号), 五十嵐赳夫, 伊藤秀夫, 平井久夫 著「無水酢酸の製造法—エチリデン・直接酸化・ワッカー法—」, 日本技術輸出株式会社 中村清 著「化学プロセスとその経済評価」; 1968.8 日刊工業新聞社 発行『化学工場 第12巻第8号』pp10-14, 1950.2.14「橋本市長資口□□」, 1983.2.8 中村清志 作成「チッソにおけるポリプロピレン及石油化学技術導入の経緯」, 1977.9.17 [中村清 作成]「東大に於ける経営士学会『脇村義太郎氏の野口遵・日本窒素についての話』の要点」, 1979.5.15 [中村清 作成]「日本窒素肥料株式会社 社員名簿抜粋」等.	TO03	4	18	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-04	019	-	日本窒素営業報告書 昭5～昭19	日本窒素肥料株式会社	1929～ 1950	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	コピー	1	内容: 営業報告書 (1929 (昭和4).12.1～1950 (昭和25).3.31).	TO03	4	19	可
D-04	020	-	短歌による戦争回顧 萩庭道郎	萩庭道郎	[不明]	-	-	フラットファイル, 書類	A4	コピー	1	作成者は中村清のペンネーム.	TO03	4	20	可
D-04	021	-	戦前アセトアルデヒド資料 他	[日本窒素肥料株式会社水俣工場]	[1943]	-	-	書類	A4, B4, B5	コピー	1	内容: [作成年不明, 水俣工場 作成]「ブチルアルデヒド製造」「アルデハイド製造費」「カーバイド製造費」「会員住所録」, 水俣工場 作成「製造工程図 (ルーシード8)」, 1943.8.13 水俣工場 作成「チッソニール製造費計算書」等.	TO03	4	21	要審査
D-05「水俣工場戦後資料・論文」																
D-05	001	-	新日窒水俣工場概要案内書 内谷発電所開発計画	新日本窒素肥料株式会社水俣工場	1960	11	20	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: 1960.11.20 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 発行『概要案内書』.	TO03	5	1	可
D-05	002	-	職員名簿 S22～32	日本窒素肥料株式会社人事部, 新日本窒素肥料株式会社人事部	1947～ 1953	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容: 『職員名簿』(日本窒素肥料株式会社人事部 作成: 1947.6.1, 1948.1.1, 1948.6.1, 1949.3.1, 新日本窒素肥料株式会社人事部 作成: 1950.4.1, 1951.1.1, 1952.1.1, 1953.1.1).	TO03	5	2	要審査
D-05	003	-	新日窒職員名簿 S29～32	新日本窒素肥料株式会社人事部	1954～ 1957	-	-	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容: 『職員名簿』(1954.5.1, 1955.4.1, 1956.5.1, 1956.12.1, 1957.6.1). 付箋あり.	TO03	5	3	要審査
D-05	004	-	(チッソ及関係会社 有価証券報告書)	大蔵省理財局経済課 監修, 大蔵省印刷局 発行	1963～ 1976	-	-	小冊子	A4, B5	原本	1	内容: 1972.7.10 大蔵省印刷局 発行『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '72 3』, 1973.1.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '72 9』, 1976.1.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 (半期報告書) チッソ株式会社 '75 9』, 1976.7.20『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '76 3』, 1973.1.10『No.20-1 有価証券報告書総覧 株式会社日本興業銀行 '72 9』, 1963.2.5 大蔵省理財局経済課 監修 大蔵省印刷局 発行『No.8-3 有価証券報告書総覧 丸善石油株式会社 '62 9』, 1963.2.25『No.7-43 有価証券報告書総覧 積水化学工業株式会社 '62 9』, 1963.2.28『No.5-34 有価証券報告書総覧 旭化成工業株式会社 '62 9』. 8点.	TO03	5	4	可
D-05	005	-	新日窒有価証券報告書 S30.4～37.3	大蔵省理財局経済課 監修, 大蔵省印刷所 発行	1955～ 1964	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	原本・コピー	1	内容: 1963.2.15 大蔵省理財局経済課 監修 大蔵省印刷所 発行『No.7-6 有価証券報告書総覧 新日本窒素肥料株式会社 '62 9』, 1963.7.31『No.7-6 有価証券報告書総覧 新日本窒素肥料株式会社 '63 3』, 『有価証券報告書』コピー 第12期 (1955.4.1～1955.9.30) ～第29期 (1963.10.1～1964.3.31).	TO03	5	5	可
D-05	006	-	遵風会だより 1～10号	遵風会	1979～ 1985	-	-	書類	A4	原本	1	内容: 『遵風会だより』創刊号 (1979.5.20) ～第10号 (1985.12.20). 第3号抜け.	TO03	5	6	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-05	007	-	塩ビ・アセトアルデヒド・アセテート資料	チッソ株式会社, 新日本窒素肥料株式会社, 昆吉郎 ほか	1954～ 1979	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B5	コピー	1	内容: 1972.11.20 日本ゼオン株式会社 発行『日本ゼオン二十年史』, 1979.9.15 公害対策技術同友会 発行『公害と対策 15(9)』pp1-31, 1979.2.20 日本ビニール商業連合会 発行『日本の塩化ビニール産業』pp3-13, [発行日不明] チッソ株式会社 発行『チッソ 塩化ビニール樹脂 ニポリット』, 1957.4.15 [水俣工場 作成]「当社アルデヒドの製造法に関する一般的な説明」, [作成日, 作成者不明]「アセテートに関する取締役会（申合事項）決議経緯」, Donald F.Othmer, Kichiro Kon, Takeo Igarashi 著「Acetaldehyde by the Chisso Process」; 1956.8.1 Elsevier 出版『Industrial & Engineering Chemistry 48(8)』pp1258-1262, 昆吉郎 著「化学工業における熱経済に対する一考察」; 1954.12 化学工学会 発行『化学工学 18(12)』p604, 『化学工学 18(12)』pp605-608, 1956.6.11「アセトアルデハイド, 錯酸及口酸人造繊維関係新日窒特許」, 1956.6 新日本窒素肥料株式会社 発行『アセテート年表』等.	TO03	5	7	要審査
D-05	008	-	溶剤の発展を語る 酢酸工業会 アセテート繊維工業史（案）	酢酸工業会, 日本繊維産業史 アセテートの部	[不明]	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: [発行日不明] 酢酸工業会 発行『溶剤の発展を語る』, 日本繊維産業史 アセテートの部 発行『アセテート繊維工業史（案）改訂版』.	TO03	5	8	可
D-05	009	-	チッソ論稿 1	藤井光男, 中瀬寿一, 丸山恵也, 池田正孝 ほか	1974～ 1979	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	コピー	1	内容: 1979 藤井光男, 中瀬寿一, 丸山恵也, 池田正孝 編 大月書店 発行『現代資本主義叢書 12 日本多国籍企業の史的展開 上巻』pp168-195「第7章 新興財閥日本窒素肥料の海外進出」, 長沢康昭 著「日窒カザレー法工業化についての一考察 電気化学工業（株）との比較において」; 1975.12 関西学院大学 発行『商学論究 23(1・2)』pp67-81, 下谷政弘 著「日窒コンツェルンと合成硫安工業 —わが国化学工業における独占形成史（4）—」; 1976.11 大阪経済大学 発行『大阪経大論集（114）』pp58-87, 「日本窒素肥料（株）と多角化の展開 —わが国化学工業における独占形成史（3）—」; 1976.7『大阪経大論集（112）』pp94-124, 木本忠昭, 加藤邦興 著『「チッソの技術」と植民主義」; 1976.2 現代技術評論社 発行『現代技術評論 6』pp49-59, 梶村秀樹 著「朝鮮」; [アジア経済研究所 発行, 誌名不明] pp83-95, 梶村秀樹 著「70年代日本における発展途上地域研究/地域編 朝鮮 近代史」; [発行日不明] アジア経済研究所 発行〔『発展途上国研究』〕pp18-27, 大塩武 著「日本窒素肥料株式会社による変成硫安製造企業化の過程」; 1977.3 明治学院大学経済学会 発行『経済論集（26）』pp253-270, 大塩武 著「日窒コンツェルンの成立と企業金融」; 1977.3『経済論集（27）』pp61-127, 仲村政文 著『「新興コンツェルン」の成立と崩壊 —日窒=チッソの資本展開過程に関する一考察—」; 1974.2 鹿児島大学経済学会 発行『経済学論集（10）』pp1-30.	TO03	5	9	可
D-05	010	-	チッソ論稿 2	志屋順, 中村瑞穂, 吉村朔夫, 鈴木初江 ほか	1968～ 1076	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: 志屋順 著「公害と自治体 その4 水俣病で化けの皮をはがされた自治体」; [掲載元不明] pp20-25, [著者不明]「16 チッソ」; [掲載元不明] pp71-173, 中村瑞穂 著「チッソ」; 1968.11 [発行元不明]『企業法研究 162』pp31-37, 吉村朔夫 著「環境問題試論 —水俣病研究補遺—」; 1976.3 鹿児島大学経済学会 発行『経済学論集（13）』pp69-97, 吉村朔夫 著「水俣病研究拾遺 —〈辺境〉における環境破壊をどうとらえるか—」; 1973.3 九州大学産業労働研究所 発行『産業労働研究所報（58・59）』pp225-252, 鈴木初江 著「人間性を奪いかえすために —水俣労働者8年の歩みをたずねて—」; 1971.1 日本労働組合総評議会 発行『月刊総評（164）』pp81-88, 「日本科学者会議第10回全国公害問題シンポジウム 今日の水俣病問題」; 1973.1 日本科学者会議 発行『日本の科学者 8(1)』pp41-64, 「禁治産者・チッソ 開銀融資は一時しのぎ」; 1975.2.8 東洋経済新報社 発行『週刊東洋経済』pp88-89 等.	TO03	5	10	可
D-05	011	-	新入社員の手引 I	新日本窒素肥料株式会社	1961	4	-	小冊子	B5	原本	1		TO03	5	11	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-05	012	-	飯島孝論文	飯島孝, 内村瞭治, 内田俊一, 服部良子	1978～1993	-	-	フラットファイル, 書類	A3, B4, B5	原本・コピー	1	内容:(手紙)〔年不明〕10.16 飯島孝 → 岡本達明, 飯島孝 著「技術が求める美」;1993.7 化学工学会 発行『化学工学 57(7)』pp473-477, 〔作成日不明〕「化学技術論 化学的労働過程 (化学プロセス) について」, 「1930年代の日本窒素肥料 (株) の技術 アセトアルデヒド製造技術を中心にして」, 「わが国における科学的労働過程 (化学プロセス) の展開と時代区分」, 「有機合成化学工業成立の周辺 (その二)」;1989.3 岐阜経済大学地域経済研究所 発行『地域経済 第9集』pp71-77, 「化学技術論序説 (1)」;1992.12 岐阜経済大学学会 発行『岐阜経済大学論集 記念26(3)」pp19-72, 「化学技術論序説 (2)」;1993.3 『岐阜経済大学論集 記念26(4)』pp67-83, 1993.9.19 「化学技術論序説」, 内村瞭治 著「コンビナート災害も忘れたころ起きる」;1992.11 技術と人間 発行『技術と人間 21(11)』pp44-50, 飯島孝 著「産業史にみる化学工学」;1986.12 化学工学会 発行『化学工学 50(13)』pp185-206, 1980.6 内田俊一 著, 工業調査会 発行『エンジニアの道』pp3-37, 服部良子 著「19世紀イギリス化学工業における労働者の状態 —ICI労働政策の形成を考察するために—」;1988.3 『大阪市立大学生活科学部紀要 (35)』pp409-432, 飯島孝 著「日本の化学技術30年の歴史」;1988.4 工業通信 発行『化学装置 30(4)』pp39-48, 「有機合成化学工業成立の周辺 (その一) —大垣の『化学』をめぐって」;1988.3 『地域経済 第8集』pp163-168, 「社史から見たChemical Engineeringの歴史」;1978.1 『化学工学 42(1)』pp33-47, 1979.2 『化学工学 43(2)』pp109-115, 1979.3 『化学工学 43(3)』pp169-176, 1979.4 『化学工学 43(4)』pp235-242, 1979.5 『化学工学 43(5)』pp303-311, 1979.6 『化学工学 43(6)』pp352-358, 1979.7 『化学工学 43(7)』pp416-423, 1979.8 『化学工学 43(8)』pp487-495, 1979.9 『化学工学 43(9)』pp557-565, 1979.10 『化学工学 43(10)』pp598-613, 1979.11 『化学工学 43(11)』pp680-687, 1979.12 『化学工学 43(12)』pp737-742, 内村瞭治 著「水銀法転換はなぜおこなわれないのか」;1977.10 岩波書店 発行『公害研究 7(2)』pp36-46, 内村瞭治 著「使い捨ての構造 —石油・石油化学工業の産業廃棄物 (廃物)—」;1978.10 『公害研究 8(2)』pp13-25.	TO03	5	12	要審査
D-05	013	-	山本潔 (東大社研) 論考	山本潔	1967～1990	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容:1989.10 東京大学社会科学研究所 発行『東宝争議 (1948年) 資料 (其の二)」, 1989.10.28 山本潔 作成「岡本達明氏からのHearingのためのメモ (続)」, 1959.5 日本労働協会 発行『日本労働協会雑誌 No.2』, 〔1989.2.27〕『東芝深谷工場ご案内』, 1989.3.9 山本潔 作成「松下電器産業門真ビデオ工場見学し (工場部分のみ)」, 1988.10.26 山本潔 作成「タカヤ (株) 電気事業本部ビデオ事業部 因島工場聴取り記録」, 山本潔 著「化学労働に関する一考察 (三) —油脂工業を中心として—」;1988.11.18 東京大学 発行『社会科学研究 40(4)』pp133-173, 山本潔 著「『インフォーマル組織』に関する一考察 (一) —甲電気における事例を中心として—」;1990.7 『社会科学研究 42(1)』pp205-264, 「『インフォーマル組織』に関する一考察 (二) —甲電気における事例を中心として—」;1990.9 『社会科学研究 42(2)』pp113-159, 山本潔 著「戦後労働調査の一反省 —毛沢東調査論をめぐって—」;1967.9 法政大学経済学部学会 発行『経済志林 35(3)』pp94-121, 「化学労働に関する一考察 (一) —アンモニア工業を中心として—」;1984.7.31 『社会科学研究 36(1)』pp1-65, 「化学労働に関する一考察 (二) —アンモニア工業を中心として—」;1984.8.14 『社会科学研究 36(2)』pp45-111.	TO03	5	13	可
D-05	014	-	近藤完一 労働論	近藤完一	〔不明〕	-	-	書類	A4	コピー	1		TO03	5	14	可
D-05	015	-	社債目論見書	新日本窒素肥料株式会社	1952	11	6	小冊子	B5	原本	1		TO03	5	15	可
D-05	016	-	水光社五十年史	水光社50年史編集委員会 編集, 生活協同組合 水光社 発行	1972	5	1	小冊子	A5／110P	原本	1		TO03	5	16	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-05	017	-	水俣工場新聞	新日本窒素肥料株式会社水俣工場庶務課, 新日本窒素肥料株式会社水俣工場尚和会	1955～1957	-	-	書類	B5	原本	1	内容:『水俣工場新聞』No.1 (1955.6.10) ～ No.24 (1957.5.10) (No.22 抜け), 号外 (1956.2.20), 1955.10.5 新日本窒素肥料株式会社水俣工場尚和会 発行『葦火 No.70』p1, p4. 25点. 付箋あり.	TO03	5	17	可
D-05	018	-	水俣工場新聞 S34.3.10 35.8.20	新日本窒素肥料株式会社水俣工場庶務課	1957～1960	-	-	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容:『水俣工場新聞』No.27 (1957.8.10) p12, No.34 (1958.3.10) p1, No.40 (1958.9.10) p4-5, No.46 (1959.3.10) ～No.63 (1960.8.20).	TO03	5	18	可
D-05	019	-	水俣工場新聞	チッソ株式会社, 水俣工場附属病院	1964～1965	-	-	書類	B5	原本	1	内容:『水俣工場新聞』No.102 (1964.9.1) ～ No.106 (1965.1.1), 臨時号 (1964.12.26), No.114 (1965.9.25), 1964.11.16 水俣工場附属病院 発行『チッソ病院だより いずみ No.7』. 8点.	TO03	5	19	可
D-05	020	-	チッソ株式会社 NEWS FILE	チッソ株式会社	[1986～1988]	-	-	パンフレット	A4	原本	1		TO03	5	20	可
D-05	021	-	芦火化学教室 薬品部30年史 S29 旭化成延岡工場	旭化成工業株式会社延岡工場薬品部	[1954]	-	-	フラットファイル, 書類	A5, B4	コピー	1	内容:[発行日, 発行者不明]『葦火化学教室』, 1954.6.20 旭化成工業株式会社延岡工場薬品部 発行『薬品部30年史』.	TO03	5	21	可
D-06「第一組合闘争資料 I」																
D-06	001	-	第一組合闘争 1965～69 断片資料	合化労連新日窒労組, 水俣工場勤労課, 水俣市役所職員労働組合, 全日本自治団体労働組合, 公害研究対策センター, 愛水会, 水俣病患者家庭互助会, 水俣病問題百人委員会 ほか	1965～1970	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容:「1965」(1965.6.5 合化労連新日窒労組 作成「今年新しく入社された人たちに!」, 1965.3「各職場環境・衛生・諸設備申し入れ」硫酸職場懇談会 → 硫酸課長, 1965.3.28「ビニール課職場諸要求」, 1965.8 水俣工場勤労課 作成「職場規律確立のための当面の対策」, 1967.10.20 中川満夫 発行『水俣時事新報 第146号』, 水俣市役所職員労働組合 著「水俣市における財政問題」; 1967 全日本自治団体労働組合 編, 自治研中央推進委員会事務局 発行『自治研報告書集：地方自治研究全国集会 第10回』pp525-529), 「1967」(鈴木宏昌 著「市原市の大気汚染とその対策」; 1967.11 公害研究対策センター 発行『官公庁公害専門資料 2(6)』pp54-64), 「1968」([「自民党系ビラ」「みんなで考えよう! 水俣の街を」, (ビラ) 愛水会 発行「水俣を愛する方は愛水会へご入会を」, 1968.4 橋本市政後援会結成準備会 作成「趣意書」, 1969.4.12「申し入れ書」水俣病患者家庭互助会 → チッソ株式会社取締役社長 江頭豊, 1968.9.11「申入れ」合化労連新日窒労組 → チッソ株式会社, 1968.11「塩化ビニル 重合関係資料」), 「1969」(1969.10.5 合化労連新日窒労組 作成「首切り反対斗争経過報告書」, 1969.12.25『さいれん No.2120』, 1970.4 中央民主団体災害対策会議 発行『60年代の災害・「公害」闘争の総括と70年代の展望 第7回「公害」河川災害ダム対策全国活動者会議基調報告・議事録』, 1969 水俣病問題百人委員会 作成「『有機水銀中毒』と政府に認定された水俣病患者の正当にして十分なる補償を要請し, あわせて公害防止を訴える) 等.	TO03	6	1	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	002	-	第一組合闘争資料 1970	毎日新聞, 入江寛二, 岡本達明, 合化労連新日窒労組, 星野芳郎, 江頭豊, 水俣をよくする会, 太田薫, チッソ水俣支社勤労課, 篠原靖, 通産省化学工業局, 星野芳郎, 熊本県労働基準局, 日本社会党中央本部, 日本労働組合総評議会, 大阪水俣病を告発する会 ほか	1970～1971	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容:「公害なんてなくなれ」; 1970.7.3 毎日新聞, 1970.7〔作成者不明〕「水俣工場の人員計画と誘致企業について」, 1970.11.9 専務取締役 入江寛二「水俣病の真相を伝えよう」, 1970.7「意見おうかがいの件」新日窒労組執行委員長 岡本達明 → 水俣市長 浮池正基, 水俣市議会議長 斉所市郎, 1970.9.2 合化労連新日窒労組 作成「水俣工場の撤退・首切りにどう対処するか!」, 星野芳郎 著「チッソ水俣の現状について」; 1971.4 現代技術史研究会 発行『技術史研究 (49)』pp1-23, 1970.10 チッソ株式会社社長 江頭豊 作成「47運動の展開にあたって」,〔作成日, 作成者不明〕「43.11.1～45.10.1 人事異動」,「水俣市旭町2丁目登記簿謄本 (2) 工場取水配管 (水道管) 土地登記調査の1例」, (書名のお願い) 1970.10.3 水俣をよくする会 作成「水俣をさびれさせないために」, 1970 合化産業労組連合中央執行委員長 太田薫, 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 作成「請願書」, 1970.10.17 チッソ水俣支社勤労課 発行「勤労速報」, 篠原靖 著「硫酸工業の現況と需給動向」; 1970.8 日本化学工業協会 発行『日化協月報 23(8)(265)』pp41-46, 1970.10〔組合〕作成「硫酸について」, 1970.2.15「組合の方針」,〔作成日不明〕「希望退職者」,〔作成日, 作成者不明〕「被害者同盟 (仮称)」,〔作成日不明〕「長野春利県議会 代表質問要旨」, 1970.11.28 通産省化学工業局「チッソ水俣工場の体質改善計画について 追加説明資料」, 1970.11.17『さいれん 2206号』, (ビラ) 1970.11.15 合化労連新日窒労組 作成「いじめてはならない 裁判所, 判決を下す」, 1970.11.14「勤労速報」,「チッソが水俣から撤退する?」; 1970.12.4『週刊朝日』pp152-155,	TO03	6	2	要審査
												(ハガキ)〔年月日不明〕星野芳郎 → 近藤完一, 1971.3.23「さいれん 2240号」,「協定書」(1967.12.16 チッソ株式会社, チッソプラスチック株式会社, 合化産業労組連合, 1968.5.30 チッソ株式会社, チッソエンジニアリング株式会社, 合化産業労組連合, 1969.11.25 チッソ株式会社, チッソ興産株式会社, 合化産業労組連合, 1970.6.1 チッソ株式会社, 合化産業労組連合新日窒労組, 1971.8.13 チッソ株式会社, 合化産業労組連合新日窒労組), 1970.4.16 熊本県労働基準局長「昭和45年度安全管理特別指導事業場の指定について」, 1970.6.17 日本社会党中央本部 発行「社会新報 第1333号」, 1970.6.4〔作成者不明〕「5月度研究月報有機関係」, (入場券) 11.19 チッソ株主総会, (公開質問状) 水俣病の責任を追及する株主一同 → チッソ株式会社社長 江頭豊, 1970.10.23 日本労働組合総評議会 発行「総評新聞 第988号」, (ビラ) 鹿大・「公害」研 水俣病を告発する会 作成「殺人会社チッソを我々は告発しつづける!!」, 大阪水俣病を告発する会 作成「チッソ (株) よ! おまへのやってくる土地は, この大阪・堺にはないのだということを思い知らせてやるぞ!!」, 1970〔作成者不明〕「市民向けビラ原稿」19点 等.				

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	003	-	第一組合闘争資料（水俣撤退闘争）1971	西日本新聞, 河島康也, 岡本達明, 島田賢一, 江頭豊, 新日窒労組, 水俣市役所, 水俣病を告発する会, 水俣をよくする会, チッソ東京従業員組合, チッソ水俣支社勤労課 ほか	1966～ 1971	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4, B5	原本・コ ピー	1	内容: 1971.1.30「チッソ “廃液, 海に捨てたい”」; 西日本新聞, 1971.2.16 チッソ株式会社労働部長 河島康也, 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明「会社回答（昭和46年2月12日付トエミ第79号）及び組合申入れ（昭和46年2月15日付ゴロコロ154号）についての団交議事録確認書」「チッソプラスチック 協定書」, 1971.8.13 チッソ株式会社取締役社長 島田賢一, 岡本達明「協定書 別紙」, 1971.2.25 チッソ株式会社取締役社長 江頭豊, 岡本達明「協定書」, (封筒入り) タイトル:「S46.2.20 運動日誌 錯化? 横田組合長 丸山副組合長への手紙 申入れ（講義）書 CDU組合員 三井東庄へのピラ」（内容: (手紙）〔差出人不明〕→ 新日窒労組 横田組合長, 丸山副組合長, (ピラ) 1966.7.7 合化労連新日窒労組 作成「東庄の現場のみなさんに新日窒の現場の組合員は心から訴えます」, メモ 等）, 1971.3「渡辺栄蔵さん挨拶文（原本）」, 1971.9 水俣市役所 発行「市報みなまた 第329号」, (ピラ) 1971.10.25 水俣病を告発する会 作成「チッソは新認定患者の要求を率直に受け入れよ」, 1971.10.25 水俣をよくする会 作成「水俣病問題に対する私たちの態度」, 1971.11.27 エチル労組を支援する会 発行「連帯の旗 No.8」, 〔作成日, 作成者不明〕「十条製紙八代工場 行程と排水系統概要図」, 1971.11.12 ある患者 作成「補償金を不足として立たれた人達よ」, 1971.2.17 〔新規事業就業希望受付開始の通知〕勤労課 → 従業員各位, チッソ東京従業員組合 発行「あゆみ」（1971.8.9, 8.10, 8.27, 9.11）, 〔作成者不明〕チッソ電子労働組合 作成「合理化に対する執行部の方針」, 〔作成日不明, JM委員会作成〕「JM委員会要綱」,	TO03	6	3	要審査
												1971.9.8 チッソ石油化学（株）五井工場労組 作成「チッソ労働組合連絡協議会について」, 1971.8.24「新会社の設立等に関する件」人事部長 → 各部室課長, 1971.8.5〔退職希望者募集の通知〕チッソ開発株式会社総務部（勤労）→ 従業員各位, 1971.8.28 チッソ水俣支社勤労課 発行「勤労速報」, (ピラ）〔作成日不明〕全チッソ労働組合連絡協議会結成準備会「全チッソ労働組合連絡協議会 10月7日京都で結成」, 1971.8.13 合化労連新日窒労組 発行「さいれん 2280号」, 「社内普通預金管理規定」, 「住宅積立金管理規定」, 1971.9.29 チッソ水俣労働組合「第12期運動方針（案）」, 1971.11.7 岡本達明 作成「みなまた れぽーと」, (手紙) 1971.11.17 岡本達明 → 太田薫, 西野六郎, 1971 合化労連新日窒「運動方針（案）」, 近藤完一 著「巨大産業時代の終り」; 1971.10.1『朝日ジャーナル』pp93-97 等.				要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	004	-	第一組合闘争資料（興銀闘争・14項目・訴訟判決後）1972～73	合化労連新日窒労組, チッソ水俣支部総務部, 全チッソ労働組合連絡協議会, 近藤完一, 水俣農民会, チッソ水俣労働組合 ほか	1972～ 1973	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1972.3.6 合化労連新日窒労組 発行『チッソの事態に対して我々はどうたたかうか』, 1972.7.12 新日窒労組 発行『興銀・チッソのファシズム的第一組合攻撃』, 1972 全国電気通信労働組合 発行『水俣病裁判の勝利をめざして』, 1972.8.3『しんろう 第474号』, (ビラ) 1972.8.3, 1972.5.30 新日窒労組 作成, 1972.9.29 新日窒労組 発行『さいれん No.2398』, 1972.9.30 チッソ水俣支部総務部 発行『勤労速報』, 1972.11.10 全チッソ労働組合連絡協議会 発行『連協ニュース 第2号』, 1972.12.14「被申立人提出の書類認否について」新日窒労組 → 熊本県地方労働委員会, 合化労連 作成「水俣病判決と私たちの態度」, 近藤完一 著「手前勝手な強者の論理」; 1973.4.6 朝日新聞社 発行『朝日ジャーナル 15(13)(735)』pp13-16, 1973.3.17「要求書」日窒労働組合連合会中央執行委員長 岡本達明 → チッソ株式会社取締役社長 島田賢一, 1973.4 全チッソ労働組合連絡協議会 作成「水俣病問題に対する全チッソ連協の態度」, (ビラ) 19737.4 cc 作成, (ビラ) 1973.4.23 合化労連新日窒労組 作成, 1973.4「陳情書」水俣農民会 → 日本興業銀行, 1973.3.17 合化労連新日窒労組 作成「大会宣言」, 1973.4.17『さいれん No.2455』, 1973.4.24『さいれん No.2457』, 1973.5.4『さいれん No.2460』, 1973.6.1 チッソ株式会社, 日窒労組連合会 作成「協定書」, 1973.10 全チッソ労働組合連絡協議会 作成「第3期運動方針 (案)」, 1973.11.29 水銀PCB被害漁民支援水産関係労組実行委 作成「不知火海30漁協による対チッソ交渉について (会議メモ)」, 1978.11.30 チッソ水俣労働組合 発行『しんろう 号外』, [作成日, 作成者不明]「五井工場爆発に関する交渉のいきさつ」, 1973 チッソ石化労組調査部 作成「一時金に取組もう」, 1973.12.21「特賞査定説明要求書」等.	TO03	6	4	可
D-06	005	-	第一組合闘争資料（開発配転者 チッソ引取第一組合差別 是正闘争）1973～74	岡本達明, 合化労連新日窒労組, チッソ労働組合連合会, チッソ水俣労働組合, チッソ株式会社, チッソ開発株式会社, 馬場昇 ほか	1963～ 1977	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: [岡本達明 作成]「チッソ開発引取り闘争経緯」, (チッソ水俣工場給与明細書) 1968.10 オガタビデオ, 1973.10「第一組合差別不当労働行為救済申立書」(申立人: 岡本達明, 被申立人: チッソ株式会社 ほか), [作成日不明, 岡本達明 作成]「組合要求」, 1965 チッソ株式会社, 合化労連新日窒労組「開発 福岡協定」, 1974.3.13「申入書」岡本達明 → チッソ株式会社, チッソ開発株式会社, [作成日不明, 岡本達明 作成]「48年以降の開発退職者表」, [作成日不明] 合化労連新日窒労組 作成「昭和49年4月以降チッソ開発定年退職者」, 「開発賃金・一時金・退職金 較差資料」(「(秘) 大卒男子 48年度モデル賃金 (硫安工場基準内)」, 「チッソ開発 賃上げ・一時金対比」, 1973.11 合化新日窒労組「48年夏一時金チッソ・開発モデル比較表」, 「開発退職金基礎額について」, 「開発配転者年度別一覧表」, 「開発配転者とチッソ同僚者の賃金比較」, 「賃金 (基準内賃金) 差額」, (ビラ) 1975.6.27 合化労連新日窒労組「開発問題, 賃金差別問題, 賃上げ問題 立会人第一回仲裁開かる」, 協定書案, 協定確認議事録案, 1974.10.30 チッソ労働組合連合会, チッソ水俣労働組合 発行「労連ニュース」, 1977.3.31〔組合 作成〕開発引取具体化交渉経緯」, 1975.8.6 チッソ株式会社, チッソ開発株式会社, 合化労連新日窒労組「懸案事項解決について」, 1977.3.30「チッソ開発配転者戻し順序 (案)」, 「田中立会人見解」, 「チッソ開発引取りに関連する労使の争点」, 「馬場立会人引取具体案 (年令順)」, 1977.4.25 立会人馬場昇 作成「チッソ開発引取について」, (メモ)「守山の是正」等), 「第1組合開発引取書賃金差別是正資料」(1963.3 技能員5号「両組合員職能及び賃金推移対称表」, 1974.10.1「珪素移行時 賃金並に退職金比較表」, 「47年度定年退職者退職金一覧表」等) 等.	TO03	6	5	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	006	-	第一組合闘争資料 1974	合化労連新日室労組, 安全衛生課, 水俣市立 病院, 日本電工郡山工 場労働組合教宣部, 新 日室労組主婦の会 ほ か	1973～ 1974	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容:(写真)「第88回合化労連中央委員会記念式典」, 1974.8 合化労連新日室労組 作成「チッソ 賃金体系について」, 1974.2.22 合化労連新日室 作成「74春斗要求 (案)」, 1974.1 「企業健全化計画」, 「カドミウム健康診断個人表」, 安全衛生課 作成「有機溶剤特殊健診個人表」, 1973.11.1 「危険物施設立入検査の結果について」水俣市消防本部消防長 → チッソ株式会社水俣本部長, 1974.3.2 水俣市立病院 作成「チッソプラスチック (株) 従業員健診所見」, [1975] 広島県医師会 発行『産業医の手引』, 1974.8.10「水俣工場周辺 (丸島) 健康調査 (生命を守る住民団)」, 1974.3.14 日本電工郡山工場労働組合教宣部発行「教宣情報 No.23」, 1974.2 新日室労組 作成「下請実態調査」, 1974.3.6「要求書」日室労働組合連合会中央執行委員長 岡本達明 → チッソ株式会社取締役社長 島田賢一 ほか, 「昭和49年度運動方針討議用メモ」, 1974.6.30「貸借対照表」, 1974.11 合化労連新日室労組 作成「昭和49年度 運動方針 (案)」, 1974.12.19 新日室労組主婦の会 作成「第20回 定期総会資料」, 「主婦の会に関するアンケートの集計結果報告」等.	TO03	6	6	可
D-06	007	-	第一組合闘争資料 (興銀のチッソ処理) 1975	熊本県, 富樫貞夫, 原田 正純, 水俣病認定申請 患者協議会, 熊本県公 害対策局, 近藤完一, 合 化労連新日室労組, 岡 本達明, チッソ労働組合 連合会, 水俣病患者同 盟 ほか	1974～ 1975	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4, B5	原本・コ ピー	1	内容:1974.12 熊本県 作成「水俣病認定制度改正に関する要望書」, 富樫貞夫 著「水俣病認定の遅れと法律上の問題点」; 1975.1.15 有斐閣 発行『ジュリスト (579)』 pp38-43, 原田正純 著「水俣病の認定の遅れを問う 認定とは医学にとって何か」; 1975.1.15『ジュリスト (579)』 pp44-51, (ハガキ) 1975.1.26 [一組合員] → 岡本達明, 1975.2.28 水俣病認定申請患者協議会「声明文」, 1975.2.26「水俣病認定業務に係る申入書について (回答)」熊本県公害対策局長 → 水俣病認定申請患者協議会, 「銀行の社会的責任」; 1975.2.11 毎日新聞社 発行『エコノミスト』 p3, 「チッソ再建で墓穴を掘った興銀」; 1975.2.8 ダイヤモンド社 発行『週刊ダイヤモンド』 p5, 「禁治産者・チッソ 開銀融資は一時しのぎ」; 1975.2.8 東洋経済新報社 発行『週刊東洋経済』 pp88-89, 近藤完一 著「水俣の映像と現代」; 1975.4.15『エコノミスト』 pp76-77, (新聞切抜) 1975.2.6 日経新聞, 1975.1.9 [西日本新聞], 1975.1.30 朝日新聞, 1975.1.30, 1.31 毎日新聞, 1975.2.3 日経新聞, (ビラ) 1975.1.29 合化労連新日室労組「労働者と患者家族にツケは回させない 決意再び新たに!」, 1975 [岡本達明 作成]「チッソ経営状況について」 「補償・チッソ処理に関する問題点」, (手紙) 1975.6.12 岡本達明 → [組合員], 1975.6 計画委員会 作成「第4回計画委員会資料 水俣湾等堆積汚泥処理計画 (案)」, 1975.6 熊本県 作成「水俣湾等堆積汚泥処理に伴う監視基本計画 (案)」, (ビラ) 合化労連新日室労組「共栄合板を日商岩井に売却開発に二の舞をさせるな」, 1975.7.15 チッソ労組連合会「労連ニュース」, [作成日不明]「抗議文」水俣病患者同盟 → チッソ株式会社, 1975.7.2「合板団交」, (手紙) [1975].11.11 岡本達明 → 星野芳郎, 1975.10.7 合化労連新日室労組 (チッソ第一組合)「抗議声明文」, [1975].12.20 近藤完一「拠点長会議」, 合化労連新日室労組 作成「昭和50年度 運動方針 (案)」, 「水俣病患者弾圧に抗議する市民集会 集会次第」(1975.11.9 於水俣市教育会館 司会: 山下善寛, 砂田明), 「チッソ県債 92～93 平成4～5」(新聞記事コピー (1993.9.8, 9.15 西日本新聞, 9.14, 9.22 毎日新聞, 9.14 読売新聞, 9.2, 9.26 朝日新聞, 9.22 熊日新聞, 9.22 日経新聞), チッソ株式会社 作成「再建構想」, [作成者不明]「今回の県債発行額 (第28回分)」, (メモ) [岡本達明 作成]「4/17 馬場」) 等.	TO03	6	7	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	008	-	第一組合闘争資料 1976～78	合化労連新日窒労組, 星野芳郎, チッソ株式会 社, 熊本県 ほか	1971～ 1987	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4, B5	原本・コ ピー	1	内容:「1976」(星野芳郎 著「患者と労働者の切捨てと闘う水俣大集会における講演」; 〔掲載誌不明〕pp19-28,「水俣病の思い十字架」;1976.2 日経新聞, 1976.2.29 水俣病認 定申請患者協議会 発行『水俣症候群』, 1976.1 合化労連新日窒労組 作成「討議資料」, 1976.3.3 合化労連新日窒労組 発行『さいれん 2621号』, 1971.3 チッソ株式会社水俣支 社 発行『チッソみなまた No.179』,「1977」(「水俣審風土記」;1977.4.3 西日本新聞,「もう 一つの水俣 チッソ城下町」;1978.7.18 毎日新聞社 発行『エコノミスト』p77, 1977.9.6 合化 労連新日窒労組 作成「チッソをめぐる状況とわれわれの方針(案)」,「1978」(「昭和53年 度実績見込」, 1978.2.2 チッソ株式会社取締役社長 野木貞雄, 新日窒労組執行委員長 岡 本達明 作成「協定書」「覚書」,(手紙) 1978.2 細谷卓爾 → 岡本達明,〔作成日不明, 熊 本県 作成〕「熊本県のチッソ株式会社に対する貸付資金貸付要項」, 1978.6.20「水俣病 対策について 閣議了解」, 日本社会党 作成「水俣病問題総合調査法案」, 1978.10.19 衆 議院議員 馬場昇 作成「今次水俣病法案をめぐる諸問題について」, 熊本県, チッソ株 式会社 作成「熊本県のチッソ株式会社に対する貸付資金貸借契約書」, 1978.12 チッソ株 式会社 作成「中期事業計画の骨子」, 1978.12.29 日本社会党熊本県, 県議会議員団 作 成「水俣病に関する県債発行にあたって, 付帯決議とすべき党の意見」,「水俣工場を大 幅縮小」;1979.6.6 熊日新聞, 1979.4.1「水俣市民憲章」, 1987.2.9『さいれん No.143』, 1979.2.16 チッソ水俣本部総務部 発行『勤労速報』) 等.	TO03	6	8	要審査
D-06	009	-	水俣病 1968～71	佐々木三郎, 岸星一, 全 チッソ労働組合連絡協 議会, 水俣病対策市民 会議, 水俣病を考える 学生会議, 水俣病を告 発する会, 原田正純, 赤 崎覚, 水俣病補償処理 委員会 ほか	1969～ 1971	-	-	フラットファイ ル, 書類	B4, B5	原本・コ ピー	1	内容:(書留) 1969.7.9〔支払いに関する通知〕チッソ株式会社水俣支社取締役支社長 佐々木三郎 → 患者6名, (手紙, 訴訟委任状) 1969.7.19 岸星一 → 渡辺栄蔵,〔作成日不 明, 市民会議 作成〕「運動方針」, 1972.8.1 全チッソ労働組合連絡協議会 発行「連協 ニュース」,(ビラ) 公害防止倉敷市民協議会 作成「全市民に次ぐ!! 恐るべき公害の実態, 数万の署名で市民の意思表示を!」,「企業優先の姿勢を正せ」;1968.10.8 毎日新聞社 発 行『エコノミスト』p11, 戒能通孝 著「法律時評」;〔1968.10 掲載誌不明〕pp2-3, 1970.6.17 水俣病対策市民会議 作成「弁護団への要請」,(ビラ)「貝は訴える 袋拠点」, 1968.10.27 日本社会党熊本県本部第23回定期大会「水俣病対策に関する決議」,(熊大医) 水俣病 を考える学生会議 発行「水俣の海 第1号～第3号」(1969.5.20～5.27), 1969.11.18 水俣病 対策市民会議情宣部 発行「市民会議ニュース No.26」, 1973.1.25 水俣病を告発する会 発行「告発 第44号」, 原田正純, 赤崎覚 著「告発された水俣病の重大局面」;1970.6.7 『朝日ジャーナル』pp117-124, 1970.5.25 水俣病補償処理委員会 作成「水俣病補償処理 案作成の経過と要領」, 水俣病訴訟弁護団 発行「弁護団だより No.2, No.3, No.14, No.17」 (1971.4.15～1971.12.1),〔作成日, 作成者不明〕「立証計画案」等.	TO03	6	9	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	010	-	水俣病 1972	合化労連新日窒労組、東京・水俣病を告発する会、島田賢一、水俣を明るくする連絡協議会、水俣病市民会議、水俣病を告発する会、水俣病研究会 ほか	1963～ 1972	-	-	フラットファイル、書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容：1973.10.13 朝日新聞、合化労連新日窒労組 作成「決算報告書（含半期決算）」（1963.8.1 ～19643.31）、1970.10 東京・水俣病を告発する会 発行「水俣病問題をご理解いただくために」、1971.12.22「抗議文」水俣出身者有志一同 → 執行委員長、代議員会議長、1972.1.12 ユージン・スミス 作成 宇井純 訳「損害申立及経過報告書」、〔新日窒労組 執行部 作成〕「公害をなくし、水俣病問題の早期円満解決が我々の望みだ!!」、1972.1.27 チッソ株式会社取締役社長 島田賢一 作成「水俣病新認定に伴う補償問題について」、1972.2.24 合化労連新日窒労組 作成「新入社員の皆さんへ」、1972.8.29 丸島拠点 作成「丸島拠点組合員、主婦のみなさんへ」、1972「公害防止協定」、1972.2.27 水俣を明るくする連絡協議会 作成「陳情書」、1972.2.27「水俣病改名についての要望書」水俣市飲食店組合 ほか → 大石環境庁長官、(手紙) 1972.3 東京チッソ本社前座り込み水俣病患者家族一同 → 新潟水俣病患者家族御一同、東京・水俣病を告発する会 8月行動委員会 発行『8月行動報告』、〔1972〕.1.12 水俣病を告発する会 作成「自主交渉闘争 その経過と今後の方向性」、1972.1.4「証拠物件の提出について」川本輝夫 ほか座り込み患者家族一同 → 中央公害審査委員会事務局長、1972.2.11「公開質問状 はじめての水俣現地来訪にあたって」直接交渉要求水俣病患者家族一同、水俣病患者家庭互助会訴訟派一同、水俣病市民会議、水俣病を告発する会 → 中央公害審査委員会水俣病補償調停委員、1972.8.25「水俣病裁判支援ニュース『告発』第39号」、1972.8.31「回答書」昭和電工株式会社取締役社長 鈴木治雄 → 新潟水俣病被災者の会、新潟水俣病共斗会議、「水俣病自主交渉闘争 集会および上映会 4月20日～9月20日」、「公開質問状」長野水俣病を告発する会 → 長野県高等学校教職員組合、水俣病研究会 作成「潜在水俣病異常者に関する調査」、1972.10.26「申入書」水俣病訴訟巻が家族、水俣病市民会議 → 日本興業銀行、公害等調整委員会水俣病補償調停委員、1972.10.1 産業経済展望社 発行『水俣病問題は終らない』等.	TO03	6	10	要審査
D-06	011	-	水俣病 1973	水俣を明るくする市民連絡協議会、水俣病を告発する会、環境庁水質保全局、熊本県衛生部公害局、島田賢一、水俣病東京交渉団、岡本達明、W.ユージン・スミス、アイリーンM.スミス、環境庁企画調整局、石牟礼道子 ほか	1971～ 1973	-	-	フラットファイル、書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容：1973.1.31〔作成者不明〕「公調委の調停手続きの問題点 偽造委任状問題メモ」、〔作成日、作成者不明〕「経過記載書」、1973.3.4〔作成者不明〕「要求項目試案」、(ビラ) 1973.3.13 水俣を明るくする市民連絡協議会 作成「陳情書」、1973.3.25 水俣病を告発する会 発行「告発 第46号」、1973.8.31 環境庁水質保全局「水銀を含む底質の暫定除去規準」、1973.5 熊本県衛生部公害局「水俣湾内堆積汚泥水銀分析結果表」、1973.3.30「回答書」チッソ株式会社社長 島田賢一 → 水俣病東京交渉団、1973.4.5「補償に関する措置等について」島田賢一 → 水俣病患者家庭互助会、1973.4.10「申し入れ書」水俣病東京交渉団 田上義春 → 日本興業銀行頭取 正宗猪早夫、(手紙) 1973.8.10 岡本達明、松田(元合化労連新日窒労組副執行委員長) → 二塚信、〔作成日、作成者不明〕「有明海・不知火海周辺と水俣病の広がり」、(ハガキ) W.ユージン・スミス アイリーンM.スミス 水俣病写真展「生—その神聖と冒涇」10.5～10.11 於 水俣市公会堂、1973.6.15 環境庁企画調整局「環境庁資料 公害健康被害補償法案」;〔掲載元不明〕pp84-95、1971 水俣病患者東京本社交渉団、チッソ株式会社「協定書」、〔作成日不明〕「水俣病センター（仮称）設立委員」、1973.8.2『『水俣病』病名の改称等に関する署名運動の実施について』水俣市駐在事務所長会役員会 → 各区駐在事務所長、各区行政協力員、〔作成日不明〕石牟礼道子「水俣病センター（仮称）設立のために」、(ビラ)「漁連よ補償根拠を全市民に納得いくまで説明せよ!」、1973.8.5 水俣を明るくする市民連絡協議会「市民一人一人の立ち上りが明日の水俣の発展をきめます」、1973.7.29 郷土を愛する会「市民生活を破壊するよそ者漁協と斗え!」、1973.8.16 チッソ水俣労働組合 発行「しんろう 第528号」、1973.8.16「不知火海沿岸30漁協との交渉経過について」1973.7.9「漁業補償交渉の状況について」水俣本部長 野口朗 → 従業員各位、〔作成日不明〕岡本達明 著「水俣病問題とは何であったか」等.	TO03	6	11	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	012	-	水俣病 1974～	水俣病認定申請患者協議会, 水俣病患者同盟, 水俣病第二次訴訟原告団, 水俣病被害者の会, 出水水俣病被害者の会, ヘドロを安全処理させる会, 水俣病弾圧事件調査団, 富樫貞夫, 丸山定巳, 色川大吉, 東京・水俣病を告発する会, 福岡・水俣病を告発する会 ほか	1968～ 1980	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1974.8.3 水俣病認定申請患者協議会 発行「協議会だより No.1」, 1974.11.8「申入書」水俣病認定申請患者協議会会長 岩本広喜 → 熊本県知事 沢田一精, 1974.12.13 水俣病認定申請患者協議会 作成「声明書 不作為の違法確認の訴訟にあたって」, 1974.12.13「公開質問状」水俣病認定申請患者協議会 → 熊本県議会議長 松岡義昌, 1974.12.17「協議会だより No.8」, (ビラ) 1975.10.16 水俣病認定申請患者協議会, 水俣病患者協議会, 水俣病患者同盟, (ビラ)〔作成日不明〕水俣病第二次訴訟原告団, 水俣病被害者の会, 出水水俣病被害者の会, (ビラ)〔作成日不明〕「熊本, 鹿児島水俣病被害者総決起集会」実行委員会, (ビラ)〔作成日不明〕ヘドロを安全処理させる会 作成, 1978.6.30「水俣病対策について」通産省基礎産業局長 大永勇作 → 日本化学工業協会会長 鈴木永二, 〔作成日不明〕「公開質問状」ヘドロを安全処理させる会 → 熊本県知事 沢田一精, 1975.12.26 水俣病弾圧事件調査団「声明 ひき続く任意出願について」, 1975.12.25 興人・関連労組支援熊本県共闘会議 発行「興人共闘ニュース No.1」, 1981.4.24 富樫貞夫, 丸山定巳 作成「水俣病患者補償に関する調査(世帯票)」「水俣病患者補償に関する調査(個人票)」, 1977.10.31「出水地区労水俣湾ヘドロ処理対策委員会報」, 「第2回公開自主講座水俣病その2」(1976.7.3 於 熊大 主催: 自主講座実行委員会, 講師: 浜元二徳, 緒方正人, 谷洋一, 助言者: 原田正純), (新聞記事コピー) 色川大吉「第一期の不知火海調査」; 1980.12.3 読売新聞夕刊, (ビラ)〔1968〕袋抛点 作成「貝は訴える」(「労組運動会仮装行列時 観衆へのチラシ」とある), (新聞記事コピー)〔年不明〕1.5, 1.12 熊日新聞, 〔作成日不明〕チッソ本社内座り込み患者一同, 東京・水俣病を告発する会 作成「症状によるランクづけは間違っている!」, 〔作成日不明, チッソ労組連合会 作成〕「水俣湾ヘドロ処理工事計画案」, 〔作成日, 作成者不明〕「潜在水俣異常者に関する調査」, 1970.6.8〔作成者不明〕「弁護士への要請」, 1971.6.20 福岡・水俣病を告発する会 発行「死民 第8号」, 1969.7.31「第一準備書面」(原告: 渡辺栄蔵 ほか111名, 被告: チッソ株式会社) 原告代理人弁護士 → 熊本地方裁判所民事第三部 等.	TO03	6	12	要審査
D-06	013	-	定款及び諸規定集	生活協同組合水光社	1952	11	21	小冊子	A5／89P	原本	1		TO03	6	13	可
D-06	014	-	執務内規集	生活協同組合水光社	1953	1	1	小冊子	A5／18P	原本	1		TO03	6	14	可
D-06	015	-	組合同約集	合成化学産業労働組合連合 新日本窒素水俣工場労働組合	〔1959〕	-	-	小冊子	A5／68P	原本	1		TO03	6	15	可
D-06	016	-	諸規定集	生活協同組合水光社	1961	12	1	小冊子	A5／86P	原本	1		TO03	6	16	可
D-06	017	-	組合同約 規定集	合成化学産業労働組合連合 新日本窒素労働組合	1964	2	-	小冊子	A5	原本	1		TO03	6	17	可
D-06	018	-	就業規則	新日本窒素肥料株式会社水俣工場	1964	10	26	小冊子	A5／46P	原本	1		TO03	6	18	可
D-06	019	-	就業規則(昭和61年6月1日改正)	チッソ株式会社 東京・大阪事務所	1986	6	1	小冊子	A5／63P, B4／2枚	原本	1	「面談自己計画表(岡本達明)」2枚あり.	TO03	6	19	可
D-06	020	-	安全点検資料(第1部)	合化労連	1970	10	-	小冊子	A5／95P	原本	1		TO03	6	20	可
D-06	021	-	ガス化工場廃止に当たっての一運転工の手記 ガス課組長日誌 1971	ガス課, 合化新日窒労組	〔1958～ 1959〕	-	-	フラットファイル, ノート, 原稿用紙	B5	原本	1	内容: ガス課 作成『組長日誌』(1958.12.31～1959.1.21), 〔1974.4〕合化新日窒労組 作成「開発配転者年齢別人員表」, 〔作成, 年, 作成者名不明〕「市民の皆さん」. 3点.	TO03	6	21	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	022	-	水俣の「安定賃金」スト;『朝日ジャーナル 4 (39) (186)』pp10-17	朝日ジャーナル編集部 著, 朝日新聞社 発行	1962	9	-	書類	B4	コピー	1		TO03	6	22	可
D-06	023	-	安賃粉碎斗争費	合化労連	1962	-	-	小冊子, 書類	B4, B5	原本	1	内容:「新日窒安賃粉碎斗争費月別明細表」,「新日窒, 日水両組合の安賃粉碎斗争費臨時徴収について」, 1962.11.30 合成化学産業労働組合連合 作成「新日窒斗争費決算書」等.	TO03	6	23	可
D-06	024	-	安賃闘争会計資料	合化労連	1962～ 1963	-	-	小冊子, 書類	B4, B5	原本	1	内容:1962.10 合成化学産業労働組合連合 作成「新日本窒素水俣労働組合 安定賃金粉碎斗争支援カンパ オルグ資料」,「新日窒 (安賃斗争) 法廷斗争報告 (第28回定期大会経過報告追加 ―別冊―)」 (1963.7.15～18 於 高松市農協会館),「合化第37回中央委員会安定賃金粉碎斗争強化について (資料)」 (1962.10.5～6 於 大牟田労働会館), 1963.1.31「新日窒カンパ明細表」,「第39回中央委員会報告 新日窒労組安定賃金反対闘争決算報告書」 (1962.5～1963.1),「斗争費収支状況及予算 (案) 新日窒斗争安賃粉碎対策委員会資料」,「合化労連第28回定期大会案内」 (1963.7.15～18 於 高松市農協会館),「第29回臨時大会報告 1963年度第1.4半期 決算報告書」 (1963.6.1～1963.8.31),「会計決算報告書」 (1962.6.1～1963.5.31),「収支計算書」 (1962.5.1～1962.12.31), 1963.11.12「組合員の生活保障について」,「各単産オルグ動員数」 (1962,11,1～1962.11.30) 等.	TO03	6	24	可
D-06	025	-	組合決算書	合化労連新日窒労組	1963～ 1964	-	-	書類	B4, B5	原本	1	内容:1963.8「S38/8～S39.7 までの1ヶ月当り予算案」,「決算報告書 (含半期決算)」 (1964.7.1～7.31, 1964.6.1～6.30, 1964.5.1～5.31, 1964.4.1～4.30, 1964.3.1～3.31, 1964.2.1～2.29, 1964.1.1～1.31, 1963.12.1～12.31), 1963.8.31「財産目録」, 1963.10.31「貸借対照表」等.	TO03	6	25	可
D-06	026	-	重要 労働者は安賃闘争後なぜ水俣病と闘えなかったか 手記と討論会 1970	ロシナンテ社, 田上信義, 花田俊雄, 上野勝, 松崎次男 ほか	1970～ 1971	-	-	フラットファイル, 書類, 原稿 用紙	A4, B4, B5	原本・コピー	1	内容:「田上信義・花田俊雄・松崎次男・西田寛・上野勝・緒方 討論会 安賃斗争後なぜ闘えなかったか」,〔1970.6.30〕「レポート」 (筆者: 田上信義, 花田俊雄, 上野勝, 今村信義, 松崎次男 ほか), 合化労連 新日本窒素労働組合 著「チッソ水俣工場の労働者と水俣病 チッソ水俣労働者へのアンケート」; 1971.5.1 ロシナンテ社 発行『月刊 地域闘争 1971年5月号』pp26-31.	TO03	6	26	可
D-06	027	-	水俣 一般公害関係 長野	熊本県議会議長 沼田一, 熊本県知事 沢田一精 ほか	〔1971 ～ 1972〕	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容:1971.5.24〔作成者不明〕「工場周辺環境大気調査結果」, 1972.6.20 熊本県議会議長 沼田一, 熊本県知事 沢田一精「請願書 チッソ株式会社らの出す有毒ガス・粉塵・騒音などの郊外に関する件」, 水俣市地図,〔作成日, 作成者不明〕「水俣地域における公害の現況と対策」.	TO03	6	27	要審査
D-06	028	-	チッソの経営状況 1972.9 ●● 秘資料 丸山研究室	●●	1972	9	9	書類	B4／6枚	コピー	1		TO03	6	28	要審査
D-06	029	-	〔秘 水俣病補償完遂のための財政援助措置願い〕	チッソ株式会社代表取締役社長 野木貞雄	1977	11	-	書類	B5	コピー	1		TO03	6	29	要審査
D-06	030	-	週間随想	田上重時	1979	8	6～ 〔11〕	書類, 封筒	B5	原本・コピー	1	内容:〔新聞連載〕1979.8.6～1979.8.〔11〕 田上重時 著「週間随想」第1回～第6回;掲載誌不明, (封筒) 熊本県労働組合総評議会 → 岡本達明.	TO03	6	30	要審査
D-06	031	-	矢作正資料 ●●意見書 ―チッソ技術者によるチッソ批判 野口記念資料室 史料分類目録 重要	矢作正, ●●, 野口研究所	1979～ 1997	-	-	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容: (手紙) 1997.9.2 矢作正 → 岡本達明, 1973.5 ●●〔チッソ株式会社水俣工場〕作成「●●氏へ提出」, 1987.6「チッソ (株) に贈る最後の提言」, 1979.11.14「チッソ (株) の研究活動のあり方について ―過去に於ける誤謬とその精神構造― (今研究開発に求められること)」, 1997.8.25「●●氏インタビュー」, 1991.4 野口研究所 作成「野口記念史料室史料分類目録」.	TO03	6	31	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-06	032	-	(ビラ)	新日窒水俣工場新労働組合, 水俣に生きる会, 水俣を守る会	1962～1963	-	-	ビラ	B3／1枚, 57×26cm／23枚	原本	1	内容:ビラ 24点 (1962.9.23 新日窒水俣工場新労働組合 発行「しんろう 号外」, 1963.3.7 新日窒水俣工場新労働組合 作成「旧労の皆さん デタラメな旧労の借金請求」, 1962.12.23 水俣に生きる会 作成「スト対策より選挙工作か! 橋本市長の腹づもり」, 1963.3.7 水俣を守る会 作成「『さいれん』を読んで」ほか).	TO03	6	32	可
D-06	033	-	(扇興就業規則, メモ, 手紙 等)	扇興運輸株式会社水俣支店, 水俣地区一般合同労働組合, 新日本婦人の会熊本県本部・熊本支部 ほか	1961～1966	-	-	書類	B5	原本・コピー	1	内容:[作成日不明] 扇興運輸株式会社水俣支店 臨時従業員就業規則, 1961.8.1「意見書」水俣地区一般合同労働組合 → 扇興運輸株式会社水俣支店, (手紙) 1963.8.28 , 1963.8.23 水労書記長 作成「懲罰委員会告示」, (ビラ) 新日本婦人の会熊本県本部・熊本支部 作成〔年不明〕3.4「水俣病母と子支援バザー写真展」, (手紙)〔作成日不明〕, (メモ 作成日, 作成者不明), (電報) 1963.8.18〔差出人不明〕, 1966.5 扇興運輸株式会社水俣支店取締役支社長 田代辰弥, 扇興運輸水俣労働組合組合長 山上 作成「覚書」等.	TO03	6	33	要審査
D-07「第一組合闘争資料Ⅱ」																
D-07	001	-	(ビラ) 争議宣言	新日本窒素水俣工場労働組合闘争執行委員長 鬼塚義定 → 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 北山恒	1951	6	29	ビラ	B4／1枚	原本	1		TO03	7	1	可
D-07	002	-	(手紙, 覚書, 協定書)	山下善寛, 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 白石宗城, 水俣工場労働組合組合長 鬼塚義定, 横田重信	1953～2012	-	-	手紙, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容:(手紙) 2012.6.9 山下善寛 → 岡本達明 (「1953年 身分制撤廃闘争 無期限スト時保全運転による硫酸海面廃棄関係資料 民衆史第3巻 315～316P」との書き込みあり. 同封資料あり:(覚書) 1953.11.14 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 白石宗城 ⇄ 水俣工場労働組合組合長 鬼塚義定, (協定書) 1953.11.17 白石宗城 ⇄ 鬼塚義定, (協定書) 1954.3.13 白石宗城 ⇄ 鬼塚義定, [作成日, 作成者不明]「水俣工場チツソ労働組合の組合数 (新・旧) (チツソKK 有価証券報告書より)」), (手紙) 2012.6.29 横田 → 岡本達明.	TO03	7	2	要審査
D-07	003	-	合化労連 編 (西野六郎 監修) 斗争の手引き ―ストライキの組織と戦術― 1954 刊 社会主義協会	合成化学産業労働組合連合 編, 社会主義協会 発行	1954	4	-	フラットファイル, 書類	A4	コピー	1	内容:書籍『斗争の手引き ―ストライキの組織と戦術―』のコピー.	TO03	7	3	可
D-07	004	-	新日窒労組運動史 1955～60 長野春利	[長野春利]	[不明]	-	-	フラットファイル, 書類	B5	原本	1	内容:(メモ)「賃上げ」「一時金」等, (原稿)「会社の沿革」,「昭和30年から31年にかけて」,「昭和32年から33年にかけて」,「寮に働く労働者の組織化と雇用関係 (巧妙な合理化の例)」,「月給制並に賃上げ」等. [昭和34年当時, 日窒労組連合会中央執行委員長, 熊本県議会水俣病対策特別委員会副委員長 (熊日 1968.5.12 参考).]	TO03	7	4	可
D-07	005	-	1962年 春闘経過報告書 63.10 安賃闘争と反合理化の斗い―水俣闘争小史―	合化労連新日窒労組	1962～1963	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容:[作成日不明] 合化労連新日窒労組 作成「1962年 春斗経過報告書 (1)＝安定賃金粉碎の斗い＝(8月12日まで)」,「1962年 春斗経過報告書＝安定賃金粉碎の斗い＝(9月9日まで)」, 1962年 春斗経過報告書＝安定賃金粉碎の斗い＝(10月20日まで)」, 1963.10.25「安賃斗争と反合理化の斗い―水俣斗争小史―」. 4点.	TO03	7	5	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	006	-	(ビラ, 新聞)	合化労連新日室労組, 福岡県労働組合総評議会, 西日本新聞闘争共闘委員会, 日本新聞労働組合連合, 新日本室素水俣工場新労働組合, 護謨タイムス社	1962～1964	-	-	ビラ, 新聞, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1964.8.20 合化労連新日室労組 発行「さいれん 第1351号」, 1964.8.25「さいれん 第1353号」, (ビラ) 1964.8.21 福岡県労働組合総評議会, 西日本新聞闘争共闘委員会 作成「西日本新聞の不買運動にご協力ねがいます」, [作成日不明] 日本新聞労働組合連合 作成「西日本新聞社の計報ロックアウト 平和協定粉碎!」, 1964.8.31 新日本室素水俣工場新労働組合 作成「高利貸も顔負け! 水増しされた旧労貸付金!!」, (新聞記事コピー) 1962.9.17 護謨タイムス社 発行「護謨タイムス」.	TO03	7	6	要審査
D-07	007	-	組合の民主化を目指して やっぱり私たちは正しかった	新日本室素水俣工場新労働組合	1963	7	24	小冊子	B5	原本	1		TO03	7	7	可
D-07	008	-	水俣争議の概括	新日本室素肥料株式会社	1964	12	-	冊子	B5／622P	原本	1		TO03	7	8	可
D-07	009	-	労働事情の変遷 1965 チッソ人事部	人事部, 水俣工場庶務課	1961～1965	-	-	フラットファイル, 新聞, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1965.10.30 人事部 作成「労働事情の変遷」, 1961.5.20 新日本室素肥料株式会社 水俣工場庶務課 発行『水俣工場新聞 No.72』. 2点.	TO03	7	9	可
D-07	010	-	非公開 1969～1971 チッソ水俣撤退 闘争の組立て・経過・結末と総括	岡本達明, 松崎次夫	1971	7	-	フラットファイル, 原稿用紙	A4／141P	原本	1		TO03	7	10	可
D-07	011	-	闘争日誌 70.7～73.3	岡本達明	1970～1973	-	-	ノート	B4, B5	原本	1	別紙4枚あり.	TO03	7	11	可
D-07	012	-	ビラ合戦 '71	新認定水俣病患者, 日本共産党水俣市委員会, 水俣病市民会議, 署名運動に積極的に協力した市民有志一同, 水俣市民公害対策協議会, 福岡市民有志, 北九州市民有志, 水俣病を告発する会, 水俣を明るくする市民連絡協議会, チッソ正門前坐りこみ患者一同, 訴訟派患者一同, 川本輝夫, 渡辺栄蔵, チッソ水俣労働組合	1971	-	-	フラットファイル, ビラ	B4, B5	原本	1	内容: 1971.10.30「公開質問状(その2)」新認定水俣病患者 → 要望書発起人, 1971.11.3「おたずね(その1)」川本輝夫ほか → 水俣市民公害対策協議会, 1971.11.3 日本共産党水俣市委員会 作成「全市民のみなさんに訴えます」, 1971.11.5, 11.6, 11.7 水俣病市民会議 作成「水俣病 いったいぜんたいどうなっているの?(その1)」「水俣病 いったいぜんたいどうなっているの?(その2)」「水俣病 いったいぜんたいどうなっているの?(その3)」(2枚あり), [作成日不明] 署名運動に積極的に協力した市民有志一同 作成「患者さん 会社を粉砕して水俣に何が残ると言うのですか!」「新認定患者の皆さん 会社に誠意を求めるのも結構ですがその前に我々市民にも誠意を示して下さい」「署名(市民運動)に協力してどこが悪いと言うのか!」「三千万円要求の根拠を明確にして下さい」「組織も力もない私達市民の立場も考えてください」「署名した二万数千の市民は反体制運動や社会主義改革を夢見る者を理解することはできません」, 1971.11.7 水俣市民公害対策協議会 作成「[新認定]患者の皆さんに心からお答え申し上げます!」, 1971.11.8, 11.9 水俣病市民会議 作成「水俣病で夫と子供を失ったある家族の記録 昭和43年9月4日 朝日新聞より転載」「水俣病で夫と子供を失ったある家族の記録 ②」, [1971]11.10 福岡市民有志, 北九州市民有志 作成「情に厚い水俣市民の皆様 すわり込みの患者さんいじめをやめて下さい」, 1971.11.12 ある患者 作成「補償金を不足として立たれた人達よ」, 1971.11.12 水俣病市民会議 作成「問題の本質はどこにあるのか」, 1971.11.14 川本輝夫, 佐藤武春 ほか 作成「なんのために、私たちはチッソ正門前にすわりこんでいるのか」, 1971.11.12, 11.14 水俣を明るくする市民大会 作成「市民のみなさまへ 二万七千名の御署名有難うございました」「本日午後二時 全市民は市体育館に集まろう!」, 1971.11.15 水俣病を告発する会 作成「なぜわたしたちは、水俣市ですわり込み支援の行動をするのか」(異なる紙で2枚あり),	TO03	7	12	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
												1971.11.15 日本共産党水俣市委員会 作成「チッソは事故の主張を固執せず, 患者との自主交渉をただちに再開すべきです」, 1971.11.16 水俣病市民会議 作成「水俣病のあゆみ (資料その2・年表編), 1971.11.17 水俣を明るくする市民連絡協議会 作成「水俣を明るくする市民連絡協議会結成さる」, 1971.11.20 水俣病市民会議 作成「水俣病とはなにか (その1, 医学文献集1)」, 19871.11.23 日本共産党水俣市委員会 作成「水俣病問題についての公明党の談話について」「最近認定された患者への差別は誤りです」, 1971.11.23 チッソ正門前坐りこみ患者一同, 訴訟派患者一同, 水俣病市民会議 作成「陳情書」 (1971.11.12 川本輝夫, 渡辺栄蔵 → 熊本県知事 沢田一精, 熊本県議会議長 倉重末喜, 水俣市長 浮池正基, 水俣市議会議長 斉所一郎, 1971.11.24, 11.26 水俣病市民会議 作成「水俣病とはなにか (資料その1, 医学文献集 I -3)」 「水俣病のあゆみ (資料・その3 重要文書編1) 会社は被害民になにをしてきたか」, 1971.12.1 チッソ正門前坐りこみ患者一同 作成「私たちはなぜ中央公害審査委員会にまかせないのか」, 1971.12.2, 12.5 日本共産党水俣市委員会「有機水銀の影響をうけている 児童・生徒の健康管理を急ぎましょう」「水俣病は他人事ではない すべての市民に科学的な検診を」, 以下ピンク色の紙に挟まれている: チッソ水俣労働組合 発行「しんろう」 (1972.1.20 第446号, 1.27 第447号, 2.3 第448号, 2.10 第449号, 2.17 第450号, 2.24 第451号, 4.20 第459号), 1971.11.12, 11.14 水俣を明るくする市民大会 作成「市民のみなさまへ 二万七千名の御署名有難うございました」「本日午後二時 全市民は市体育館に集まろう!!」, 〔作成日不明〕署名運動に積極的に協力した市民有志一同 作成ビラ 5枚, 1971.11.7 水俣市民公害対策協議会 作成「〔新認定〕患者の皆さんに心からお答え申し上げます!」, 〔年不明〕 11.1 市民有志 作成「質問に答えて下さい」, 1971.10.21 〔発起人〕作成「要望書」.				可
D-07	013	-	(「さいれん」, メモ)	合化労連新日窒労組 ほか	[1971]	[3]	[23]	機関紙, 書類	A4, B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1971.3.23 合化労連新日窒労組 発行「さいれん 2240号」, (メモ) 〔作成日, 作成者不明〕「興銀の方針」「チッソ整理案」「製品売上原価率」等. 6点.	TO03	7	13	可
D-07	014	-	非公開 興銀によるチッソのスクラップ化とたたかうためのメモ 1972 初め	岡本達明	1972	-	-	フラットファイル, 原稿用紙	A4／33枚	原本	1	岡本達明によるメモ.	TO03	7	14	可
D-07	015	-	(ビラ, 陳情書, 要望書)	水俣農民会, 合化労連 新日窒労組	1973	4	-	ビラ, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: 1973.4「陳情書」水俣市農民会 → 環境庁長官, 通産大臣, 1973.4「要望書」水俣農民会 → 日本興業銀行頭取 正宗猪早夫, (ビラ) 1973.4 水俣農民会 作成「『興銀とチッソは水俣で罪を償い市民と農民を裏切るな』と訴えます」, 1973.4 合化労連新日窒労組 作成「“知らん顔”は許されない興銀 “水俣逃げ出し” は許されないチッソ」, 1973.4.24 合化新日窒労組 作成「農民会も上京―興銀その他へ働きかけ―」.	TO03	7	15	可
D-07	016	-	(テープ起こし) 職場地域 オルグ日誌	佐藤武春	[1970 年代後半]	-	-	書類	B5／47枚	原本	1	MD02-B02-060 に途中までコピーあり. テープ起こし. テープ無し.	TO03	7	16	要審査
D-07	017	-	安賃闘争 183日の闘い	全国化学新日本窒素労働組合	1993	5	15	書籍	A4／102P, B5	原本	1	全国化学労働組合協議会新日本窒素労働組合 作成「安賃闘争30周年記念大集会プログラム」(1993.5.15 於 水俣市体育館) 1部あり.	TO03	7	17	可
D-07	018	-	(元チッソ従業員) ●● 出月安賃闘争資料	●●	[2008]	[2]	[20]	手紙, 写真, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容: (手紙コピー) 〔2008.2.20〕 ●● (元チッソ従業員) → 岡本達明 (写真13枚同封), 名簿〔作成日, 作成者不明〕2枚.	TO03	7	18	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	019	-	五井中山栄資料	中山栄〔五扇会会長〕, チッソ五井労組五扇会, 五井工場労組, 合化労 連新日窒労組, CPC五 扇会世話人会, チッソ株 式会社総務部, 五井工 場総務課, 東京水俣病 を告発する会, 土本典 昭, 田鍋健 ほか	1969～ 2004	-	-	書類, 小冊子	A3, A4, B4, B5	原本・コ ピー	1	「入江 真実の記録」というタイトルで束ねられていた. 内容:〔作成日, 作成者不明〕「五井 転勤者住所」,「CPC五扇会々員名簿」,「野田転勤者住所」,「水友会会則 (案)」, 1995.12.30 中山栄 作成「弔辞」, 1969.7.13 全国公害対策連絡会議水俣集会 作成「決議 文 (案)」, (貨物送り状, 荷造明細書) 1969.12.16 チッソ → 中山栄, 〔作成日, 作成者不明〕 「五扇会とは」, 1989.12.20 中山栄 作成「㊦ 1990念への課題」, (赴任旅費 支払通知書) 〔年不明〕 1.19 管理課出納 → 電気課 中山栄, 1969.1.12 〔作成者不明〕「課員教育日程 表」, 1992.3 五扇会 作成「経過報告と臨時総会のご案内」,「チッソ五井工場組合員OBの 皆さんへ 第10回五扇会に奮って参加下さい」(日時:11.15 於 チッソ社員倶楽部ホール), 1993.11.15 チッソ五井労組五扇会 作成「交誼会連絡網」,「預金依頼書」,「非課税貯蓄申 告書」,「五井工場社宅貸与規準 (改訂)」,「社内預金管理規定」,「五井工場社宅管理規 定」, 勤労課 作成〔転勤関係連絡〕, 1982.3.31 電気課 中山栄 作成「定年退社式挨拶」, 1970.4.1 チッソ石油化学株式会社五井工場労働組合 作成「昭和45年度賃上げ要求 (案)」 「個別要求 (案)」, 1971.6.9 チッソ石油化学株式会社五井工場労組 発行「タワーサ イド」,「タワーサイド 号外」(1972.5.26, 5.29, 6.1, 6.5, 6.6), (ビラ) 1972.5.29 合化労連新日 窒労組 発行「『いわざる、みざる、きかざる』の奴れいになれ」, 〔作成日, 作成者不明〕 「討議資料」(同じものが2部あり), 〔社宅間取り図〕, 1975.10.16 組織対策部 作成「50, 第1 回研修会 (代議員) 開催について」「代議員各位」, 2004.1.9 CPC五扇会世話人会 発行 「五扇会だより 創刊号」,「CPC五扇会連絡系統図」,「CPC五扇会 会員名簿及び住所録」, 1970.1 チッソ株式会社総務部 発行「チッソ No.69」, 1970.1 チッソ石油化学株式会社五井 工場総務課 発行「チッソ五井ニュース NO.93」, 1970.2「チッソ五井ニュース NO.94」, 〔1977〕 東京水俣病を告発する会 主催, 反彈庄住民運動連絡センター 協賛「7.15 川本 裁判勝利! 最高裁は上告を棄却せよ! 大集会 資料集」, 1977.12.5 水俣病を告発する会 発 行「水俣 号外」,「1500人の肖像が訴える水俣の悲劇」;〔日付不明〕朝日新聞, (手紙) 1994.10.13 土本典昭 → 中山栄, (新聞連載) 田鍋健 著「私の履歴書」第6回～第8回, 第 10回～第22回, 第24回～第26回, 第28回～第30回 (完);〔日付不明〕日本経済新聞.	TO03	7	19	要審査
D-07	020	-	安賃闘争25周年記念集会資料	全国化学新日窒労組, 中山栄, 久木田義男, 化 学産業複数組合連絡会 議, 太田薫	1988	-	-	書類, 小冊子	B4, B5	原本・コ ピー	1	「入江 真実の記録」というタイトルで束ねられていた. 内容:1988.5.19 全国化学新日窒労 組 発行「さいれん 号外 NO.202」, 1988.5.22 中山栄 作成「安賃争議終結25周年記念集 会挨拶」(同じものが2部, バージョン違いが1部あり), 1988.10.20 久木田義男 発行「白浜 通信 第5号」(同じものが9部あり, (手紙)〔年不明〕 8.5 岡本達明 → 中山栄, 1988.7.15 化 学産業複数組合連絡会議 発行『ほんりゅう NO7』, 1988.5.22 太田薫 作成「安賃斗争二 十五周年集会に参加された組合員、家族、親交会そして支援各組合の皆さんへ!」, 1988.12 全国化学新日本窒素労働組合 発行『安賃闘争 二十五周年大集会記念集』, 1988.6.10 全国化学労働組合協議会 発行「全国化学 第6号」(同じものが2部あり), (新聞 記事コピー)「水俣の民衆史を記録しよう 古老300人からに聞き書き 本に」;〔発行日, 掲 載誌名不明〕, 〔組合員紹介〕;〔掲載元不明〕 p5, (ビラ) 1988.11.16 全国化学新日窒労組 発行「化学の情勢もよし チッソの利益も過去最高を更新する情況で大巾一時金を!」, 1988.11.18 全国化学新日窒労組 発行「さいれん 号外 NO.225」, 〔1988〕 5.22「安賃斗争 終結25周年記念大集会プログラム」.	TO03	7	20	要審査
D-07	021	-	化学工場労働者の健康調査報告	化学工場労働者の健康 調査に関する調査団, 原田正純, 宮北隆志, 全 国化学新 日本窒素労 働組合	1988	5	22	書類	B5／21P	コピー	1	「入江 真実の記録」というタイトルで束ねられていた. 新聞記事切抜 (1988.5.23「水俣病 現役・OB, 掘り起し」;〔新聞社不明〕) 1枚あり.	TO03	7	21	要審査
D-07	022	-	月刊合化 VOL.13 NO.5 1971	合成化学産業労働組合 連合	1971	4	12	書類	B5／41P	原本	1	「入江 真実の記録」というタイトルで束ねられていた.	TO03	7	22	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	023	-	月刊合化 VOL.4 NO.9 1962	合成化学産業労働組合 連合	1962	11	20	書類	B5／44P	原本	1	「入江 真実の記録」というタイトルで束ねられていた.	TO03	7	23	可
D-07	024	-	真実の記録	入江寛二	1991	12	-	書類	B4	コピー	1	「入江 真実の記録」というタイトルで束ねられていた. 入江寛二による私家版経営史「真実の記録」(B5判, 336P) のコピー.	TO03	7	24	可
D-07	025	-	〔守山工場争議（あっせん）〕	滋賀県地方労働委員会 事務局	〔1961 ～ 1968〕	-	-	書類, 小冊子	A4	コピー	1	内容:「昭和35年不第1号 日窒アセテート守山工場不当労働行為事件」;〔1961 滋賀県地方労働委員会事務局 発行『滋賀県地方労働委員会年報 昭和35年版』〕 pp179-185,「昭和35年不第1号 日窒アセテート守山工場不当労働行為事件」;〔1962 滋賀県地方労働委員会事務局 発行『滋賀県地方労働委員会年報 昭和36年版』〕 pp105-125,「昭和36年調第2号 日窒アセテート争議（あっ旋）」;〔1962『滋賀県地方労働委員会年報 昭和36年版』〕 pp158-167,「昭38不第4号 日窒アセテート守山工場不当労働行為事件」;1964『滋賀県地方労働委員会年報 昭和38年版』 pp152-159,「昭和38年調第13号 日窒アセテート守山工場争議（あっせん）」;1964『滋賀県地方労働委員会年報 昭和38年版』 pp228-237,「昭39年調第6号 チッソアセテート争議（あっせん）」;1965『滋賀県地方労働委員会年報 昭和39年版』 pp319-321,「昭和41年第20号 チッソ・アセテート争議」;〔1967『滋賀県地方労働委員会年報 昭和41年版』〕 pp321-322,「昭和42年不第1号 旭チッソアセテート不当労働行為事件」;〔1968『滋賀県地方労働委員会年報 昭和42年版』〕 pp145-148,「昭和42年調第3号 旭チッソアセテート争議」;〔1968『滋賀県地方労働委員会年報 昭和42年版』〕 pp189-192 (2点). 10点.	TO03	7	25	可
D-07	026	-	労働組合分裂10年史	合化労連日窒守山労組	1971	11	-	冊子	B4	原本	1	「守山第一組合 細谷」と書かれた封筒に入っていた. 冊子の表紙に「細谷卓爾 守山第一組合資料」とある. 〔関連情報:書籍『細谷卓爾の軌跡―水俣から琵琶湖へ―』(著:関根英爾、サンライズ出版)あり. 細谷氏は東京大学を卒業後、1960年にチッソに入社, 守山工場に赴任. 会社の労働条件の改善や生活改善, 環境汚染への警鐘と打開策を模索し, 公害病への追及、福祉の社会化などに尽力した.〕	TO03	7	26	可
D-07	027	-	守山分裂闘争資料	全国化学旭化成守山労働組合, 旭チッソアセテート株式会社, 旭化成, 日窒連合守山労組	〔1990 ～ 2007〕	-	-	小冊子, 書類	A4, B4, B5	原本・コピー	1	内容:1990.12.23 全国化学旭化成守山労働組合 発行『組合分裂30年の歩み たたかいの記録』,〔作成日不明〕旭チッソアセテート株式会社 作成「守山工場十年史」,〔作成日不明〕旭化成 作成「旭化成グループ 守山支社50年史 1957-2007」,(手紙)〔年不明〕6.21 武富寛幸 → 岡本達明, 1963.4.19～1963.4.30「日窒連合守山労組ニュース」No.94, No.97～100, No.103～110.	TO03	7	27	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	028	-	五井工場事件資料	反公害を闘う労働者共闘, チッソ石油化学株式会社五井工場労働組合, 全チッソ労働組合連絡協議会議長 夏目英夫, 市原市民公害を話す会, 市原・水俣病を告発する会・準備会 ほか	1971～1982	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	A4, B4, B5	原本・コピー	1	内容:1973.2.1 反公害を闘う労働者共闘 発行『反公害通信 創刊号 水俣病自主交渉闘争に向けて』, 1972.9 チッソ石油化学株式会社五井工場労働組合 作成「昭和47年度運動方針(案)」, 1972.1.13「抗議文」水俣出身者有志一同 → 夏目委員長, 1971.12.22 水俣出身者有志一同 → 執行委員長,代議員会議長, 1982.3.31 電気課 中山栄 作成「定年退社式挨拶」, 1972.2.10 全チッソ労働組合連絡協議会議長 夏目英夫 作成「地域社会のみなさんへ」,〔発行日不明〕チッソ石油化学株式会社五井工場労働組合 発行「たいわ」, 1972.8.1 全チッソ労働組合連絡協議会 発行「連協ニュース」, (ビラ)〔作成日不明〕市原市民公害を話す会 発行「水俣病の真の救済とは何か」「御用組合幹部を追及し, 真の解決を!」「チッソの労働者に」等,〔発行日不明〕市原市民公害を話す会 発行「月刊エントツ 12月号 NO.4」, 1973.1.10「月刊エントツ 1月号 NO.5」, 1972.2.10「月刊エントツ 2月号 NO.6」, 1973.3.10「月刊エントツ 3月号 NO.7」, 1973.4.10「月刊エントツ 4月号 NO.8」, (ビラ)〔作成日不明〕市原・水俣病を告発する会・準備会 作成「『水俣病』はまだ終わっていない!」「今行われている直接交渉の要求を受け入れる以外には……」「水俣病自主交渉貫徹の斗いに結集を!」等.	TO03	7	28	可
D-07	029	-	五井公害斗争資料	月曜評論社, 千葉日報社 ほか	1971～1987	-	-	新聞記事, 書類, 写真	A4, 新聞紙, 写真	原本・コピー	1	内容:(名簿) 1971.12「千葉県市原市辰巳地区」, 1972.1.31 月曜評論社 発行「月曜評論」, 1972.1.20「千葉日報 房総版」, (写真)「記念品は有難く(撮影日不明)」「再就職 赤坂地域センター勤務40年 定年を控えて(撮影日不明)」「ふるさとの自然, 心が和む(1987.4.30)」「還暦帰水 磨かれたテーブルが反射して(1987.4.29)」「退職挨拶, 五井工場と償いは忘れずに, と(撮影日不明)」「退職, 胸を張って記念撮影(1982.3.30) 等.	TO03	7	29	要審査
D-07	030	-	資料 五井事件 ―労働者の未来は患者の屍の上に築かれるのか?	東京 水俣病を告発する会	1972	2	19	小冊子	B5	原本	1		TO03	7	30	可
D-07	031	-	シリーズ 公害からいのちとくらしを守るために No.1.2.3 宮本憲一証人	公害を記録する会 編集, 公害訴訟を支持する会 発行	1969	6	1	小冊子	B5／97P	原本	1		TO03	7	31	可
D-07	032	-	公害に係る健康被害損害賠償保障制度について (答申)	中央公害対策審議会	1973	4	5	書類	B4	原本	1		TO03	7	32	可
D-07	033	-	公害に係る健康被害損害賠償保障制度について (附属資料)	中央公害対策審議会	1973	4	5	書類	B4	原本	1		TO03	7	33	可
D-07	034	-	公害に係る健康被害損害賠償保障制度について (付属資料別冊)	中央公害対策審議会	1973	4	5	書類	B4	原本	1	「付属」はママ.	TO03	7	34	可
D-07	035	-	74 チッソプラスチック 眼の症状等労災多発事件資料 第一組合 (久木田義男執委担当)	合化労連新日窒労組, 合化労連新日窒労組プラスチック組合員	1974	2～5	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容:1974.2 合化労連新日窒労組プラスチック組合員一同 作成「プラスチック 先はどげんなっとけ ガス・粉塵の中から」, 1974.5 合化労連新日窒労組 作成「プラスチック 健康診断と安全衛生」(2点).	TO03	7	35	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	036	-	水俣工場 塩ビ病労災申請資料 76 第一組合	合化労連新日窒労組	1976	2	10	フラットファイル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容:「チッソ水俣塩化ビニールモノマー及びポリマー製造工場における労働者の塩化ビニールモノマーガス曝露状況について」,「母集団及び解析について」,「職種及び勤務時間」,「死亡診断書」,「陳述書」,「診療録」等.	TO03	7	36	要審査
D-07	037	-	塩ビ病資料 久木田義男	稲垣孝雄, 増田義徳, 労働者労働基準局長, 福村亮, 田中豊穂, 吉村功, 久木田義男, 松島泰次郎	1976～1987	-	-	フラットファイル, 書類	B5	原本, コピー	1	内容:稲垣孝雄 著「塩化ビニールモノマーによる肝障害」;1977.3 南江堂 発行『内科 39(3)』pp430-437, 増田義徳 著「塩化ビニールの衛生問題について」;〔掲載誌不明〕pp30-38, 1976.7.29「塩化ビニルばく露作業従事労働者に生じた疾病の業務上外の認定について」;〔掲載誌不明〕pp210-213 労働者労働基準局長 → 都道府県労働基準局長, 〔作成日, 作成者不明〕「1981年までの肝血管肉腫症例（西側諸国）」「1975～1976年の肝血管肉腫症例（日本）」, 福村亮 著「トピック 塩ビモノマーと肝血管肉腫 ―われわれの事例から―」;1987.8 大原記念労働科学研究所 発行『労働の科学 42(8)』pp26-29, 田中豊穂, 吉村功 著「塩化ビニール製造作業者の死因と中毒の可能性についてⅠ チッソ労働者の事例検討」;1977.6 岩波書店 発行『科学 47(6)』pp342-350, 「塩化ビニール製造作業者の死因と中毒の可能性についてⅡ」;1977.7『科学 47(7)』pp413-421, 1985.3 久木田義男 著『塩ビ病10年 チッソ水俣・働く者の立場から』, 松島泰次郎 著「がんの原因としての化学物質」;1980.6 労働省労働基準局安全衛生部 監修 中央労働災害防止協会 発行『労働衛生 21(6)(243)』pp22-27 等. 10点.	TO03	7	37	可
D-07	038	-	チッソ水俣 塩ビ労働者（10年以上曝露）の健康調査について	熊本大学医学部学生会 地域医療研究会, 合化 労連新日窒労組	1979	3	31	書類	B4／3枚	コピー	1		TO03	7	38	要審査
D-07	039	-	「塩化ビニルモノマー ―その製法・毒性・対策―」;『公害と対策 Vol.15 No.9』pp1-31	滝澤行雄, 森谷賢 著, 公害対策技術同友会 発行	1979	9	15	書類	A4	コピー	1		TO03	7	39	可
D-07	040	-	塩ビ病10年 久木田義男	久木田義男	1985	2～3	-	書類, 小冊子	B4, B5	コピー	1	内容:1985.2「チッソ水俣 塩化ビニール労働者の職業病労災申請」, 1985「おれとおわびと」, (小冊子) 1985.3「塩ビ病10年 チッソ水俣・働く者の立場から」, (原稿) 1985.2「塩ビ病10年 働く者の立場から」.	TO03	7	40	要審査
D-07	041	-	化学工場労働者の健康調査報告	化学工場労働者の健康 調査に関する調査団, 原田正純, 宮北隆志, 全 国化学新 日本窒素労 働組合	1988	5	22	小冊子	A4／21P	原本	1		TO03	7	41	可
D-07	042	-	7. チッソ水俣工場労働者の健康調査 ―公害病と職業病の接点―;『働く人々の健康問題』pp197-218	高松誠, 原田正純, 宮北 隆志, 堀田宜之, 堺多嘉 子, 木村孝文, 山口秀樹 編集, 医療図書出版社 発行	1990	10	-	小冊子	A5	原本	1		TO03	7	42	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	043	-	チッソ有価証券報告書 69.3～71.9 73.3	大蔵省印刷局, 成田修身	1969～ 1973	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	B5	原本・コピー	1	内容:1969.7.10 大蔵省印刷局 発行『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '69 3』, 1970.1.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '69 9』, 1970.7.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '70 3』, 1971.1.11『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '70.9』, 1971.7.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '71 3』, 1972.1.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '71 9』, 1973.7.10『No.7-6 有価証券報告書総覧 チッソ株式会社 '73 3』, (コピー)「化学工業 チッソ株式会社」;〔掲載誌不明〕pp392-393 (2点), (抜刷) 成田修身 著「チッソ株式会社の実態分析」;〔掲載誌不明〕pp321-344 (2点).	TO03	7	43	可
D-07	044	-	チッソ有価証券報告書 06.3 09.3 05. 3 07.3 08.3 連結汜口表	日本証券協会, 金融庁	2004～ 2009	-	-	フラットファイル, 書類	A4	コピー	1	表紙表記一部判読不可. WEBページを印刷したもの. 内容:2009.8.20「チッソ株式会社」; 日本証券協会「Green Sheet」, 「チッソ株式会社 有価証券報告書」(2004.3, 2005.3, 2006.3, 2007.3, 2008.3); 金融庁「EDINET」, 2009.3「第85期 有価証券報告書」;〔運営元不明〕「見えるXBRL」.	TO03	7	44	可
D-07	045	-	「チッソ株式会社に対する金融支援措置」についての経緯 <参考資料編>	熊本県環境生活部環境政策課	2009	4	-	書類	A3	コピー	1		TO03	7	45	可
D-07	046	-	月刊合化 VOL.5 NO.1 1963	合成化学産業労働組合連合	1962	12	20	雑誌	B5／54P	原本	1		TO03	7	46	可
D-07	047	-	月刊合化 VOL.5 NO.3 1963	合成化学産業労働組合連合	1963	3	12	雑誌	B5／239P	原本	1		TO03	7	47	可
D-07	048	-	月刊合化 VOL.12 NO.9 1970	合成化学産業労働組合連合	1970	11	15	雑誌	B5／67P	原本	1		TO03	7	48	可
D-07	049	-	月刊合化 VOL.15 NO.8 1973	合成化学産業労働組合連合	1973	12	20	雑誌	B5／66P	原本	1		TO03	7	49	可
D-07	050	-	月刊合化 VOL.16 NO.3 1974	合成化学産業労働組合連合	1974	6	25	雑誌	B5／76P	原本	1		TO03	7	50	可
D-07	051	-	月刊合化 VOL.16 NO.8 1974	合成化学産業労働組合連合	1974	12	25	雑誌	B5／73P	原本	1		TO03	7	51	可
D-07	052	-	月刊合化 VOL.18 NO.4 1976	合成化学産業労働組合連合	1976	7	30	雑誌	B5／88P	原本	1		TO03	7	52	可
D-07	053	-	月刊合化 VOL.18 NO.8 1976	合成化学産業労働組合連合	1977	2	28	雑誌	B5／84P	原本	1		TO03	7	53	可
D-07	054	-	月刊合化 VOL.22 NO.4 1980	合成化学産業労働組合連合	1980	8	25	雑誌	B5／96P	原本	1		TO03	7	54	可
D-07	055	-	月刊 いのち vol.3.11 No.35 1969 9	日本労働者安全センター	1969	8	25	雑誌	B5／65P	原本	1		TO03	7	55	可
D-07	056	-	教育評論 256	日本教職員組合 編集, 労働旬報社 発行	1971	2	1	雑誌	B5／92P	原本	1		TO03	7	56	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-07	057	-	経済評論 4月号 第22巻 第4号	日本評論社	1973	4	1	雑誌	A5／244P	原本	1		TO03	7	57	可
D-07	058	-	科学 Vol.47 No.6 1977 6月号	岩波書店	1977	6	1	雑誌	B5／384P	原本	1		TO03	7	58	可
D-07	059	-	科学 Vol.47 No.7 1977 7月号	岩波書店	1977	7	1	雑誌	B5／448P	原本	1		TO03	7	59	可
D-07	060	-	アサヒグラフ 1970年8月7日号	朝日新聞社	1970	8	7	雑誌	B4	原本	1		TO03	7	60	可
D-08「第一組合闘争資料 Ⅲ」																
D-08	001	-	(口頭弁論証人調書, 速記録)	熊本地方裁判所	1972	4	13	書類	B4	コピー	1	内容: 第37回 口頭弁論証人調書, 速記録 (徳江毅).	TO03	8	1	要審査
D-08	002	-	(口頭弁論証人調書, 速記録)	熊本地方裁判所	1972	4	13～14	書類	B4	コピー	1	内容: 第37回・第38回 口頭弁論証人調書, 速記録 (市川正).	TO03	8	2	要審査
D-08	003	-	住民証言Ⅰ 魚介類・異変	熊本地方裁判所	1972	4	7～8	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容: 第35回・第36回 口頭弁論証人調書, 速記録 3点 (1972.4.8 ●●〔チッソ水俣工場〕, 1972.4.8 ●●, 1972.4.7 ●●〔患者家族〕).	TO03	8	3	要審査
D-08	004	-	住民証言Ⅱ 水俣漁協闘争	熊本地方裁判所	1972	4	7～8	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容: 第35回・第36回 口頭弁論証人調書, 速記録 2点 (1972.4.7 ●●〔水俣市漁協参事〕, 1972.4.8 佐藤武春).	TO03	8	4	要審査
D-08	005	-	住民証言Ⅲ 海岸汚染	熊本地方裁判所	1972	4	7～8	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容: 第35回・第36回 口頭弁論証人調書, 速記録 2点 (1972.4.7 江口和伸〔元チッソ〕, 1972.4.8 ●●〔患者〕).	TO03	8	5	要審査
D-08	006	-	住民証言Ⅳ ガス・粉塵公害	熊本地方裁判所	1972	4	7	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容: 第35回 口頭弁論証人調書, 速記録 5点 (住民5名●●〔石田博文ら 当時のチッソ現職作業員含む〕).	TO03	8	6	要審査
D-08	007	-	田上義春供述書 ●●供述書 松本勉宛 福満昭次手紙	馬奈木昭雄 ほか	1972	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容: 1972.7.16 馬奈木昭雄 作成 供述録取書 (原告: ●●〔患者家族〕, 田上義春), (手紙) 1972.1.21 福満昭次〔チッソ五井工場勤務, 田上義春の親友〕 → 松本勉 等.	TO03	8	7	要審査
D-08	008	-	(原稿) 水俣病裁判における住民の証言 第一部 道しるべ 第二部 漁協の苦斗 第三部 死んでいく海	合化労連新日窒労組, 水俣病市民会議	[不明]	-	-	フラットファイル, 書類	A4	原本	1	証言者: 佐藤武春 ほか7名.	TO03	8	8	要審査
D-08	009	-	細川一 裁判証言	有馬澄雄, 細川一, 水俣病訴訟弁護団, 坂東克彦, 熊本地方裁判所	1968～1987	-	-	フラットファイル, 書類, 小冊子	B4, B5	原本・コピー	1	内容: 有馬澄雄 著「細川一論ノート」; 1973.12 葦書房 発行『暗河 第2号』pp88-99, 「細川一論ノート (二) 猫四〇〇号実験」; 1974.9『暗河 第5号』pp122-135, 「細川一論ノート (三) 水俣病の発見」; 1975.10『暗河 第9号』pp46-61, 細川ノートコピー, 細川一 著「今だからいう水俣病の真実」; 1968.12 文芸春秋 発行『文芸春秋 46(13)』pp140-148, 1970.7.10 水俣病訴訟弁護団事務局 発行「水俣病訴訟弁護団ニュース 号外」, 坂東克彦 著「細川一先生の臨床尋問」; 1987.1.1 新潟県弁護士会 発行『新潟県弁護士会会誌 第10号 別冊』, 1970.7.4 熊本地方裁判所裁判所速記官 森山哲郎 作成「証拠調期日調書」「速記録」.	TO03	8	9	要審査
D-08	010	-	井出哲夫 サイクレーター証言	大阪地方裁判所	1985	7	26	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容: 第19回 口頭弁論証人調書, 速記録.	TO03	8	10	要審査
D-08	011	-	1963 南九配転 仮処分 熊本地裁決定	熊本地方裁判所民事第二部	1963	12	26	書類	B4, B5	コピー	1	判決文: 地位保全仮処分申請事件. 事件番号: 昭和38 (㊄) 171. 申請人: 合化労連新日窒労組組合員 (当事者目録に記載. 当事者目録なし), 申請人代理弁護士: 岸星一 ほか. 被申請人: 新日本窒素肥料株式会社 代表取締役 吉岡喜一.	TO03	8	11	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-08	012	-	1967 1,600円事件（不）申立書 熊本地労委和解勧告書	合化労連新日窒労組, 熊本地方労働委員会	1967～1968	-	-	フラットファイル, 書類	B5	コピー	1	内容:1967.8.10 合化労連新日本窒素労働組合執行委員長 横田重信 → 熊本地方労働委員会会長 佐藤均「不当労働行為申立書」(申立人:合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信, 被申立人:チッソ株式会社取締役社長 江頭豊), 1968.10.24 熊本地労委公益委員 荒木誠之, 日当明 → 合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信, チッソ株式会社取締役社長 江頭豊「和解勧告書」.	TO03	8	12	要審査
D-08	013	-	1969 家庭待機 熊本地裁判決	熊本地方裁判所八代支部	1970	11	13	フラットファイル, 書類	B4／62P	コピー	1	昭和44年（ヨ）第91号判決（債権者代理:岸星一 ほか, 債務者:チッソ株式会社）.	TO03	8	13	要審査
D-08	014	-	1970 一時金団交拒否事件 不当労働行為申立書	合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明, チッソ水俣支社勤労課, 横田重信, 江頭豊, 水俣をよくする会 ほか	1969～1971	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4, B5	コピー	1	内容:1971 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → 熊本地労委会長 青山友親「不当労働行為申立書」(申立人:合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明, 被申立人:チッソ株式会社取締役社長 江頭豊), チッソ水俣支社勤労課 発行「勤労速報」(1970.7.6, 7.7, 7.24, 10.19, 10.20, 10.21, 12.21), 1970.7.24 横田重信 発行「さいれん」, 岡本達明 発行「さいれん」(1970.9.4, 9.11, 9.22, 10.16, 10.27, 11.27, 12.1, 12.22), 1970.9.21 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → チッソ株式会社取締役社長 江頭豊「要求書」, 合化労連新日窒労組 発行「さいれん 号外」(1970.10.16, 11.9, 11.10), 1970.10.27 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → チッソ株式会社取締役社長 江頭豊「団体交渉申入れ並に回答要求書」, 1970.10.30 江頭豊 → 岡本達明〔回答書〕,〔作成日, 作成者不明〕「請願書」, (ビラ) 1970.11.7 水俣をよくする会 作成「ご協力ありがとうございました 19.084名の署名が集まりました」,〔作成日不明〕水俣をよくする会会長 田上憲雄「請願書」, 1970.11.24 チッソ水俣支社勤労課 作成「45年11月19日 労使懇談会会社説明要約」, 1970.12.4 合化労連新日窒労組副執行委員長 松田哲成 作成「口述書」, チッソ水俣労働組合 発行「しんろう」(1970.11.26, 11.28), 1970.12.1 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → チッソ株式会社取締役社長 江頭豊「申入れ書」, 1970.12.29 合化労連新日窒労組書記長 江口正安 作成「陳述書」, 1970.12.14 熊本地労委審査委員 清水一行 → 岡本達明, 江頭豊「和解勧告書」, 1970.12.16, 12.17 チッソ株式会社取締役社長 江頭豊 ⇄ 熊本地労委審査委員 清水一行「和解勧告書に関する件」, 1970.12.26 チッソ株式会社水俣支社常務取締役支社長 佐々木三郎「ごあいさつ」, 1969.9.19 水俣市助役 渡辺勝一, 水俣市議会議長 斉所市郎「要請書」, 1969.9.26, 11.18「勤労速報」, 1969.10.18「さいれん 2092号」, 1969.10.1「さいれん 号外」.	TO03	8	14	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-08	015	-	1970 公害スト 夏季一時金スト引 不当労働行為申立書	合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信, チッソ株式会社代表取締役社長 江頭豊, 合化労連新日窒労組, 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 吉岡喜一, 日窒労組連合会中央執行委員長 長野春利, 村上実 ほか	1961～ 1970	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容:1970.6.24 合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信 → 熊本県地方労働委員会 会長 青山友親「不当労働行為申立の取り下げの件」, 1970.6.23〔作成者不明〕「昭和45年上期賞与に関する議事確認書」, 1970.6.17 チッソ株式会社代表取締役社長 江頭豊 ほか → 熊本地方労働委員会「答弁書」(申立人:合化労連新日窒労組, 被申立人:チッソ株式会社), 1970.5.30 合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信 → 熊本地労委会長 青山友親「不当労働行為申立書」(申立人:合化労連新日窒労組, 被申立人:チッソ株式会社), 1970.4.3 日窒労組連合会中央執行委員長 横田重信 → チッソ株式会社取締役社長 江頭豊 ほか「要求書」, 1970.5.18 合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信 → チッソ株式会社取締役社長 江頭豊 ほか「争議行為通告」, 1970.5.29 横田重信 作成「口述書」, 1969.10.6 合化労連新日窒労組 発行「さいれん 号外」, 横田重信 発行「さいれん」(1970.4.7, 4.10), 1970.5.27 横田重信 → 江頭豊「争議行為の通告」, 1961.8.30, 11.27 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 吉岡喜一, 日窒労組連合会中央執行委員長 長野春利 ほか「協定書」, 1963.3.10 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 吉岡喜一, 日窒労組連合会中央執行委員長 長野春利「協定書」,〔作成日, 作成者不明〕「疎明資料説明(其の二)」, 1970.5.29「勤労速報」, 1970.5.30 横田重信 → 江頭豊「一時金会社回答に関する件」, 1970.5.28 江頭豊 → 横田重信「昭和45年度上期賞与に関する回答の件」, 1963.8.20, 12.27, 1964.8.13 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 吉岡喜一, 日窒労組連合会中央執行委員長 村上実「協定書」, 1964.12.8, 1965.7.14 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 江頭豊, 日窒労組連合会中央執行委員長 村上実「協定書」, 1965.12.9, 1966.7.13, 12.8, 1967.7.8, 12.9, 1968.7.9, 12.9, 1969.6.2, 12.9 チッソ株式会社取締役社長 江頭豊, 日窒労組連合会中央執行委員長 横田重信「協定書」, 1969.12.2 チッソ株式会社取締役社長 江頭豊 → 日窒労組連合会中央執行委員長 横田重信「昭和45年下期賞与に関する回答の件」, 1969.12.8 横田重信 → 江頭豊「一時金の件」, 1970.6.15 合化労連新日窒労組書記長 江口正安, 中央執行委員長 横田重信「口述書」,〔作成日, 作成者不明〕「六月十一日 団交報告」, 1969.12.9 横田重信 発行「さいれん 2113号」等.	TO03	8	15	要審査
D-08	016	-	1971 団交拒否事件	合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明, 横田重信, チッソ水俣支社勤労課, チッソ株式会社取締役社長 江頭豊, 水俣をよくする会, 熊本県知事 寺本広作, チッソ水俣労働組合 ほか	1969～ 1971	-	-	書類	A4, B4, B5	コピー	1	内容:1971 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → 熊本地労委会長 青山友親「不当労働行為申立書」(申立人:合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明, 被申立人:チッソ株式会社 取締役社長 江頭豊),〔作成日, 作成者不明〕「疎明資料説明(其の一)」, チッソ水俣支社勤労課 発行「勤労速報」(1970.7.6, 7.7, 7.24, 10.19, 10.10, 10.21, 12.21, 1969.9.26, 11.8), 合化労連新日窒労組 横田重信, 岡本達明 発行「さいれん」(1970.7.24 2174号, 9.4 2185号, 9.11 2187号, 9.22 2190号, 10.16 2197号・号外, 10.27 2200号, 11.9 号外, 11.10 号外, 11.24 2208号, 11.27 2209号, 12.1 2210号, 12.21 2216号, 1969.10.1 号外, 10.18 2092号), 1970.9.21 岡本達明 → 江頭豊「要求書」「団体交渉申入れの件」, 1970.10.27 岡本達明 → 江頭豊「団体交渉申入れ並に回答要求書」, (回答書) 1970.10.30 江頭豊 → 岡本達明,〔作成日, 作成者不明〕「請願書」, (ビラ 書名協力のお礼) 1970.11.7 水俣をよくする会, 1970.11.7 熊本県知事 寺本広作 → 江頭豊「記者水俣工場の振興について(要望)」, 1970.11.7 寺本広作 → 通産省化学工業局長「チッソ株式会社水俣工場の振興について(要望)」, 1970.11.24 チッソ水俣支社勤労課 作成「45年11月19日労使懇談会会社説明要約」, 1970.12.4 合化労連新日窒労組副執行委員長 松田哲成 作成「口述書」, 1970.11.26 チッソ水俣労働組合 発行「しんろう 第388号」pp2-3, 1970.11.28「しんろう 号外」, 1970.12.1「申入れ書」岡本達明 → 江頭豊, 1970.12.29 合化労連新日窒労組書記長 江口正安 作成「陳述書」, 1970.12.14「和解勧告書」熊本地労委審査委員 清水一行 → 岡本達明, 江頭豊, 1970.12.16「和解勧告書に関する件」江頭豊 → 清水一行,〔作成日不明〕「回答書」江頭豊 → 岡本達明, 1970.12 チッソ株式会社水俣支社常務取締役支社長 佐々木三郎 作成「ごあいさつ」, 1970.12.9 江頭豊 作成「水俣工場再建計画に関し御報告の件」, 1969.9.19 水俣市長職務代行者水俣市助役 渡辺勝一, 水俣市議会議長 斉所市郎 作成「要請書」等.	TO03	8	16	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-08	017	-	1972 14項目 賃金・一時金不払 仮処分申請書 熊本地裁決定 上申書	弁護士 岸星一, 弁護士和智龍一, 熊本地方裁判所八代支部, チッソ株式会社 島田賢一 ほか	1972	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4, B5	コピー	1	内容:1972.7.12 債権者代理人弁護士 岸星一 ほか → 熊本地方裁判所八代支部「仮処分命令申請」(債権者:チッソ株式会社水俣支社従業員, 債務者:チッソ株式会社 代表取締役 江頭豊),〔作成日, 作成者不明〕「債権者目録」, 1972.8.31 被申請人訴訟代理人弁護士 和智龍一 ほか → 熊本地方裁判所八代支部「証拠説明書」, 1972.9.27 熊本地方裁判所八代支部 作成「昭和47年(ヨ)第28号 仮処分命令申請事件 決定」(「72 14項目 賃金不払事件判決判決文 仮処分命令申請書」との書き込みあり), 1972.6.9 チッソ株式会社 島田賢一 → 岡本達明「貴組合所属従業員の47年度賃上げならびに47年上期賞与の取扱いについて」, 1972.8.7 チッソ株式会社取締役人事部長 河島康也 作成「陳述書」, 1972.8.18 岸星一 ほか → 熊本地方裁判所八代支部「上申書」, 1972.8.7 和智龍一 ほか → 熊本地方裁判所八代支部「上申書(被申請人)」等.	TO03	8	17	要審査
D-08	018	-	1972 14項目 不当労働行為申立書 陳述書 熊本地労委命令	合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明, 熊本地方労働委員会会長 東敏雄	1972～ 1973	-	-	フラットファイル, 書類	B4, B5	コピー	1	内容:1972.8.11 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → 熊本地労委会長 東敏雄「不当労働行為救済申立書」(申立人:合化労連新日窒労組 代表者 岡本達明, 被申立人:チッソ株式会社 代表取締役 江頭豊), 1973.1.8 岡本達明 → 東敏雄「最終陳述書(申立人提出)」, 1972.12.9 岡本達明 → 熊本地労委会長「証拠申請書」, 1972.8.12 岡本達明 → 東敏雄「不当労働行為救済申立書」, 1972.11.20 岡本達明 → 東敏雄「準備書面」, 1972.10.31, 11.13 岡本達明 → 熊本地労委会長「証拠申請書」, 1972.10.28 岡本達明 → 東敏雄「準備書面(申立人第一面)」, 1972.10.2 岡本達明 → 東敏雄「申立人提出の書証認否について」, 1972.7.11, 7.12 岡本達明 作成「陳述書」,〔作成日不明〕合化労連新日窒労組書記長 江口正安 作成「陳述書」, 1972.7.11 江口正安 作成「陳述書」, 1973.1.31 和智龍一 ほか → 東敏雄「第5陳述書」, 1972.8.31 チッソ株式会社代表取締役人事部長 河島康也 作成「陳述書」, 1973.5.10 東敏雄 → 岡本達明「命令交付書」, 1973.5.10 東敏雄 → 申立人 岡本達明, 被申立人 江頭豊「命令書」等.	TO03	8	18	要審査
D-08	019	-	1973 第一組合差別是正 不当労働行為救済申立事件 申立書	合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明, 横田重信, 熊本県地労委会長 東敏雄, チッソ株式会社労務部長 河島康也, チッソ株式会社代表取締役 島田賢一, 江頭豊 ほか	1967～ 1974	-	-	書類	B4, B5	コピー	1	内容:〔作成日, 作成者不明〕「証拠説明書」,「答弁書に対する反駁(骨子)」,「答弁書 第2項」, 1973.10.20 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明 → 熊本県地労委会長 東敏雄「不当労働行為救済申立書」(申立人:合化労連新日窒労組, 被申立人:チッソ株式会社 ほか), 1974.4.26 岡本達明 → 東敏雄「審問延期について」, 1974.4.16 東敏雄 → 岡本達明「審問通知書」, 1974.1.8 東敏雄 → チッソ株式会社代表取締役 島田賢一 外9社代表者「申立書について」, 1974.1.8 東敏雄 → 岡本達明「答弁書について」, 1974.4.27 岡本達明 → 東敏雄「準備書面」, 1971.2.16 チッソ株式会社労務部長 河島康也, 合化労連新日窒労組執行委員長 岡本達明「会社回答(昭和46年2月12日付トエミ第79号) 及び組合申入れ(昭和46年2月15日付ゴンロ154号) についての団交議事録確認書」, 1971.2.25 河島康也 → 岡本達明「回答書」, 1971.2.25 岡本達明 → 河島康也「質問書」, 1972.9.20 島田賢一, 岡本達明「覚書」, 1971.3.3 江頭豊, 岡本達明「覚書」, 1971.2.25, 8.13 江頭豊, 岡本達明「協定書」, 1969.11.25 江頭豊, 横田重信, チッソ興産株式会社取締役社長 北川勤哉「協定書」, 1967.12.16 江頭豊, 横田重信, チッソプラスチック株式会社取締役社長 徳江毅「協定書」, 1968.5.30 チッソ株式会社取締役社長 江頭豊, チッソエンジニアリング株式会社取締役社長 江頭豊, 合化労連新日窒労組執行委員長 横田重信「協定書」, 1974.5.14, 6.20 東敏雄 → 岡本達明「審問通知書」, 1974.6.28 岡本達明 → 熊本地労委「証拠申請書」等.	TO03	8	19	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-08	020	-	安賃闘争刑事事件 八幡事件・曾木事件 判決文	松田哲成[合化労連新日窒労組副執行委員長], 最高裁判所第二小法廷	[1967]	-	-	手紙, 書類	B4, B5	原本・コピー	1	内容:(手紙)[作成年不明]2.22 松田哲成 → 岡本達明,[作成日, 作成者不明]「刑事事件 八幡事件 判決(地裁高裁) 決定(最高裁)」,(判決文:公務執行妨害, 傷害被告事件 事件番号:昭和41(あ)2842) 1967.6.21 最高裁判所第二小法廷,(判決文:公務執行妨害, 傷害被告事件 事件番号:昭和41(あ)642) 1967.6.21 最高裁第二小法廷,[作成日, 作成者不明]「昭和39年(う)第65号 曾木事件判決」(途中で切れている). 5点.	TO03	8	20	要審査
D-08	021	-	安賃闘争10周年記念 水俣病裁判における水俣工場第一組合労働者の証言	合化労連新日本窒素労働組合	[1972]	-	-	小冊子	B5／101P	原本	2		TO03	8	21	可
D-08	022	-	水俣病訴訟の問題点 水俣病裁判資料	富樫貞夫 ほか	1970～1971	-	-	フラットファイル, 小冊子, 書類	A5, B5	原本・コピー	1	内容:富樫貞夫 著「水俣病裁判資料 1」; 1970.11 熊本大学 発行『熊本法学 (16)』pp135-206, 「水俣病裁判資料 2」; 1971.7 『熊本法学 (17)』pp119-176, 「水俣病裁判資料 3」; 1971.12 『熊本法学 (18)』pp148-178, (ハガキコピー)[作成日不明] 全チツソ製品不買組合 → 久我総務, 佐々木支社長, 富樫貞夫 著「水俣病訴訟の問題点 その一 訴訟の提起・因果関係論」; 1970.10 日本評論社 発行『法学セミナー (176)』pp2-6, 「水俣病訴訟の問題点 その二 水俣病における企業の過失 1」; 1970.11 『法学セミナー (177)』pp36-40, 「水俣病訴訟の問題点 その二 水俣病における企業の過失 2」; 1970.12 『法学セミナー (178)』pp48-52, 「水俣病訴訟の問題点 その二 水俣病における企業の過失 3」; 1971.1 『法学セミナー (179)』pp26-30, 「水俣病訴訟の問題点 その三 水俣病と見舞金契約 1」; 1971.3 『法学セミナー (182)』pp18-22, 「水俣病訴訟の問題点 その三 水俣病と見舞金契約 2」; 1971.4 『法学セミナー (183)』pp20-24, 「水俣病訴訟の問題点 その四 水俣病と時効」; 1971.7 『法学セミナー (186)』pp96-100, 「水俣病訴訟の問題点 その五 慰謝料請求について」; 1971.8 『法学セミナー (187)』pp92-96, 「水俣病訴訟の問題点 その五 慰謝料請求について 2」; 1971.9 『法学セミナー (188)』pp75-79, 「水俣病訴訟の問題点 最終回 未認定患者の訴訟提起」; 1971.10 『法学セミナー (189)』pp72-76. 14点.	TO03	8	22	可
D-08	023	-	水俣病第一次訴訟判決	馬奈木昭雄, 日本共産党中央委員会 ほか	1972	-	-	フラットファイル, 書類	B4	コピー	1	内容:馬奈木昭雄 著「熊本水俣病訴訟の法的問題点」; 1972.4 日本共産党中央委員会 発行『前衛 (337)』pp134-143, [1972.10.14 熊本地方裁判所民事第三部 編] 昭和44年(ワ)第522号・同45年(ワ)第814号・同46年(ワ)第322号・同年(ワ)第419号・同年(ワ)第548号・同47年(ワ)第427号各損害賠償請求併合事件「判決」.	TO03	8	23	要審査
D-08	024	-	(新聞記事)	水俣市水俣港湾等公害防止事業対策班, 西日本新聞, 朝日新聞, 毎日新聞, 熊本日日新聞, 読売新聞	1975～1979	-	-	新聞記事, 書類	A2, B3	原本・コピー	1	内容:1979.3.23 西日本新聞, 1979.3.23 朝日新聞, 1979.3.23 毎日新聞, 1979.5.31 毎日新聞, 1979.5.31 西日本新聞, 1979.6.6 熊日新聞, 1979.6.7 熊日新聞, 1979.6.7 朝日新聞, 1979.6.7 読売新聞, 1979.6.7 毎日新聞, 1979.6.8 毎日新聞, 1979.6.9 毎日新聞, 1979.6.9 熊日新聞, 1979.6.11 西日本新聞(裏にメモあり), 1979.6.12 西日本新聞, 1979.6.15 熊日新聞, 1979.6.15 朝日新聞, 1979.6.16 西日本新聞, [1979.6.16] 毎日新聞, 1975.7.10 水俣市水俣港湾等公害防止事業対策班 発行「水俣港湾, 丸島漁港, 丸島百閒水路堆積汚泥処理計画案」.	TO03	8	24	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-08	025	-	-	-	1970～ 1998	-	-	フラットファイ ル, 書類	A3, B4	コピー	1	-	TO03	8	25	非公開
D-09「第一組合闘争資料Ⅳ」																
D-09	001	-	(ノート) 備忘録	●●	1945	6	25	ノート	A5	原本	1	スト中賃金, 税金関係の調査, 記録.	TO03	9	1	要審査
D-09	002	-	●●(社員) 資料	チッソ株式会社水俣工場, 生活協同組合水光社, 橋本彦七, 新日本窒素肥料株式会社, 熊本県芦北郡水俣尋常高等小学校, 熊本県芦北郡私立日窒水俣青年学校, 認可水俣高等計理学校	1933～ 1968	-	-	書類, 小冊子	A4, B5	原本	1	内容: 1965 チッソ株式会社水俣工場 給料袋, [作成日, 作成者不明]「被申請人名簿」, 1964.4.25 生活協同組合水光社理事長 → ●●「臨時総代会開催の件」「就業規則並びに賃金規則改訂の要点」「昭和38年度下期特別分配金分配案」, (辞令) 1942～1968 7枚, (給料支給証) 1942～1946 8枚, (出資証券) 1942～1954 4枚, 1952.7.5「昭和27年度市民税特別徴収税額の納税義務者への通知書」水俣市長 橋本彦七 → ●●, (褒状 5年皆勤賞) 1951.5.20, (健康賞状) 1954.4.20, 1961.10.1～1962.3.31 新日本窒素肥料株式会社第25期営業報告書, [作成日不明] 日本窒素肥料株式会社水俣工場各三松寮住所, (通知票) 1933～1940 熊本県芦北郡水俣尋常高等小学校 8枚, (卒業証書) 1941.3.30 熊本県芦北郡水俣尋常高等小学校, 1946.3.30 熊本県芦北郡私立日窒水俣青年学校, 1954.3.15 認可水俣高等計理学校, (賞状, 褒状, 修了証) 1934～1944 皆勤賞, 精勤賞, 図画, 書方 等 19枚.	TO03	9	2	要審査
D-09	003	-	(ノート) あしあと	[●● 新日本窒素肥料株式会社社員]	[1950]	-	-	ノート	B5	原本	1		TO03	9	3	要審査
D-09	004	-	(ノート) ●●	[●● 新日本窒素肥料株式会社社員]	[1951]	-	-	ノート	B5	原本	1		TO03	9	4	要審査
D-09	005	-	(ノート) 日記帳	[●● 新日本窒素肥料株式会社社員]	1954	2	1	ノート	B5	原本	1		TO03	9	5	要審査
D-09	006	-	保安課 ●● 資料	●●[新日本窒素肥料株式会社社員, 希望退職者]	1962～ 1964	-	-	ノート, 手帳, 写真	A6	原本	1	内容: (ノート) 1962「極秘 S37 南地区窒素KK 従業員名簿 坂口, 月浦, 出月, 南袋, 北袋, 茂道, 神川, 湯堂」, (ノート) 1962.7.29「要保存 組合関係其他 (37.7.29 至用口) 37.7.29 希望退職問題 其他記事」, [1963] 手帳, 証明写真.	TO03	9	6	要審査
D-09	007	-	「水銀の取扱い方」;『真空 第1巻 第2号』pp29-31	J.G.S.Biram 著, 真空協会 発行	[1958]	-	-	書類	B4／2枚	コピー	1		TO03	9	7	可
D-09	008	-	「現代日本の化学技術 その発生と展開 塩化ビニル樹脂」;『化学経済 12(1)』pp100-115	化学技術史研究会 著, 化学工業日報社 発行	1965	1	-	小冊子	B5	原本	1	抜刷.	TO03	9	8	可
D-09	009	-	「労働者 ―その原型―」;『月刊合化』pp257-278	[不明]	[1972]	-	-	小冊子	B5	原本	1	抜刷. 新日窒労組の機関紙『さいれん』(1970～1972) より抜粋した労働者の聞き書きが掲載されている.	TO03	9	9	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否	
D-09	010	-	山下善寛『みなまた』藪佐公害調査 佐藤武春聞書 日本の縮図 みなまた 1～4号	山下善寛	1972	-	-	フラットファイル, ノート, 書類	B5	原本・コピー	1	内容:(ノート)〔作成日不明〕「藪佐の公害実態調査 竹畑喜一郎 75歳」「藪佐の公害実態調査 No.2 ●●さん」, 1972.1.15 山下善寛 発行「日本の縮図 みなまた 発刊1」, 1972.2.2「日本の縮図 みなまた No.2」, 1972.3.30「日本の縮図『水俣』第3号 剖心」, 1972.4.29「日本の縮図『水俣』第4号 水俣の歴史(一)」.	TO03	9	10	要審査	
D-09	011	-	柴田健三 佐藤時彦 聞書	矢作正, 経営史学会, 東京大学出版会	1981～2001	-	-	書類, 小冊子	A4, A5, B4, B5	原本・コピー	1	内容:(手紙) 1992.4.3 矢作正 → 岡本達明 (1992.3.23 柴田健三 聞書 同封), 矢作正 著「新日本窒素の石油化学転換と水俣病 ―清水洋論文への反論―」; 2001 経営史学会 編集 東京大学出版会 発行『経営史学 36(3)』pp1-24, (メモ)「漁協との契約書」, 1981.12.23 佐藤時彦〔cf.『聞書水俣民衆史 五』pp. 38-48/ 土佐電気から朝鮮水電へ, 赴戦江〕聞書.	TO03	9	11	要審査	
D-09	012	-	「わが国のアセチレン法アセトアルデヒド製造技術の発展」;『化学史研究 17(2)』pp61-79,『化学史研究 17(3)』pp114-125,『化学史研究 17(4)』pp151-172	飯島孝 著, 化学史学会 発行	1990	7	～ 12	-	小冊子	B5	原本	1	抜刷.	TO03	9	12	可
D-09	013	-	「日本窒素肥料(株)に関する研究」;『浦和論叢 第10号』pp55-96	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1993	3	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	13	可	
D-09	014	-	「戦後チッソ史 1945-55」;『浦和論叢 第14号』pp145-179	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1995	6	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	14	可	
D-09	015	-	「チッソ史 1955-60 新立地」;『浦和論叢 第15号』pp163-200	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1995	12	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	15	可	
D-09	016	-	「チッソ史 1955-60 水俣工場」;『浦和論叢 第16号』pp127-165	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1996	6	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	16	可	
D-09	017	-	「チッソ史 1955-60 水俣病」;『浦和論叢 第17号』pp23-46	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1997	1	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	17	可	
D-09	018	-	「チッソ史 1960-65 五井工場建設」;『浦和論叢 第20号』pp21-60	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1998	6	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	18	可	
D-09	019	-	「チッソ史 1960-65 安賃争議(1)」;『浦和論叢 第21号』pp29-61	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1998	12	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	19	可	
D-09	020	-	「チッソ史 1960-65 安賃争議(2)」;『浦和論叢 第22号』pp31-60	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1999	6	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	20	可	
D-09	021	-	「チッソ史 1960-65 水俣工場」;『浦和論叢 第23号』pp27-63	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	1999	12	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	21	可	

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-09	022	-	「チツソ史 1945-65 研究開発」;『浦和論叢 第24号』pp27-59	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	2000	6	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	22	可
D-09	023	-	「チツソ史 1965-70 I」;『浦和論叢 第28号』pp25-57	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	2002	6	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	23	可
D-09	024	-	「チツソ史 1965-70 II」;『浦和論叢 第29号』pp25-62	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	2002	12	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	24	可
D-09	025	-	「チツソ史 1970-75 I」;『浦和論叢 第33号』pp43-80	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	2004	12	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	25	可
D-09	026	-	「チツソ史 1970-75 II」;『浦和論叢 第35号』pp1-36	矢作正 著, 浦和短期大学 発行	2005	12	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷.	TO03	9	26	可
D-09	027	-	水銀 第一集	松本勉 編著, 草風館 発行	2002	7	1	書籍	B6／109P	原本	1	非売品.(新聞記事切抜)「アルベール・カミュ」;〔発行日, 誌名不明〕1枚あり.	TO03	9	27	可
D-09	028	-	水銀 第二集	松本勉 編著, 碧楽出版 発行	2003	7	7	書籍	B6／133P	原本	1		TO03	9	28	可
D-09	029	-	水銀 第三集	松本勉 編著, 碧楽出版 発行	2004	12	29	書籍	B6／156P	原本	1		TO03	9	29	可
D-09	030	-	水銀 第四集	松本勉 編著, 碧楽出版 発行	2006	9	20	書籍	B6／70P	原本	1		TO03	9	30	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-09	031	-	特措法関係	東京・水俣病を告発する会, 溝口棄却取消訴訟弁護団東京事務局, 水俣病センター相思社, 富樫貞夫, 不知火海沿岸住民健康調査実行委員会, チッソ株式会社総務部, 後藤舜吉, 岡本達明, 久保田好生	2009～2010	-	-	書類, 小冊子	A4, B5	コピー	1	内容: 2009.1.25 東京・水俣病を告発する会 発行「水俣支援 東京ニュース No.48」(同封: 2008.12.4 溝口棄却取消訴訟弁護団東京事務局 発行「チエの話 その23」), 2009.4.25 「水俣支援 東京ニュース No.49」(同封: 5.2 川本輝夫さん逝去10年の集いチラシ, 2009.3.29 「チエの話 その24」, 2009.8.20 「要請書」栗原彬 細谷孝, アイリーン・美緒子・スミス → 環境大臣 斉藤鉄夫, 環境省事務次官 小林光, 2009.8.21 久保田好生 作成「『環境省原環境保健部長解任要請書』提出報告」等. 同じ封筒内に(手紙) 2009.9.2 久保田好生 → 岡本達明, (新聞記事コピー) 「水俣病特措法と政策の『ゆがみ』」: 2009.6.26, 6.27 熊日新聞 あり), 2009.7.25 「水俣支援 東京ニュース No.50」(同封: 1972.1.12 東京・水俣病を告発する会 発行「日刊 恥ッ素 創刊号」, 1972.10.6 「日刊 恥ッ素 No.269」, 2009.7.25 「環境省環境保健部長の度し難い『ニセ患者発言』炸裂! 患者角は, 原部長の水俣への謝罪訪問を要求中」, 2009.6.26 「チエの話 その25」), 2009.10.10 「水俣支援 東京ニュース No.51」(1同封: 0.17 「関西訴訟最高裁判決5周年シンポジウム チッソと国の水俣病責任を問う」チラシ), 2010.1.25 「水俣支援 東京ニュース No.52」, 2009.5.25 水俣病センター相思社 発行「ごんずい 111」, 2009.9.25 「ごんずい 113」, 2010.3.25 「ごんずい 116」(同封: 「チッソと国の水俣病責任を問うシンポジウム (第2回) ご案内」), (資料) 「作成日, 作成者不明」 「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の最終解決に関する特別措置法案」, 2009.8.20 富樫貞夫 作成「チッソの倒産処理と補償責任のゆくえ」(2009.10.25 発行『環境と公害 39巻2号』原稿), 2009.12.10 不知火海沿岸住民健康調査実行委員会 (委員長: 原田正純) 発行『'09 水俣病大検診報告集』, 2010.1.1 チッソ株式会社総務部 発行『チッソ株式会社社内報 ALL CHISSO No.56』, 後藤舜吉 著「年頭に」: 『チッソ株式会社社内報 ALL CHISSO No.56』pp2-3 (2部あり), 2010.2.14 「水俣病特措法小研究会」, (FAX, メール) 2009.8.2 岡本達明 → 荒木正博, 2009.7.23～7.24 富樫貞夫 → 岡本達明, 2009.8.9～2010.1.20 岡本達明 ⇄ 久保田好生.	TO03	9	31	要審査
D-09	032	-	チッソ石油化学業績推移	矢作正 → 岡本達明	2014	1	10	書類	A4／7枚	原本	1	1985.11.12 作成のチッソ社内資料より抜き出したもの.	TO03	9	32	可
D-09	033	-	水俣病原因物質としての「有機水銀説」に対する見解 ほか	新日本窒素肥料株式会社, 新日本窒素肥料株式会社水俣工場, チッソ株式会社総務部	1959～1970	-	-	小冊子, 書類	B5	原本	1	内容: 1959.7 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 作成「所謂有機水銀説に対する工場の見解」, 1959.10 新日本窒素肥料株式会社 作成「水俣病原因物質としての『有機水銀説』に対する見解」, 「作成日不明」チッソ株式会社総務部 作成「かき乱された株主総会その真相と経過について」, 1970.12 チッソ株式会社総務部 作成「水俣病を告発する会と一株運動」.	TO03	9	33	可
D-09	034	-	水俣病新認定患者「自主交渉」派とその“支援”の実態 ―責任追及という名で暴力は許されるか―	チッソ株式会社総務部	1972	7	-	フラットファイル, 書類	A4／32P	コピー	1		TO03	9	34	可
D-09	035	-	総務部速報	チッソ総務部	1970～1972	-	-	書類	A4	原本	1	内容: 1970.1.19～1972.10.16 チッソ総務部 発行「総務部速報」No.1, 2, 6～18, 20, 21, 23～35, 37～39, 41～45, 47, 48, 53～62, 76.	TO03	9	35	可
D-09	036	-	チッソ 第1号	新日本窒素広報課	1963	5	1	書類	B4	原本	1		TO03	9	36	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-09	037	-	水俣病 チッソ発行物	チッソ株式会社総務部, 生長の家副総裁 谷口 清超, チッソ株式会社取 締役社長 島田賢一, チッソ株式会社, チッソ 株式会社水俣本部	1970～ 1974	-	-	フラットファイ ル, 書類, 小冊 子	B5, B4	原本・コ ピー	1	内容:〔作成日不明〕チッソ株式会社総務部 作成「人民裁判を思わせる 水俣病裁判の 現況」,〔作成日不明〕生長の家副総裁 谷口清超 作成「『生長の家』10月号抜粋 無知を 強ひるもの」, (ピラ) 1972.1.27 チッソ株式会社取締役社長 島田賢一 作成「水俣病新認定 に伴う補償問題について」, 1970.6 チッソ株式会社 作成「水俣病問題の経過と現状」, 1971.8 チッソ株式会社総務部 作成「水俣病問題について その経過と会社の考え方」(3 部あり), 1970.6 総務部 作成「新聞, テレビ等マスコミの誤った報道について」, 1974.8 チッ ソ株式会社水俣本部 発行「チッソみなまた No.218」, 1970.7 チッソ株式会社総務部 作成 「水俣病について」(5部あり).	TO03	9	37	可
D-09	038	-	しあわせ	合化労連新日窒水俣労 組	1959～ 1962	-	-	書類	B5	原本	1	内容:1959.9.10 合化労連新日窒水俣労働組合 発行「家庭新聞 創刊号」, 1959.10.10～ 1962.3.1 合化労連新日窒水俣労働組合 発行「しあわせ」第2号～第31号 (第20号のみ2 部あり. 日付・内容は異なる. 第22号なし).	TO03	9	38	可
D-09	039	-	全員投票立会人表	合化労連新日窒労組全 員投票管理委員会	1969	11	17	書類	B4／1枚	コピー	1		TO03	9	39	要審査
D-09	040	001	チッソの事態に対して我々はどうたたかうか	合化労連新日本窒素労 働組合	1972	3	6	小冊子	A4／20P	原本	1	040-1～4 は同封.	TO03	9	40	可
D-09	040	002	興銀・チッソのファシズム的第一組合攻撃	合化労連新日本窒素労 働組合	1972	7	12	小冊子	B5／28P	原本	1	040-1～4 は同封.	TO03	9	41	可
D-09	040	003	安賃闘争10周年記念 水俣病裁判における 水俣工場第一組合労働者の証言	合化労連新日本窒素労 働組合	1972	-	-	小冊子	B5／101P	原本	1	040-1～4 は同封.	TO03	9	42	可
D-09	040	004	患者と労働者の切捨てと闘う水俣大集会に おける講演:〔掲載誌不明〕 pp19-28	星野芳郎	1976	-	-	小冊子	B5／10P	原本	2	掲載誌不明〔『月刊合化』か?〕. 040-1～4 は同封.	TO03	9	43	可
D-09	041	-	安賃闘争	合化労連新日窒労組教 宣部	1973	6	-	書籍	A5／467P	原本	1		TO03	9	44	可
D-09	042	-	第一組合親交会 (OB会) 会則, 会員名簿	親交会	〔不明〕	-	-	フラットファイ ル, 書類	B5	コピー	1		TO03	9	45	可
D-09	043	-	転勤二十年記念 あゆみ	水友会	1990	12	-	小冊子	A5／63P	原本	1	野田工場 第一組合転勤者 転勤20年記念文集.	TO03	9	46	可
D-09	044	-	(写真集) 新日本窒素労働組合解散大会	新日本窒素労働組合	2004	3	26	アルバム	33×32cm	原本	1		TO03	9	47	可
D-09	045	-	新日本窒素労働組合解散大会, 新日本窒素 労働組合旧蔵資料目録 等	熊本日日新聞, 新日本 窒素労働組合, 熊本学 園大学水俣学研究セン ター	2004	-	-	チラシ, 小冊子, 書類, 写真	B5, B4	原本	1	内容:(新聞記事コピー)「新日窒労組解散へ」;〔発行日不明〕熊日新聞, (プログラム, 写 真) 2004.3.26 於 水俣市体育館「新日本窒素労働組合解散大会」, [2009.3.30 熊本学園 大学水俣学研究センター (センター長: 原田正純) 発行『新日本窒素労働組合旧蔵資料 目録』, (チラシ) 2009.10.30～2010.1.21 熊本学園大学水俣学研究センター 主催「新日本 窒素労働組合60年の軌跡 水俣病とむきあった労働者」.	TO03	9	48	要審査
D-09	046	-	新日窒労組OB 家族の作品展	「新日窒労組, OB・家族 展」実行委員会	2010	1	13～ 15	小冊子	A4	原本	1	於 水俣市公民館 2Fホール.	TO03	9	49	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-09	047	-	「新日本窒素労働組合60年の軌跡」全国巡回資料展 報告書	熊本学園大学水俣学研究センター	2010	3	1	小冊子	A4／54P	原本	1	巡回資料展は 2009.10.30～2010.1.21 に実施.	TO03	9	50	可
D-09	048	-	公害とたたかう 東邦亜鉛安中公害問題	青年法律家協会	1969	4	1	小冊子	B6／37P	原本	1		TO03	9	51	可
D-09	049	-	公開自主講座 第1回 水俣病	熊本大学公開自主講座 実行委員会	[1976]	[6]	[5]	小冊子	B5	原本	1	講師:原田正純, 日時:6/5, 場所:熊大.	TO03	9	52	可
D-09	050	-	月刊 自主講座 第3号	自主講座実行委員会	1976	7	3	書類	B5	コピー	1		TO03	9	53	可
D-09	051	-	公開自主講座講義録 第2回 水俣病—その2 テーマ「患者の側から」	熊本大学公開自主講座 実行委員会	1976	8	1	小冊子	B5	原本	1		TO03	9	54	可
D-09	052	-	夏季特別公開自主講座資料 水俣湾ヘドロ 処理問題	熊本大学公開自主講座 実行委員会	1976	8	1	書類	B4	原本	1		TO03	9	55	可
D-09	053	-	公開自主講座 講義録 第3回 夏季特別講座	熊本大学公開自主講座 実行委員会	1976	11	13	小冊子	B5／29P	原本	1	第3回公開自主講座夏季特別講座講義録. テーマ:水俣湾ヘドロ処理問題, 日時:8/1, 場所:婦人会館.	TO03	9	56	可
D-09	054	-	第3回九州住民闘争交流団結合宿報告集	九州住民闘争交流団結合 宿運営委員会事務局	1976	9	3～5	小冊子	B5／59P	原本	1		TO03	9	57	可
D-09	055	-	(新聞連載) 岸星一「労働弁護50年」1～50	[不明]	[2005]	-	-	書類	A4, B5	原本・コ ピー	1	[掲載新聞名不明]. (FAX) [2005]12.5 岡本達明 → 岸星一 あり.	TO03	9	58	要審査
D-09	056	-	(シンポジウム資料) 水俣病の抜本的救済 を目指して	日本弁護士連合会	2008	11	1	書類	A4	コピー	1		TO03	9	59	可
D-09	057	-	シンポジウム 公害・薬害・職業病 被害者補 償・救済の改善を求めて 制度非核レポート 集	公害薬害職業病補償研 究会 編集, 東京経済大 学学術研究センター 発 行	2009	5	30	小冊子	A4／117P	原本	1		TO03	9	60	可
D-09	058	-	(書類)	日本弁護士連合会, 環 境省	2009～ 2012	-	-	書類	A4, B5	コピー	1	内容:2009.6.18 日本弁護士連合会 作成「『水俣病被害者の補償に関する特別措置法』 日弁連要綱骨子の提案」10枚, 2009.12.25 環境省 作成「水俣病被害者の救済及び水俣 病問題の解決に関する特別措置法の『救済措置の方針』等についての考え方 (環境省 案)」5枚 (付属資料 8枚), (ハガキ 未使用) 2010 チッソ株式会社社会長 後藤舜吉 宛「チッ ソ分社化を凍結されるよう求めます」, 環境大臣 小沢鋭仁, 環境副大臣 田島一成 宛「認 定#患者への補償協定締結を求めます」.	TO03	9	61	可
D-10「福岡営業所組合時代資料」																
D-10	001	-	福岡営業所組合資料	新日本窒素肥料株式会 社福岡営業所労働組合	1961～ 1963	-	-	フラットファイ ル, 書類	B5, A4	原本・コ ピー	1	内容:1962.10.08 労働組合同約改訂案 (新日窒水俣労組), 規約, 丸善石油パンフレット, 1961.2 日窒資本動向分析, 1963.4 日窒資本動向分析.	TO03	11	1	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-10	002	-	福岡営業所組合資料 ファイル	新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合	1962～ 1963	-	-	フラットファイル, 書類	B5, A4, B4	原本・コピー	1	内容: 1962.8.24 岡本達明 → 新日本窒素肥料(株) 福岡営業所長, 東京従業員組合委員長「出張に於ける時間外勤務に対する割増賃金の件」, 1962.10.15 福岡営業所長 → 岡本達明「市外電話使用の件」, 1962.10.30 人事部長 → 肥料部長, 福岡営業所長「特別出張手当支給の件」, 1962.10.30 日窒労働組合連合会 中央執行委員長 長野春利 → 新日本窒素肥料株式会社社長 吉岡喜一, 日窒アセテート株式会社社長 福島強二, 水俣工場長 北川勤哉, 守山工場長 黒部博之, 福岡営業所長「福岡営業所労働組合の日窒労働組合連合会加盟通知・他の件」, 1962.10.15 岡本達明 → 福岡営業所長「組合業務に基く市外電話使用の件」, 1962.7.10 岡本達明 → 新日本窒素肥料(株) 深見福岡営業所長「組合規約及び組合員名簿提出の件」, 1962.12.3 日窒肥料労働組合連合会中央執行委員長 長野春利 → 新日本窒素肥料株式会社取締役社長 吉岡喜一「要求書 水俣労組, 福岡労組分, 昭和37年度年末一時金につき, 下記の通り要求します.」, 1963.11.4 岡本達明 → 福岡営業所長「団交議事録の件」, 1963.11.1 団交議事録, 第9回大会議案書(日窒労働組合連合会 1962.10.27 於 水俣市), 昭和37年度冬季一時金要求(案) 日窒労働組合連合会(守山組合分), 1963.6.17 日本窒労働組合連合会中央執行委員長 村上実 → 日窒アセテート株式会社取締役社長 福島強二「要求書 昭和38年度夏季一時金を下記の通り要求します.」, 昭和38年度夏季一時金要求(日窒労働組合連合会合化労連 日窒守山労組, 春闘の総括(合化労連日窒守山労組), 日窒労働組合連合会第9回大会議事録(1962.10.28 議長団 徳田嘉蔵, 岡本康則), 第10回日窒労働組合連合会大会議事録(1962.12.2 議長団 岡本康則, 田中幹男), 1962.7.7 脱退届, 規約(新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合, 1962.11.20 合化日窒労組連合会 作成「1962年越年資金要求(案)」, 手書き口述書, 手書き議事録, 投票結果封筒 等.	TO03	11	2	要審査
D-10	003	-	社内親合化㊟組織資料 I	新日本窒素肥料株式会社労働組合	1961～ 1963	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	原本	1	内容: 連合会運動方針検討基本資料, 五井工場建設工事の概況, 化学肥料(合成硫安)業界概況, 化学繊維(合成繊維)業界概況, ユニオンカーバイド社技術によるエポキシ事業説明書, 1963.4 日窒資本動向分析, 分析の視点と方法, 1962.10 千葉石油化学連合企業計画書, 水俣工場新聞, 水俣工場の経営的位置, 新日本窒素石油化学事業計画 概要(1961.5.25 改訂), 新聞記事切抜き 等.	TO03	11	3	要審査
D-10	004	-	社内親合化秘組織資料(含 安賃闘争水俣工場生産状況) II	新日本窒素肥料株式会社労働組合	1962～ 1963	-	-	フラットファイル, 書類	A4	原本	1	内容: 水俣レポ ①11/3 会社320名に南九転出を通告した, ②会社の狙い, ③組合), T.N.MN.D.F 御中(1. 5者連合会の件, 2. 一時金三者統一要求案決定, 3. 10/25日現在 水俣第一1670名, 第二1530名), 各パート御中(1/24 開催された経営協議会の状況報告, 1/23 各組合間の下打ち合わせ), 1962.12.23 (水俣生産実績, 決算状況など), T.O.N.N 水俣状況レポ 12/18.19 訪水(積水との連絡協議会) ①地域状況 ②現地状況 ③積水との連絡協議会, その他), 1962.12.8 11月生産量及出荷量, 9月～12月分出荷状況, 損益計算書, 損益分岐点図表, 1963.10.13 事務局御中(各パート 大阪 第三回会議の件), 1963.10.16 各パート御中 ①第三回会議の件, ②越年資金の件, ③近況, 休暇を要求することを考えている(大阪従組, 五井労組, 野田労組, 水俣第2, 1/24 経営協議会, 組合側要求, 営業面の課題, 水俣の体質改善について, 五井石油化学の現状と今後の見通し), 1963.10.13 各パート 1. 第三回会議の件, 2. 水俣状況, 1963.10.1 水俣伏勢レポします, 1963.8.4 TNMFN 御中 執行委員改選の件, 1963.8.20 8/10-18 の訪水 一週間の組合体を獲ち取り福岡に来て初めて長期滞在(①第二次希退, ②若干のレポ, ③福岡組合の件), 7.27 M.T.N.F御中(①会議日取の件, ②青女会賃上げアンケートの件), 1963.7.23 7/20-21 日訪水, 7.19 TNO I .第二回会議開催の件,	TO03	11	4	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
												Ⅱ.水俣第二次希退の件, 7.14 7/8付レボ補 ①地労委状況, ②見通しについて, ③現地状況, ④若干の分析, ⑤その他, 大阪の近況レボ (①希退者 ②水俣団交状況 ③大阪代議員会④青女会活動 ⑤六人会 その他, F.M.N.御中 I 希退の件, Ⅱ 賃上げの件, Ⅲ一時金要求書, Ⅳその他, Ⅴ左記分析, 7.8 TONM 1. 第二次希退の内容, 2. 提案してきた時期について, 3. あっせん案との関係, 4. 団交の経緯, 5. 現地執行部及合化の戦術について, 6. 第二次希退会社案, 7. 雑件, 8. 会議開催の件, 6.17 T.O.N.M. 1. 水俣希退の件, 2. 連合会の件, 1963.6.14 N→T.O.F.M No.2 ①生産計画 ②日曹油化計画, ほか, T.O.M.F No.1 ①エポキシ樹脂計画, 5.26. T.N.O.M 御中 ①水俣希退の件, ②小生専従の件, ③守山御中, 5.22 T.N.M.F 御中 ①希退の件, ②職能性の件, 5.17 T.O.N.M.御中 ①希望退職の件, ②小生専従の件, 1963.4.4 杉山・永山 1. 活動家会議招集連絡 ほか, 永→杉 Ⅳ資本分析の件, 1963.4.21 O.T.資格制度について 分析 (批判), 1963.4.11 O.N. 1. 新資格制度について, 1963.3.20 大阪の状況レボ ①3/26, 青女会総会開催, ②3/29 組合総会, 1963.3.21 大阪 1. 五井計画, 2. 水俣, 賃金引上げ等に関する件 (1962-1964年度), 1962.7.16 労働組合設立趣意書, ほか私信 (活動状況, レポート報告, 連絡, はがきなど) 等.				要 審 査
D-10	005	-	〔新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合, 水俣工場労働組合資料〕	新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合	1948～1961	-	-	パンフレット, 書類, 小冊子	A4, B4	原本・コピー	1	1961.4.1 丸善石油 発行「丸善石油ニュース」, 1948～1952 新日本窒素肥料株式会社水俣工場尚和会 発行「葦火」, 南九州サークル懇談会参加者名簿 (1959.1.10～11 於 水俣市湯出), 都島区詳細図, 新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合規約 (5部あり), 名刺, 1962.12.3 新日本窒素水俣工場労働組合 → 新日本窒素肥料株式会社福岡営業所内 岡本達明 の封筒あり.	TO03	11	5	要 審 査
D-10	006	-	〔新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合資料〕	新日本窒素肥料株式会社, 新日本窒素肥料株式会社労働組合	1959～1964	-	-	書類	B5, A4, B4	原本・コピー	1	「新日本窒素肥料株式会社福岡営業所」のA4封筒入り. 封筒に「①拒否, ②賃上・一時金明細」と小さくペン書きあり. 内容: 1959.10.1～1960.3.31 新日本窒素肥料株式会社 第21期営業報告書, 1962.8.8 労使共同宣言 (チッソ石油化学株式会社取締役社長, チッソ石油化学株式会社五井工場労働組合), 1963.5.12 日窒労働組合連合会第12回大会議事録 (於 水俣労金), 1963.6.13 日窒労働組合連合会第13回大会議事録, 1964.2.15 要求案 (合化労連 新日窒労働組合連合会 水俣組合分), 1964年 結婚資金要求資料, (辞令) 1963.4.1 新日本窒素肥料株式会社 → 岡本達明, 1963.8.12 賃金協定書 覚書, 1963.7.22 人事部長 → 福岡営業所長, 福岡営業所労働組合執行委員長「勤務地手当支給率改定の件」, 1963.7.26 福岡営業所労組執行委員長 → 福岡営業所長「勤務地手当改訂の件」, 1963.7.17 協定書 (新日本窒素肥料株式会社取締役社長, 東京従業員組合執行委員長, 大阪従業員組合執行委員長). 1964.2.15 要求案 (賃上げ, 初任給引上げ, 結婚資金増額, 超過労働割増率増率, 化学産業最低賃金協定) 等.	TO03	11	6	要 審 査
D-10	007	-	〔新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合資料〕	新日本窒素肥料株式会社福岡営業所	1962～1963	-	-	書類	A4／10枚, B4／3枚	原本・コピー	1	「新日本窒素肥料株式会社福岡営業所」のA4封筒入り. 封筒に「不労資料Ⅱ」と小さくペン書きあり. 内容: 1962 肥年春肥県別受註実績表(1963.4.8作成), 1962 出張報告書抜粋, 37春二肥 長崎明細表, 昭和3年度秋肥出荷実績 (福岡営業所), 37 無機肥料 品目別累計計画対実績及秋肥当用受註見込検討.	TO03	11	7	要 審 査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-10	008	-	〔新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合資料〕	新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合	1963	-	-	書類, ノート	B5, A4, B4	原本・コピー	1	新日本窒素肥料株式会社福岡営業所の封筒入り. 封筒に「首切・配転 (不当労働行為証明資料) 1. 組合結成時・後の会社切崩資料 (備忘録) 2. 本社就業規則 3. 会社希望退職申入書 (本社合理化 営業部内, 関係会へ10%削減充当) 4. 賃上・一時金 差別明細 5. (専従拒否, 組合給拒否)」とペン書きあり. 内容:〔作成者, 作成日不明〕就業規則についての手書きメモ, 賃金規則 (東京, 大阪事務所 1960.7.1改訂), 備忘録 (作成年不明, 6.24～8.9 鉛筆手書きノート), 1963.5.6 新日本窒素肥料株式会社 取締役社長 吉岡喜一 → 水俣工場新・旧両組合長「希望退職者の募集に関する申入の件」, 新日本窒素肥料株式会社福岡営業所労働組合規約, 1963.5.20 新日本窒素肥料株式会社 取締役社長 吉岡喜一 → 日窒労働組合連合会 中央執行委員長 村上実「組合業務専従の件」,〔日付不明〕人事部 → 岡本達明 「昭和38年度上期賞与計算書」(手書きメモあり), 1963.7.26 人事部 → 岡本達明「基本給辞令, 給与明細」(手書きメモあり).	TO03	11	8	要審査
D-10	009	-	守山組合資料	日窒アセテート守山工場労働組合	1961～1962	-	-	フラットファイル, 書類, 小冊子	B4, A4	原本	1	内容:1961.1.10 合化労連, 日窒守山労組 作成「公害と労働者, 活動家のための学習資料 No.1」, 1962.4 日窒アセテート株式会社守山工場女子寄宿舎自治会規約, 37年度自治会スローガン, 日窒アセテートKk女子寮内自治会文化部機関紙班 作成 自治会機関紙「あゆみ」, 日窒労働組合連合会ニュース, 日窒アセテート守山工場労働組合自治会名簿,〔日窒アセテート株式会社守山工場 名簿及び勤務表〕, 1957.1 日窒アセテート (株) 守山工場 女子寄宿舎規則, 値上げ前献立表, 値上げ後献立表, 組合規約 (案), 自治会組織図 自治委員名簿, 討議資料「組織統一に対する執行部の考え方」, 日窒アセテート労組青婦部ニュース, 自治委員名簿, 自治会組織図, 各部活動方針案, 自治会スローガン, 自治会の活動として, 定期総会.	TO03	11	9	要審査
D-10	010	-	就業規則	新日本窒素肥料株式会社 本社及び大阪事務所	〔不明〕	-	-	小冊子	A5	原本	1	内容:就業規則 27P, 賃金規則 15P. 作成日不明. 表紙に「福岡労組備品」とペン書きあり.	TO03	11	10	可
D-10	011	-	名刺	福岡労働基準局	〔不明〕	-	-	名刺	91×55mm	原本	1	作成日不明. 名刺 (福岡労働基準局監督課 労働基準監督官 小池拓造).	TO03	11	11	要審査
D-10	012	-	〔諸サークル文集〕	鐘紡労働組合	1956～2001	-	-	小冊子	A4／7冊	原本・コピー	1	1959.4 鹿児島・生活を記録する会 発行「でかせぎ娘」, 1959.8.10〔発行者不明〕「文集 うろこ No.5」, 1960.8「文集 うろこ No.7」, 1962.3 とも働き夫婦の会 発行「とも働き」, 1962.8.15「とも働きNo.2」, 1956.7.7 中江のぶ, 市谷博 著「詩集 あきらめですまされない」, 2001.12『『幻影のコンミューン』出版記念 故『サークル村』関係者を偲ぶ集い』(「北九州かわら版」2001年12月号付録).	TO03	11	12	可
D-11「奇病チツソ資料」																
D-11	001	001	水俣病原因物質としての「有機水銀説」に対する見解	新日本窒素肥料株式会社	1959	10	-	書類	B4	コピー	1	内容:まえがき, 有機水銀説の論拠の主要点, 有機水銀説に対する当社の見解 (1 .水俣病発生の特異性について, 2 .実験並びに検証方法について, 3 .臨床症状について, 4 化学実験データーについて, 5 海底土・河水・海水の水銀含有量について, 6 魚介類有毒化の経路, 機構について, 結言, 図表の部, 実験の部 実験分析法).	TO03	15	1-1	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-11	001	002	水俣病発症成分の研究 ―くろ貝に含まれるHgの挙動を中心に―	新日窒水俣工場技術部 奇病研究班 藤原照久、 宮島伸吾、山本正敏、藤 井正弘、吉村芳、松元睦 助	1959～ 1960	-	-	書類	A4／85P	コピー	1	内容：Ⅰ 緒論、Ⅱ 水銀分析法、Ⅲ水銀化合物の溶剤抽出、Ⅳ加圧加熱試験、Ⅴ加水分解、Ⅵイオン交換樹脂による処理、Ⅶ酵素分解、Ⅷ脱水銀処理、Ⅸ濃縮された水銀化合物を得る試み、Ⅹ魚肉と水銀剤の反応、Ⅺ水敏化合物のペーパークロマトグラフィー、別紙1枚あり(表記:「目次 1 水俣病奇病に関する調査(新日窒水俣工場附属病院)、2 水俣奇病に対する当社の見解(新日本窒素肥料株式会社)、3 水俣病研究資料(No.1 諸分析表)、4 所謂有機水銀説に対する工場の見解(新日本窒素肥料株式会社水俣工場)、5 有機水銀説の納得し得ない点(新日本窒素肥料株式会社水俣工場)、6 水俣病原因物質としての「有機水銀説」に対する見解 第1報(新日本窒素肥料株式会社水俣工場)、7 同上(第2報と見られるもの)、8 水俣病原因物質としての「有機水銀説」に対する見解(新日本窒素肥料株式会社水俣工場)、9 水俣病発症成分の研究―くろ貝に含まれるHgの挙動を中心に―(藤原照久外)、10 昭和35年度 奇病実験報告(分析研究室 奇病実験室 藤井正弘外)J)。	TO03	15	1-2	可
D-11	001	003	昭和35年度 奇病実験報告	技術部 分析研究室 奇 病実験室 藤井正弘、石 原俊一、吉村芳、松元睦 助	1961	-	-	書類	A4／83P	コピー	1	内容：実験材料の貝資料について、第1部 クロ貝の毒性に関する研究、第2部 工場排水によるドジョウの飼育とその動物試験、第3部 毒物投与によって水俣病との関連を求める研究、第4部 内田によって水俣病原因物質として示唆された含硫水銀化合物についての研究、第5部 水俣湾内魚介類の毒性検定試験、奇病実験参考資料。	TO03	15	1-3	可
D-11	002	-	アルデヒド母液中の水銀の比色定量法	技術部 宮本肇	1955	12	21	書類	B4／5枚	コピー	1	熊本地方裁判所印「昭和51年押 第169号 符号284 被告人 吉岡喜一 外1名 備考 福岡高等裁判所 55年押第5号」、熊本検察庁印「昭和50年 第1282号 符号900 被疑者 吉岡喜一 外2名 差出人等 吉川悦郎」あり。	TO03	15	2	可
D-11	003	-	廃水処理関係 原資料	新日本窒素肥料株式会 社水俣工場	1959～ 1969	-	-	書類	B4, A4	原本・コ ピー	1	合成化学産業労働組合連合の封筒入り。内容：1969.7.31「アセトアルデヒド触媒液の処理方式」、シアン化合物を含む排水の処理、工場内幹線排水溝系統変更工事見積書送付の件(技術部 → 工場長室 S35.7.11)、連続母液酸化発泡に関する試験(S35.5.11)、ジアルキル水銀の性状(バイルシュタイン及び大有機化学)、新日本窒水俣工場排水溝並に排水サンプル採取地点概要図(S35.2.16現地確認済)、OA工場排水処理計画(水俣工場 → 技術部中村室長 S35.5.7)、ニポリット反応触媒中のHgcl ₂ の実態の概要、5期アルデヒド能力試験、排水処理の沿革(S45.7)、廃水管理委員会 → 技術部 中村室長「㊦4月、7月、10月排水管理月報 S35.5～11」、廃水管理委員会 作成「㊦水俣工場廃水処理系統図 S35.11.1現在」、有機第一部カーバイド課 → 工場長室長「塩素必要量及輸送計画」、汽水課 作成「逆送水とPB排水との単独混合による硫化物の除去について」、1959.11.2 設計課 → 汽水課長、技術部参事 他「サイクレーター内の水のPHIに関する件」、1960.7.21 工場長 → 技術部室長「栄橋下の排水溝仮締切(扇林業前)を取外す場合の工場としての連絡及処置法」、1960.4.18「産業用廃水後援会の講演内容」、1959.10.15 廃水管理委員会 → 技術部長「工場廃水に関する検討依頼事項の件」、1959.11.21 有機第一研一号室作成「密閉炉排ガス洗條排水中のCNの変化」等。	TO03	15	3	要審査

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-11	004	-	廃水関係資料, 廃水管理委員会資料	新日本窒素肥料株式会社水俣工場	1959～ 1960	-	-	書類	B5, A4, B4, 封筒	原本・コ ピー	1	内容:昭和〔32〕年 新日窒水俣工場報告書, 工場排水分析値 (S34秋以前/S34秋以降), 1959.7.9 工場長室 作成「工場排水計画案」, 硝酸ビニル (旧法) 製造工程図, S35.1.27 廃水管理委員会 → 庶務課長「㊟ サイクレーターに八幡プール逆送水を使用及び硝酸廃水 (塩ビ廃水を含む) の輸送経路変更の件」, 廃水管理委員会 → 庶務課長「㊟ S35.1～36.6 各月分廃水管理月報」, 1961「サイクレーター試運転時に於ける処理前後に於ける水質分析例」, 1961.5.20「新日本窒水俣工場排水処理系統」, S21～43 排水処理系統, サイクレーターで処理後の濁度及色度, 水俣工場汚水処理フローシート, 1960.8.1「排水処理系統」, 1969.12.9 チッソ水俣支社「公害対策その他の経過」, チッソ株式会社水俣支部作成「工場内排水溝整備計画」, 1967.7.15 チッソエンジニアリング株式会社 崑吉郎 → 神戸大医学部 喜田村正次「1950頃～の製造法及び製造工程についての説明か」, アセトアルデヒド製造工程図・塩化ビニール樹脂製造工程図・無水硝酸 (旧法) 製造工程図, 廃水管理委員会資料 (工場排水調査, ㊟ 水俣工場の廃水の水質, ㊟ 水俣工場廃水委員会 → 肥料課長「工場廃水にに関する件」, S34.2.13 廃水管理委員会委員長 → 関係部課長「排水溝検査結果御通知 2月分」, S33.7.22 廃水管理委員会「『水質汚濁』とは何か? ―廃水処理の重要性について―」, 1960.11.11 廃水管理委員会 → 村越主事「書類 (廃水処理系統図) 送付の件」1960.11.1「㊟ 水俣工場廃水処理系統図, S35.5 汽水課 作成「各排水の行程及浄化装置に於ける物質収支に就いて」, 廃液処理系統図, 密閉炉関係フローシート, 工場用水使用系統図, 蒸気使用系統図, S35.3.7 水俣工場 → 汽水課課長「OA工場廃水処理計画」, 各種水質基準例及水俣工場の廃水の水質並にその基準案, 燐酸設備排水フローシート, アルデヒド廃水循環設備フローシート, (ペン書き直筆文) 岡本達明 → 西村肇, 1958.7.22 肥料課 → 無機部長經由汚水対策委員会「汚水排出の件」, 1959.2.14 庶務課長 → 技術部長「排水溝検査結果御通知」, 1960.8.16 廃水管理委員会作成「産業用水・産業廃水の地下還元」.	TO03	15	4	要審査
D-11	005	-	(新日本窒素肥料株式会社水俣工場廃水処理, 製造工程関係資料)	鈴木英友, 赤木洋勝, 西村肇, 前沢奎三, 崑吉郎, 上妻博宜, 千賀質, 鶴田徳松, 岡本達明	1951～ 1990	-	-	書類	B4, A4	コピー	1	内容:鈴木英友 著「新日本窒素肥料株式会社水俣工場 総合廃水処理装置について」; 1960 化学工業技術同友会 発行『日本化学工業 8(4)』pp34-35, 赤木洋勝, 西村肇 作成「生物, 環境試料中総水銀の迅速分析法とその自動化への試み」, 前沢奎三 著「オートメーションの新傾向」;〔『日本化学工業 8(4)』〕p37, 崑吉郎 著「固形物質の処理」;日刊工業新聞社 発行『化学工場 4(8)』pp123-125, 鈴木英友 著「新日本窒素肥料株式会社水俣工場の廃水処理について」;産業機械協会 発行『産業機械 No.124』pp78-83, 上妻博宜, 千賀質, 鶴田徳松 著「凝集沈殿法による廃水処理の際に見られる微量溶質の除去効果について (第1報)」;工業用水研究会 発行『工業用水 34号』pp37-43, 1990.10.14 岡本達明 作成「アセトアルデヒド工場研究 (中間報告)」,〔作成者不明〕「技術者の自戒10項目」「化学工場を中心とするチッソの歩み (抜粋)」「終戦時における各地域の製品」, 各期稼働図, (特許公報) 1951.11.6 特許庁 公告「アセトアルデハイド分溜方法」(発明者: 昆吉郎, 出願人: 日本窒素肥料株式会社), 1953.4.23「アルデハイド製造装置 6期 行程図」, 1956.12.3「配管系統図」, 1956.12.10「5期 配管系統」, 1959.11.25「7期 アルデヒド工場 機器配置」,〔作成日不明〕「醋酸工場第一期 機械配置図」.	TO03	15	5	可
D-11	006	-	(6101) 逆走水中の硫化物の除去について	技術部無機研究室 五島春夫, 高橋良次, 前田早苗	1960	8	-	書類	B4／17枚	コピー	1		TO03	15	6	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-11	007	001	＜アセトアルデヒド研究＞Ⅰ 生産 1990.8.22～	岡本達明	1990	8	22	ノート	B5	原本	1	岡本達明によるアセトアルデヒド研究.	TO03	15	7-1	可
D-11	007	002	アセトアルデヒド研究Ⅲ	岡本達明	[不明]	-	-	ノート	B5	原本	1	岡本達明によるアセトアルデヒド研究.	TO03	15	7-2	可
D-11	007	003	チソソプロセス研究Ⅱ	岡本達明, 赤木洋勝, 西村肇 ほか	1990	-	-	フラットファイル, 書類	A4, B4	原本・コピー	1	岡本達明によるアセトアルデヒド研究. 内容: Donald F. Othmer, Kichiro Kon, Takeo Igarashi 著「Acetaldehyde by the Chisso Process」; 1956.8 American Chemical Society 発行『Industrial and Engineering Chemistry 48(8)』pp1258-1263, 1990.12.18 岡本達明 → 西村肇「メチル水銀の生成機構について 等」, 赤木洋勝, 西村肇 作成「ジチゾン抽出—ガスクロマトグラフィー法による硫化物含有底泥中メチル水銀の分析法」, S28～32年 水俣工場技術部職員名簿,〔作成日不明〕日本窒素肥料株式会社水俣工場 ニポリット工場 実験室機械配置図 等.	TO03	15	7-3	要審査
D-11	008	-	「水俣病原因工場の産業史・技術史(1)～(6)」;『岐阜経済大学論集 27(1)～(3), 29(1),(3),(4)』	飯島孝, 岡本達明 著, 岐阜経済大学学会 発行	1993～1996	-	-	小冊子	A5	原本	1	抜刷. (1); 1993.6『岐阜経済大学論集 27(1)』pp35-72, 3部あり. (2); 1993.9『岐阜経済大学論集 27(2)』pp35-77, 4部あり. (3); 1993.12『岐阜経済大学論集 27(3)』pp39-86, 3部あり. (4); 1995.6『岐阜経済大学論集 29(1)』pp45-80, 3部あり. (5); 1995.12『岐阜経済大学論集 29(3)』pp63-96, 3部あり. (6); 1996.3『岐阜経済大学論集 29(4)』pp93-137, 2部あり. 各冊子に書き込み多数あり.「水俣病原因工場の産業史・技術史」(1)～(6)について, 岐阜経済大学論集への掲載のいきさつ及びその後の経緯についての岡本達明による直筆文 (2019) あり.	TO03	15	8	可
D-11	009	-	「宇井レポート 1～23」;『水道公論 5(2)(46)～6(12)(68)』	宇井純 著, 日本水道新聞社 発行	1969～1970	-	-	書類	B4／89枚 ／2部, 封筒	コピー	1	宇井純 著「宇井レポート 1～23」; 1969.2～1970.12 日本水道新聞社 発行『水道公論 5(2)(46)～6(12)(68)』のコピー2部. 宇井純から岡本達明へ送られたもの. うち1部には 1995.3.17 宇井純 → 岡本達明「お詫びと訂正」あり. テープの貼りつきあり.	TO03	15	9	可
D-11	010	-	(年賀状コピー)	元水俣工場製造課長 → 元錯酸課長	1972	1	1	書類, 手紙	A4	コピー	1	文面(裏面)のみのコピー, 朱印「●●(元錯酸課長)'80.4.18」あり. 内容:「謹賀新年 昭和47年元旦 水俣病で思う 最初水俣に於ける奇病の原因がマンガン等の重金属の中毒症という説がでたとき猛毒な水銀を使用する工場技術者は一はやく水銀を疑うべきであった・・・中略・・・工科系大学により一層の創造教育を痛感する次第である」.	TO03	15	10	要審査
D-11	011	-	(製品製造工程図, 配置人員調査表, 新日本窒素製品製造工程図, 水俣工場新聞)	新日本窒素肥料株式会社水俣工場, 新日窒水俣労組	1955～1969	-	-	書類	A3, B4, B5	コピー	1	内容:〔製品製造工程図〕「昭和合成, 日本合成化学工場, 日本窒素肥料初期」, 1969 新日窒水俣労組 配置人員調査表, 新日本窒素製品製造工程図, 新日本窒素肥料株式会社水俣工場 庶務課 発行『水俣工場新聞』(S30.7.5, S30.11.5, S31.8.5, S32.8.10, S32.9.10, S33.1.20, S33.6.10, S33.8.10, S33.9.10, S36.8.20).	TO03	15	11	要審査
D-11	012	-	(図面) アルデハイド製造装置 5期 配管系統	新日本窒素肥料株式会社水俣工場 醋酸係	1956	12	10	書類	105×74cm ／1枚	コピー	1	青焼きの図面(尺度1/60).	TO03	15	12	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-11	013	-	(図面 詳細不明)	[不明]	[不明]	-	-	書類	84×44cm ／1枚, 71 ×44cm／1 枚	コピー	1	図面タイトルなし, 詳細不明, 青焼き図面で暗く見づらい.	TO03	15	13	可
D-11	014	-	廃液プール 改造図	新日本窒素肥料株式会 社水俣工場	1966	9	16	書類	平面図／1 枚, B4／2 枚, 封筒	コピー	1	平面図と各箇所の名称, 仕様, 材質, 数, 摘要を記した表.	TO03	15	14	可
D-11	015	-	水俣工場関係レポート	水俣病研究会 市民会 議 裁判班	1969	-	-	書類	A4, B4	コピー	1	内容:目次 1 水俣工場並びに同工場廃水の危険性, 2 鉄屑槽について, 3 水俣工場新聞 の抜きずり(分析能力他), 4 水俣工場技術部の水俣病に関する研究, 5 水俣工場は廃水 に関しいかなる分析調査を行っていたか.	TO03	15	15	可
D-11	016	-	水俣病研究会 No.4 塩ビ・醋酸	岡本達明	[1970]	-	-	フラットファイ ル, 書類	A4, B4	原本・コ ピー	1	内容:1950.2 J. ニウランド, R. フォグト 著, 辻雄次 訳, 北隆館 発行『アセチレンの化学』 pp163-176, 昭和2〜7年のアセトアルデヒド関係の特許資料, ニポリット関係資料(徳江毅 著「ニポリットの発展の跡とその将来」;1953.12.25 新日本窒素肥料株式会社水俣工場尚 和会文芸部 発行『芦火 第7集』, 日本窒素肥料株式会社 作成「ニポリット説明書」他), 島恭彦 著「国家権力と独占資本との融合過程」;岩波書店 発行『日本歴史 12 現代 4 戦争と国家独占資本主義』pp9-18, 中村清 著「塩化ビニルの思いで」, 平木道夫 著「塩 化ビニル樹脂工業」;1965.1 朝日新聞社 発行『科学朝日』pp155-160,「道を開いた人々 合成化学工業のはしり」;1961.5.28 朝日新聞, ニポリット説明書, (新聞記事コピー) 1970 朝日新聞, 毎日新聞 等.	TO03	15	16	要審査
D-11	017	-	(英語論文)	Kooji Tajima, Fumiaki Kai, Tetsuo Kawahara	1978〜 1980	-	-	書類	A4	コピー	1	内容:1950.2 J. ニウランド, R. フォグト 著, 辻雄次 訳, 北隆館 発行『アセチレンの化学』 pp163-176, 昭和2〜7年のアセトアルデヒド関係の特許資料, ニポリット関係資料(徳江毅 著「ニポリットの発展の跡とその将来」;1953.12.25 新日本窒素肥料株式会社水俣工場尚 和会文芸部 発行『芦火 第7集』, 日本窒素肥料株式会社 作成「ニポリット説明書」他), 島恭彦 著「国家権力と独占資本との融合過程」;岩波書店 発行『日本歴史 12 現代 4 戦争と国家独占資本主義』pp9-18, 中村清 著「塩化ビニルの思いで」, 平木道夫 著「塩 化ビニル樹脂工業」;1965.1 朝日新聞社 発行『科学朝日』pp155-160,「道を開いた人々 合成化学工業のはしり」;1961.5.28 朝日新聞, ニポリット説明書, (新聞記事コピー) 1970 朝日新聞, 毎日新聞 等.	TO03	15	17	要審査
D-11	018	-	「熊本水俣病裁判余聞」;『月曜評論 第498 号』	月曜評論社	1980	8	11	書類	A3／新聞 記事／2枚	コピー	1		TO03	15	18	可
D-11	019	-	敗戦前水俣工場水銀関連プロセスについて	岡本達明	1978, 1985	-	-	書類	B4	コピー	1	内容:1985.10.26 岡本達明 作成「敗戦前水俣工場水銀関連プロセスについて」, 神保元 二 著「ペリーのハンドブックにいたる道 化学工学形成史ノート」;1978 化学機械協会 発 行『化学工学 42(1)』pp7-15.	TO03	15	19	可
D-11	020	-	「わが国のアセチレン法アセトアルデヒド製 造技術の発展 (1)〜(3)」;『化学史研究 17 (2)〜(4)』	飯島孝 著, 化学史学会 発行	1990	7〜 12	-	小冊子	A4	原本	1	内容:「わが国のアセチレン法アセトアルデヒド製造技術の発展 1」;1990.7『化学史研究 17(2)』pp61-79,「わが国のアセチレン法アセトアルデヒド製造技術の発展 2」;1990.9『化 学史研究 17(3)』pp114-125,「わが国のアセチレン法アセトアルデヒド製造技術の発展 3」;1990.12『化学史研究 17(4)』pp151-172.	TO03	15	20	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-11	021	-	アセチレン操作法 工場用水中の塩素	山下善寛, ●●	1994	-	-	書類, 手紙	A4, 封筒	原本・コピー	1	内容:(手紙) 1994.4.25 山下善寛 → 岡本達明 (同封: 水俣工場新聞コピー (1960.8.20 No.63, 1960.9.20 No.64), 1963.6 カーバイド課アセチレン係 作成「アセチレン関係標準操作法」), (封筒入り手紙 工業用水の塩素, 海水混入について) 1994.4.18 [水俣工場勤務, 72年原告側証人, 水銀排水について証言] → 岡本達明.	TO03	15	21	要審査
D-12「さいれん (1959～2003)」																
D-12	001	-	昭和34年度 さいれん 自 昭和34年8月4日 (第176号) 至 昭和35年1月30日 (第96号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1959～1960	-	-	機関紙	B4	原本	1	1959.8.4～1960.1.30. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 新日窒労組教宣部 発行「新日窒労組ニュース」, 新日窒水俣労組 発行「さいれんニュース」, 労働協約要求案 ビラ. 背表紙破れあり. 表紙の号数は新日窒労組ニュース (No.176) と さいれん ニュース (第96号).	TO03	38	1	可
D-12	002	-	昭和34年度 さいれん 自 昭和35年2月1日 (第97号) 至 昭和35年7月27日 (第246号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1960	-	-	機関紙	B4	原本	1	1960.2.1～1960.7.27. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 青年婦人部 発行「ちしお」, 新日窒水俣労組 発行 家庭新聞「しあわせ」, 新日窒労組教宣部 発行「新日窒労組ニュース」, 合化労連 発行「合成化学」, 新日窒水俣労組 発行「さいれんニュース」, 「日刊さいれん」, ビラ. 背表紙破れあり. 表紙の号数はさいれんニュース (第97号) と 日刊さいれん (第246号).	TO03	38	2	可
D-12	003	-	昭和35年度 さいれん 自 昭和35年7月28日 (第247号) 至 昭和36年1月31日 (第399号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1960～1961	-	-	機関紙	B4	原本	1	1960.7.28～1961.1.31. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 新日窒水俣労組 発行 家庭新聞「しあわせ」, ビラ, 連合会結成 (加盟) と組合規約改定の提案, 討議資料. 背表紙破れあり.	TO03	38	3	可
D-12	004	-	昭和35年度 さいれん 自 昭和36年2月1日 (第400号) 至 昭和36年7月19日 (第539号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1961	-	-	機関紙	B4	原本	1	1961.2.1～1961.7.19. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, ビラ, 日窒労仲組合連合会ニュース, 新日窒水俣労組 発行 家庭新聞「しあわせ」, 合化労連 発行「合成化学」. 背表紙破れあり.	TO03	38	4	可
D-12	005	-	昭和36年度 さいれん 自 昭和36年7月20日 (第540号) 至 昭和36年12月30日 (第677号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1961	-	-	機関紙	B4	原本	1	1961.7.20～1961.12.30. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 公示, 新日窒水俣労組 発行 家庭新聞「しあわせ」, 新日窒労組教宣部 発行「新日窒労組ニュース」, 青年婦人部 発行「ちしお」. 背表紙破れあり.	TO03	38	5	可
D-12	006	-	昭和36年度 さいれん 自 昭和37年1月4日 (第678号) 至 昭和37年7月31日 (第855号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1962	-	-	機関紙	B4	原本	1	1962.1.4～1962.7.31. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 青年婦人部 発行「ちしお」, 合化労連 発行「合成化学」, ビラ, 争議中の組合員の心がまえ, 新日窒水俣労組 発行 家庭新聞「しあわせ」, 日窒の組合員の皆さんへ, オルグ資料. 背表紙破れあり.	TO03	38	6	可
D-12	007	-	昭和37年度 さいれん 自 昭和37年8月1日 (第856号) 至 昭和37年12月31日 (第1003号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1962	-	-	機関紙	B4	原本	1	1962.8.1～1962.12.31. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, ビラ, 声明書, 9月生産比較表, 熊高教組新聞. 破れ. 背表紙破れあり.	TO03	38	7	可
D-12	008	-	昭和37・38年度 さいれん 自 昭和38年1月1日 (第1004号) 至 昭和38年8月5日 (第1192号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1963	-	-	機関紙	B4	原本	1	1963.1.1～1963.8.5. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 合化労連 発行「合成化学」, ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	38	8	可
D-12	009	-	昭和38年度 さいれん 自 昭和38年8月5日 (第392号) 至 昭和39年7月18日 (第538号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1963～1964	-	-	機関紙	B4	原本	1	1963.8.5～1964.7.18. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 青年婦人部 発行「ちしお」, ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	38	9	可
D-12	010	-	昭和39年度 さいれん 自 昭和39年7月21日 (第539号) 至 昭和40年7月31日 (第686号)	合化労連 新日本窒素労働組合	1964～1965	-	-	機関紙	B4	原本	1	1964.7.21～1965.7.31. 内容: 合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」, 青年婦人部 発行「ちしお」, ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	38	10	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-12	011	-	昭和40年度 さいれん 自 昭和40年8月3日（第1487号）至 昭和41年8月2日（第1630号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1965～1966	-	-	機関紙	B4	原本	1	1965.8.3～1966.8.2. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、青年婦人部 発行「ちしお」、ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	38	11	可
D-12	012	-	昭和41年度 さいれん 自 昭和41年8月4日（第1631号）至 昭和42年8月1日（第1774号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1966～1967	-	-	機関紙	B4	原本	1	1966.8.4～1967.8.1. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	38	12	可
D-12	013	-	昭和42年度 さいれん 自 昭和42年8月3日（第1775号）至 昭和43年8月1日（第1919号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1967～1968	-	-	機関紙	B4	原本	1	1967.8.3～1968.8.1. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	38	13	可
D-12	014	-	昭和43年度 さいれん 自 昭和43年8月3日（第1920号）至 昭和44年7月31日（第2059号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1968～1969	-	-	機関紙	B4	原本	1	1968.8.3～1969.7.31. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 表紙と中身の分解あり.	TO03	38	14	可
D-12	015	-	昭和44年度 さいれん 自 昭和44年8月2日（第2060号）至 昭和45年7月28日（第2175号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1969～1970	-	-	機関紙	B4	原本	1	1969.8.2～1970.7.28. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ, 公示. 破れあり.	TO03	38	15	可
D-12	016	-	昭和45年度 さいれん 自 昭和45年8月7日（第2177号）至 昭和46年7月30日（第2276号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1970～1971	-	-	機関紙	B4	原本	1	1970.8.7～1971.7.30. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 裏表紙が外れている. 背表紙破れあり.	TO03	39	1	可
D-12	017	-	昭和46年度 さいれん 自 昭和46年8月3日（第2277号）至 昭和47年7月28日（第2380号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1971～1972	-	-	機関紙	B4	原本	1	1971.8.3～1972.7.28. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、(手書きメモ) 岡本達明 作成「59年 見舞金契約 経緯（竹下メモ, 各紙記事, 浜元書簡より作成）」, ビラ あり.	TO03	39	2	可
D-12	018	-	昭和47年度 さいれん 自 昭和47年8月1日（第2381号）至 昭和48年7月31日（第2484号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1972～1973	-	-	機関紙	B4	原本	1	1972.8.1～1973.7.31. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、合化労連 発行「合成化学」、第3回地協運動会プログラム, ビラ, 合化労連新日窒労組選挙公示 あり.	TO03	39	3	可
D-12	019	-	昭和48年度 さいれん 自 昭和48年8月3日（第2485号）至 昭和49年7月31日（第2538号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1973～1974	-	-	機関紙	B4	原本	1	1973.8.3～1974.7.31. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 表紙と中身の分解あり.	TO03	39	4	可
D-12	020	-	昭和49年度 さいれん 自 昭和49年8月7日（第2539号）至 昭和50年7月30日（第2590号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1974～1975	-	-	機関紙	B4	原本	1	1974.8.7～1975.7.30. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ, 水俣地協. 表紙の緩み.	TO03	39	5	可
D-12	021	-	昭和50年度 さいれん 自 昭和50年8月6日（第2591号）至 昭和51年7月28日（第2642号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1975～1976	-	-	機関紙	B4	原本	1	1975.8.6～1976.7.28. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 手書きメモ（ふせん）. 背表紙破れあり.	TO03	39	6	可
D-12	022	-	昭和51年度 さいれん 自 昭和51年8月4日（第2643号）至 昭和52年7月27日（第2694号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1976～1977	-	-	機関紙	B4	原本	1	1976.8.4～1977.7.27. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」、ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	39	7	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-12	023	-	昭和52年度 さいれん 自 昭和52年8月3日（第2695号）至 昭和53年7月26日（第2744号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1977～1978	-	-	機関紙	B4	原本	1	1977.8.3～1978.7.26. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙無し. 裏表紙が外れている.	TO03	39	8	可
D-12	024	-	昭和53年度 さいれん 自 昭和53年8月2日（第2745号）至 昭和54年7月25日（第2795号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1978～1979	-	-	機関紙	B4	原本	1	1978.8.2～1979.7.25. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙無し.	TO03	39	9	可
D-12	025	-	昭和54年度 さいれん 自 昭和54年8月1日（第2796号）至 昭和55年7月30日（第2848号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1979～1980	-	-	機関紙	B4	原本	1	1979.8.1～1980.7.30. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙無し.	TO03	39	10	可
D-12	026	-	昭和55年度 さいれん 自 昭和55年8月6日（第2849号）至 昭和56年7月29日（第2990号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1980～1981	-	-	機関紙	B4	原本	1	1980.8.6～1981.7.29. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙接着不良.	TO03	39	11	可
D-12	027	-	昭和56年度 さいれん 自 昭和56年8月5日（第2901号）至 昭和57年7月28日（第2952号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1981～1982	-	-	機関紙	B4	原本	1	1981.8.5～1982.7.28. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙無し.	TO03	39	12	可
D-12	028	-	昭和57年度 さいれん 自 昭和57年8月4日（第2953号）至 昭和58年7月1日（第2974号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1982～1983	-	-	機関紙	B4	原本	1	1982.8.4～1983.7.1. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ, 団交報告. 背表紙接着不良.	TO03	39	13	可
D-12	029	-	昭和58年度 さいれん 自 昭和58年8月1日（第2975号）至 昭和59年7月10日（第2985号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1983～1984	-	-	機関紙	B4	原本	1	1983.8.1～1984.7.10. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙破れあり.	TO03	39	14	可
D-12	030	-	昭和59年度 さいれん 自 昭和59年8月27日（第2986号）至 昭和60年7月1日（第2997号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1984～1985	-	-	機関紙	B4	原本	1	1984.8.27～1985.7.1. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙無し.	TO03	39	15	可
D-12	031	-	昭和60年度 さいれん 自 昭和60年8月21日（第2998号）至 昭和61年7月1日（第3009号）	合化労連 新日本窒素労働組合	1985～1986	-	-	機関紙	B4	原本	1	1985.8.21～1986.7.1. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」,ビラ. 背表紙破れ, 接着不良あり.	TO03	39	16	可
D-12	032	-	昭和62年度 さいれん 自 昭和61年8月1日至 昭和62年7月27日	全国化学 新日本窒素労働組合	1986～1987	-	-	機関紙	B4	原本	1	1986.8.1～1987.7.27. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3010号～第3021号). 昭和61年度 さいれん 欠. 背表紙接着不良あり. ビラ あり.	TO03	39	17	可
D-12	033	-	昭和63年度 さいれん 自 昭和62年8月1日至 昭和63年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1987～1988	-	-	機関紙	B4	原本	1	1987.8.1～1988.7.31. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3022号～第3033号). 背表紙接着不良あり. ビラ あり.	TO03	39	18	可
D-12	034	-	1989年度 さいれん 自 1988年8月1日 至 1989年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1988～1989	-	-	機関紙	B4	原本	1	1988.8.1～1989.7.31. 内容：合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3034号～第3046号). ビラ あり.	TO03	39	19	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-12	035	-	1990年度 さいれん 自 1989年8月1日 至 1990年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1989～1990	-	-	機関紙	B4	原本	1	1989.8.1～1990.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3047号～第3057号), 第3055号欠. ビラ あり.	TO03	39	20	可
D-12	036	-	1991年度 さいれん 自 1990年8月1日 至 1991年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1990～1991	-	-	機関紙	B4	原本	1	1990.8.1～1991.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3058号～第3067号). ビラ あり.	TO03	39	21	可
D-12	037	-	1992年度 さいれん 自 1991年8月1日 至 1992年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1991～1992	-	-	機関紙	B4	原本	1	1991.8.1～1992.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3068号～第3078号). ビラ あり. 背表紙無し.	TO03	39	22	可
D-12	038	-	1993年度 さいれん 自 1992年8月1日 至 1993年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1992～1993	-	-	機関紙	B4	原本	1	1992.8.1～1993.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3079号～第3089号). ビラ, 連合芦北水俣9059情報 あり.	TO03	39	23	可
D-12	039	-	1994年度 さいれん 自 1993年8月1日 至 1994年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1993～1994	-	-	機関紙	B4	原本	1	1993.8.1～1994.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3090号～第3100号). 第3095号欠. ビラ あり.	TO03	39	24	可
D-12	040	-	1995年度 さいれん 自 1994年8月1日 至 1995年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1994～1995	-	-	機関紙	B4	原本	1	1994.8.1～1995.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3101号～第3112号). ビラ, 連合芦北水俣9059情報 あり.	TO03	39	25	可
D-12	041	-	1996年度 さいれん 自 1995年8月1日 至 1996年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1995～1996	-	-	機関紙	B4	原本	1	1995.8.1～1996.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3113号～第3133号). ビラ, ほんりゅう, 連合熊本3811速報, 連合芦北水俣9059情報, あり.	TO03	39	26	可
D-12	042	-	1997年度 さいれん 自 1996年8月1日 至 1997年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1996～1997	-	-	機関紙	B4	原本	1	1996.8.1～1997.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3134号～第3155号). ビラ, ほんりゅう 連合芦北水俣9059情報 あり.	TO03	39	27	可
D-12	043	-	1998年度 さいれん 自 1997年8月1日 至 1998年7月31日	全国化学 新日本窒素労働組合	1997～1998	-	-	機関紙	B4	原本	1	1997.8.1～1998.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3156号～第3180号). ビラ, 9059情報 ほんりゅう あり.	TO03	39	28	可
D-12	044	-	1999年度 さいれん 自 1998年8月1日 至 1999年7月31日	化学リーグ21 新日本窒素労働組合	1998～1999	-	-	機関紙	B4	原本	1	1998.8.1～1999.7.31. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3181号～第3200号).	TO03	39	29	可
D-12	045	-	さいれん	全国化学 新日本窒素労働組合	2000～2003	-	-	機関紙	B4	原本	1	2000～2003. 内容:合化労連新日窒水俣労組 発行「さいれん」(第3214号～第3238号), さいれん号外 (No.575～580) あり.	TO03	39	30	可
D-13「アセトアルデヒド工場図面」																
D-13	001	-	アルデハイド製造装置 6期 行程図	〔水俣工場醋酸係〕	1953	4	23	図面	104×75.5cm	原本	1	図番5723047, 破れあり.	TO03	43	1	可
D-13	002	-	5期アルデヒド改造機械基礎設計図	〔水俣工場醋酸係〕	1955	5	25	図面	72×52cm	原本	1	図番573310, 破れあり.	TO03	43	2	可
D-13	003	-	アルデハイド製造装置 6期 配管系統図	〔水俣工場醋酸係〕	1956	12	3	図面	104×75.5cm	原本	1	図番5723180, 破れあり.	TO03	43	3	可
D-13	004	-	アルデハイド製造装置 5期 配管系統図	〔水俣工場醋酸係〕	1956	12	10	図面	104×75.5cm	原本	1	図番5725199, 破れあり.	TO03	43	4	可
D-13	005	-	水俣工場 幹線排水溝 流域変更計画平面図	〔水俣工場土建課〕	1958	10	15	図面	37×25.5cm	原本	1	図番834135, 破れあり.	TO03	43	5	可

資料番号			資料名	作成者 等	年	月	日	媒体	体裁	コピー /原本	数	備考	旧番号			公開 可否
D-13	006	-	7期アルデヒド工場 フローシート	〔水俣工場醋酸課〕	1959	6	11	図面	104× 75.5cm	原本	1	図番5727037a, 破れあり.	TO03	43	6	可
D-13	007	-	廃液口水雨水流入防止及雨水排小路	〔水俣工場醋酸課〕	1959	9	7	図面	77.5× 57.5cm	原本	1	図番57463, 破れあり. 件名一部判読不可.	TO03	43	7	可
D-13	008	-	甲区残渣沈殿池高上 標準断面	〔水俣工場庶務課〕	1959	10	22	図面	72×52cm	原本	1	図番114913100, 破れあり.	TO03	43	8	可
D-13	009	-	7期アルデヒド工場 機器配置	〔水俣工場醋酸課〕	1959	11	25	図面	104× 75.5cm	原本	1	図番5727120, 破れあり.	TO03	43	9	可
D-13	010	-	水俣工場幹線排水溝流域 変更計画平面図	〔水俣工場土建課〕	〔不明〕	-	-	図面	80×64cm	原本	1	図番なし, 破れあり.	TO03	43	10	可